

平成28年度 文部科学省委託事業

がんの教育総合支援事業
報告書

平成29年3月
広島県教育委員会

目 次

○ あいさつ	1
I がん教育について	2
II 事業の概要	2
III 学校におけるがん教育の推進について	4
IV 本報告書の活用にあたって	4
V がんの教育総合支援事業モデル校における取組	
1 高等学校	
(1) 広島皆実高等学校	5
(2) 黒瀬高等学校	15
2 中学校	
(1) 東広島市立豊栄中学校	25
(2) 廿日市市立阿品台中学校	35
VI 「がんの教育」研修会	
○ 実施要項	45
1 講演	46
演題：学校におけるがん教育の考え方・進め方	
講師：聖心女子大学文学部教育学科 教授 植田 誠治 氏	
2 平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校実践発表	
・ 広島皆実高等学校	53
・ 黒瀬高等学校	80
・ 東広島市立豊栄中学校	88
・ 廿日市市立阿品台中学校	106
3 行政説明	111

あ い さ つ

近年、児童生徒を取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化し、メンタルヘルスに関する課題やアレルギー疾患など、新たな健康に関する課題が顕在化しており、健康教育もこれらに対応していく必要があります。

こうした中、日本人の死因の第1位で、生涯のうち2人に1人がかかると推測されているがんも重要な課題となっており、健康に関する国民の基礎的な教養として児童生徒に身に付けさせる必要があります。

このため、広島県教育委員会では、平成28年度、文部科学省の委託を受け、「がんの教育総合支援事業」を実施いたしました。

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成するものです。

また、がん教育においては学んだ知識を活用して、児童・生徒一人一人が、自ら生活習慣上の課題や問題点を認識し、自分でそれを解決していく力を身に付けさせることを目標としており、広島県教育委員会が「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づき進めております「主体的な学び」にも繋がる取組であると考えております。

本報告書は、今年度のモデル校における実践事例などの取組等を取りまとめたものです。平成29年度から全国の学校で実施されるがん教育について、本報告書を有効に活用いただき、教育活動全体を通じたがん教育の推進に役立てていただければ幸いです。

結びになりましたが、本事業の実施に当たり、御協力をいただきました、広島県医師会及び各モデル校の先生方をはじめ関係の皆様方に深くお礼を申し上げます。

平成29年3月

広島県教育委員会事務局教育部

豊かな心育成課 課長 山垣内 雅彦
スポーツ振興課 課長 石井 道代

I がん教育について

1 これまでの経緯

- (1) 国の第2期がん対策基本推進計画（平成24年6月）において、5年以内に、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにするべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施が目標とされた。
- (2) これを踏まえ文部科学省は、平成26年度、「がん教育」の在り方に関する検討会を設置し、平成27年3月には「学校におけるがん教育の在り方について報告」（報告書）が取りまとめられ、平成29年度から全国の学校において、がん教育を実施する方針を示した。

2 がん教育の定義【報告書】

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

3 取組の視点【報告書】

がんを扱うことを通じて、ほかの様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図る。

II 事業の概要

1 事業実施期間

平成28年6月13日 ～ 平成29年2月28日

2 がんの教育推進協議会の設置

(1) 構成員

医師会	広島県医師会 常任理事 渡邊弘司 広島市医師会 常任理事 新甲さなえ 東広島地区医師会 監事 新開洋一
大学教授	広島大学病院 がん治療センター長 杉山一彦
モデル校校長	県立広島皆実高等学校 校長 隠澤浩雄 県立黒瀬高等学校 校長 馬屋原幸孝 東広島市立豊栄中学校 校長 新谷三平 廿日市市立阿品台中学校 校長 田浦由紀夫
関係市教育委員会	東広島市教育委員会学校教育部指導課 課長 祭田 学 廿日市市教育委員会教育部教育指導課 課長 生田徳廉
広島県	県教育委員会教育部豊かな心育成課 課長 山垣内雅彦 県教育委員会教育部スポーツ振興課 課長 石井道代 健康福祉局がん対策課 課長 佐々木真哉

(2) 協議事項

- ア 地域の実情を踏まえたがん教育を推進するための検討
- イ がん教育を推進するための支援体制及び方策の検討
- ウ がんの教育総合支援事業におけるモデル校への支援，事業評価及び成果の検証
- エ その他必要と認める事項

(3) 開催状況

第1回

- 開催日：平成28年6月30日（木）
- 場 所：広島県医師会館
- 議 事：事業概要・スケジュールについて
モデル校における取組について

第2回

- 開催日：平成28年12月8日（木）
- 場 所：広島県医師会館
- 議 事：今年度の取組状況について
来年度の方向性について

第3回

- 開催日：平成29年2月9日（木）
- 場 所：広島県医師会館
- 議 事：今年度の取組状況について
来年度の方向性について

3 モデル校における取組

- (1) がん教育推進のための教材（文部科学省作成）を活用した授業
- (2) 外部講師による研修会・講演会等の実施（「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」を活用）
- (3) 生徒，教職員に事業実施前後にアンケートを実施し，効果を検証

4 外部講師の選定及び派遣

モデル校の要請に応じ，医師又はがん経験者等を講師として派遣

5 がんの教育に係る研修会（教職員対象）の開催

- (1) 講演
 - 演題：学校におけるがん教育の考え方・進め方
 - 講師：聖心女子大学文学部教育学科 教授 植田 誠治 氏
- (2) 平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校実践発表
 - ア 高等学校
 - 広島皆実高等学校，黒瀬高等学校
 - イ 中学校
 - 東広島市立豊栄中学校，廿日市市立阿品台中学校
- (3) 行政説明
 - 県教育委員会 豊かな心育成課

Ⅲ 学校におけるがん教育の推進について

1 目標

がんの教育で学んだ知識を活用して、児童・生徒一人一人が、自ら生活習慣上の課題や問題点を認識し、自分でそれを解決していく力を身に付けさせる。

2 教科等におけるがん教育の推進

文部科学省作成の「がん教育のための教材」等を活用し、学習指導要領に基づき、体育科・保健体育科などにおいて基礎的知識を身に付け、関連する教科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動などにおいて自他の生命を尊重するとともに、相手を思いやる心の育成や望ましい人間関係の構築など、相互に関連付けながら、学校保健計画に位置付けるなど、学校の教育活動全体を通じて指導を行う。

〔参考〕関連する教科等

□ 小学校〔第5学年及び第6学年〕

① 体育（保健領域）	病気の予防について理解できるようにする。
② 道徳の時間	生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。

□ 中学校

① 保健体育（保健分野） 〔第3学年〕	健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。
② 道徳の時間	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
③ 総合的な学習の時間	「かけがえのない自分、かけがえのない健康（中学生用）」の活用
④ 特別活動（学級活動）	適応と成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成）

□ 高等学校

① 保健体育（科目保健）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会と健康（健康の保持増進と疾病の予防） ・ 生涯を通じる健康（保健・医療制度及び地域の保健・医療機関）
② 総合的な学習の時間	「健康な生活を送るために（高校生用）」の活用
③ 特別活動（ホームルーム活動）	適応と成長及び健康安全（心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立）

3 外部講師の活用

地域や学校の実情に応じて授業と関連させ、学校医と連携を図りながら、学校医をはじめとする医師や保健師、がん経験者などの外部講師の活用に努める。

Ⅳ 本報告書の活用にあたって

報告書の活用にあたっては、研修会資料「効果的な『がん教育』の進め方について」（46～52ページ）には、「4. 教育課程の特性とがん教育」や「5. がんに関する学習内容の位置付け」などが示されておりますので、これらを参照いただくとともに、次のとおり各モデル校における具体的な実践事例等を掲載しておりますので参考にしてください。

モデル校	取組概要・アンケート結果	実践発表資料
広島皆実高等学校	5～14ページ	53～79ページ
黒瀬高等学校	15～24ページ	80～87ページ
東広島市立豊栄中学校	25～34ページ	89～105ページ
廿日市市立阿品台中学校	35～44ページ	106～110ページ

平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校における取組

学校名	広島皆実高等学校
-----	----------

I 本事業のねらい

生徒にがんについて正しい理解を図り、健康と命の大切さを考えさせることができる。

II 取組内容（予定を含む）・成果と課題等

1 授業

(1) 実施状況

日時	学年	教科	内 容
H28. 7. 11	1 年	保健	現代社会と健康
H28. 11. 18 5 時間目	衛生看護科 2 年	成人看護	機能障害と看護
H28. 11. 30 6 時間目	衛生看護科 3 年	成人看護	機能障害と看護

(2) 成果・課題等

高校 1 年では、保健「現代社会と健康」の授業において、指導用教材「がん教育推進のための教材」を用い「がん」について特化することにより、生活習慣とのかかわりが深いことを再認識でき、予防や対策などについて正しく理解できるなど、自分自身の問題として課題解決に向けて取り組むことが更にできるようになった。

衛生看護科 2 年では、成人看護「機能障害と看護」において、生徒にがんの予防、検査、治療について指導する中で、がんの基本的な知識について身に付けることができた。その知識を用いて、日本人の死因第 1 位のがんについて身近なものとして「自分だったら」「自分の家族だったら」とがん患者の心理面、看護について思考を深めさせた。今後の授業において、緩和ケアに関わる内容を行い、命の大切さについて学ばせる予定である。

衛生看護科 3 年では、成人看護「機能障害と看護」において、胃がん患者の看護を中心に授業を行うことで、胃がんが何の原因でなりやすいのか、どのような予防が必要であるかを学ばせることができた。また、がんと向き合い、がんと共に生活ができるようにどのような関わりが必要であるか、事例患者をもとに生徒が考えることで、患者さんの生活など、一人一人に合った関わりが必要であると学んでいる。今後は、他の部位のがんについて学習を行う必要がある。

2 外部講師による講演等

(1) 実施状況

日時	学年	外部講師	内 容
H28. 6. 20 15 : 25 ~ 16 : 15	1 年	広島大学病院 放射線治療科 教授 永田靖	講演会「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」
H28. 8. 1 8 : 50 ~ 10 : 40	専攻科 2 年	広島大学病院 放射線治療科 教授 永田靖	講演会「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」

(2) 成果・課題・評価等

高校1年では、生徒の約88%ががんに関する理解ができたと回答し、約97%が今後の生活に役立つと回答した。専門医師による講演会は知識の習得にとっても効果的であった。講演会で学んだことを日常生活においても意識し、自己の健康管理等に向けて判断・選択・適切な処置ができる実践力を養っていくことが課題である。

専攻科2年生では、がん治療の中でも、放射線治療について学んだ。利点、欠点、副作用など、実際の症例の治療前後の比較を写真で行いながらの講義であった。また、広島がん高精度放射線治療センターの取組を紹介していただいた。課題としていた、生徒が実際の患者さんの状態や看護と結びつけることについては、臨地実習等により指導を継続し、学びを深めさせた。

平成28年度の取組において、生徒へがんについての理解を推進することができたと考える。平成29年度以降も継続して実施する予定である。

3 アンケートの実施

(1) 児童生徒

日時	学年	内 容 等
H28. 6. 20	1年	事前アンケート (H28. 7. 19事後アンケート)
H28. 6. 20	衛生看護科 2年	事前アンケート (H28. 11. 28事後アンケート)
H28. 6. 20	衛生看護科 3年	事前アンケート (H28. 11. 30事後アンケート)
H28. 6. 20	専攻科2年	事前アンケート (H28. 8. 1事後アンケート)
H28. 11. 20	専攻科1年	事前・事後アンケート

(2) 教職員

日時	対象	内 容 等
H28. 7. 20	体育科教員	教職員アンケート
H28. 11. 28	衛生看護科教員 (2年授業担当)	教職員アンケート
H28. 11. 30	衛生看護科教員 (3年授業担当)	教職員アンケート

III 事業を実施しての気づきや全県展開に向けての課題等

- ・講演や教科での実施時期・内容については、継続して校務分掌や学年会及び関係教科等と連携を図ることで、体系的な学びとしていく必要がある。
- ・教科の学習内容においては、学習指導要領の内容を充実させる必要がある。
1時間単位をすべて、「がん」に特化して授業することは困難な場合は、1時間単位の中で時間を区切って、学習を深める必要がある。
- ・指導用教材「がん教育推進のための教材」は、校種の違いや学科の違いなどにより、同一のものを使用するのは、困難ではないかと考える。

がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

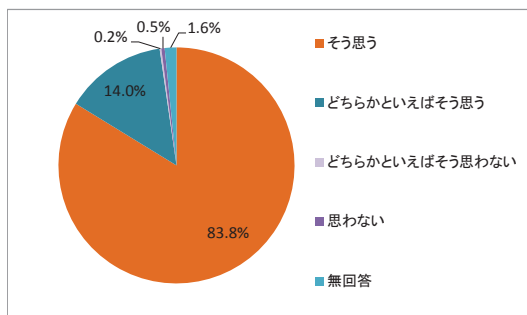
広島皆実高等学校

(1) 児童生徒に対するアンケート

1) がんについて当てはまるもの

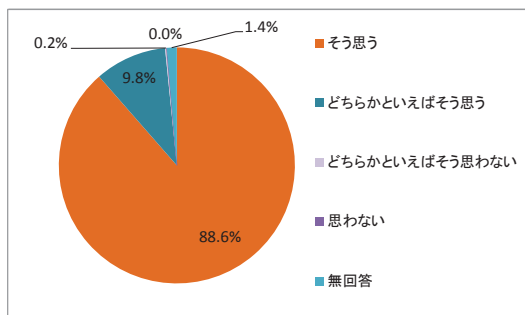
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施前)

(単位：人)	
そう思う	366
どちらかといえばそう思う	61
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	2
無回答	7



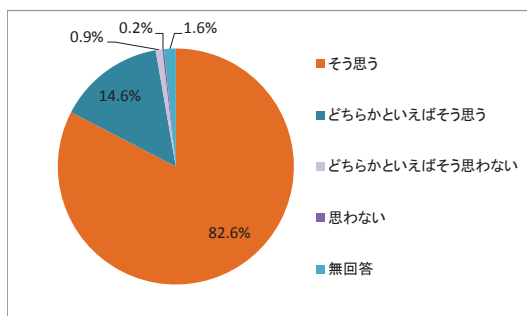
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施後)

(単位：人)	
そう思う	387
どちらかといえばそう思う	43
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	6



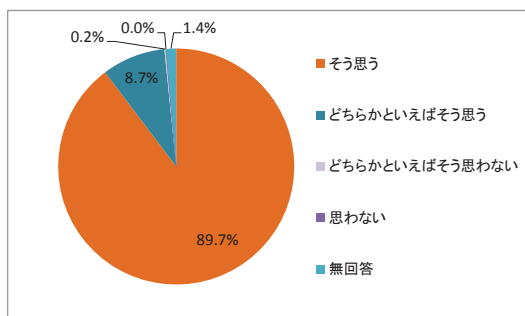
b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施前)

(単位：人)	
そう思う	361
どちらかといえばそう思う	64
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	1
無回答	7



b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施後)

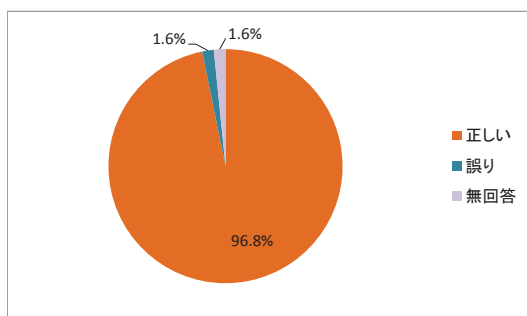
(単位：人)	
そう思う	392
どちらかといえばそう思う	38
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	6



2) がんについて当てはまるもの

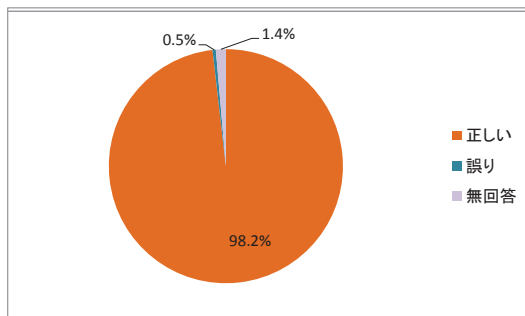
a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施前)

(単位：人)	
正しい	423
誤り	7
無回答	7



a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施後)

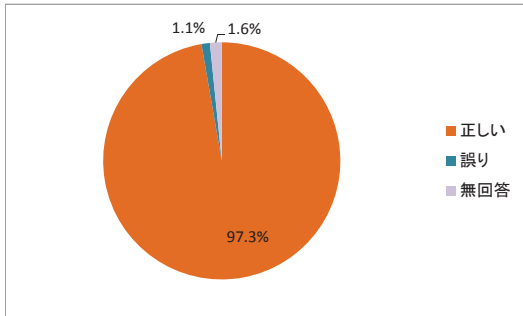
(単位：人)	
正しい	429
誤り	2
無回答	6



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施前）

(単位：人)

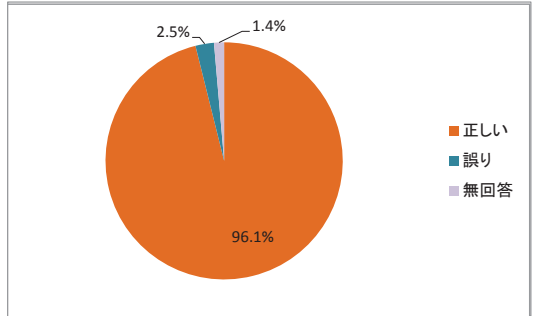
正しい	425
誤り	5
無回答	7



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施後）

(単位：人)

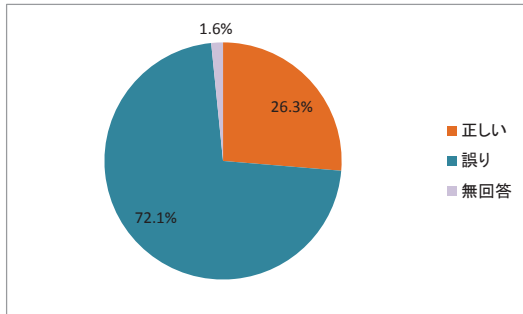
正しい	420
誤り	11
無回答	6



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施前）

(単位：人)

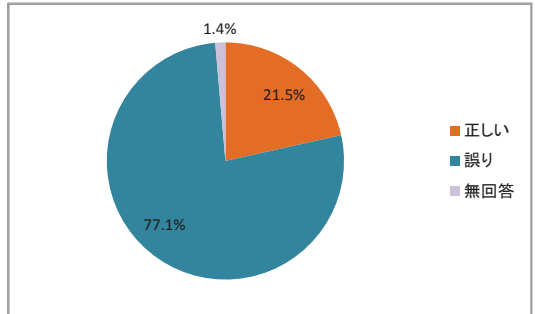
正しい	115
誤り	315
無回答	7



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施後）

(単位：人)

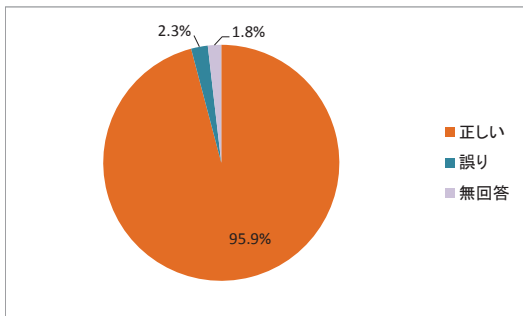
正しい	94
誤り	337
無回答	6



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施前）

(単位：人)

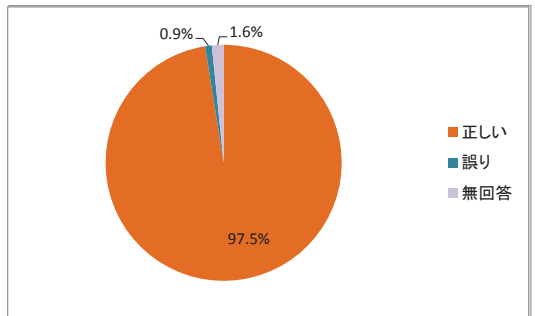
正しい	419
誤り	10
無回答	8



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施後）

(単位：人)

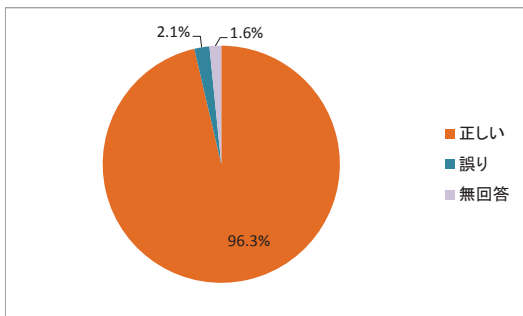
正しい	426
誤り	4
無回答	7



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施前）

(単位：人)

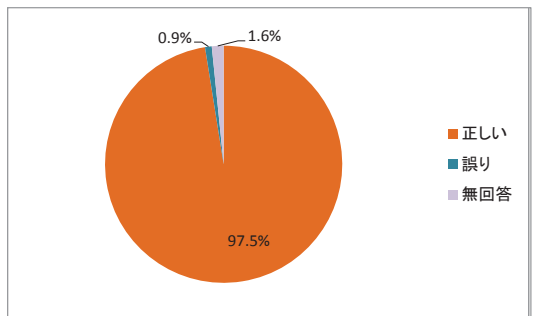
正しい	421
誤り	9
無回答	7



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施後）

(単位：人)

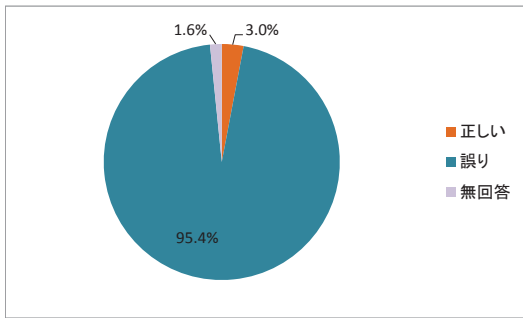
正しい	426
誤り	4
無回答	7



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施前）

(単位：人)

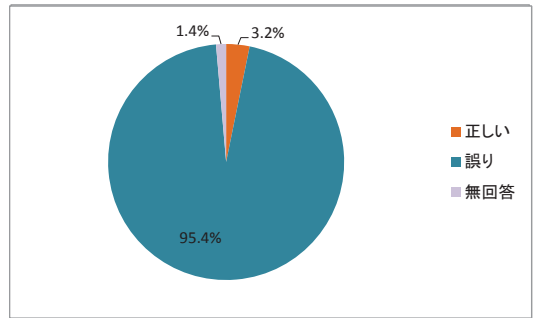
正しい	13
誤り	417
無回答	7



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施後）

(単位：人)

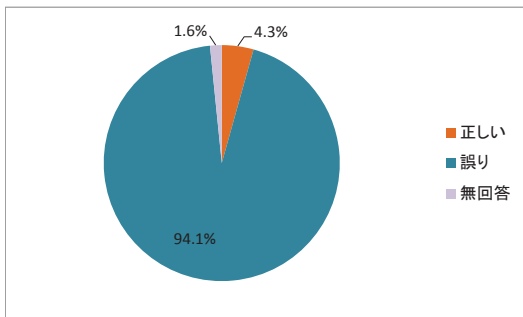
正しい	14
誤り	417
無回答	6



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施前）

(単位：人)

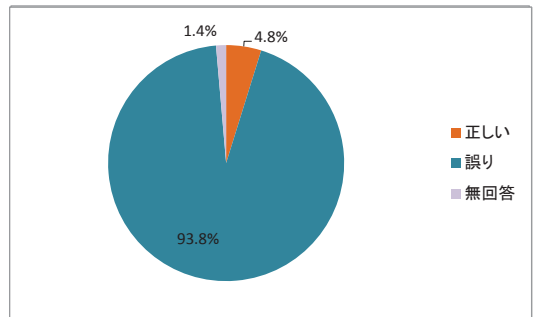
正しい	19
誤り	411
無回答	7



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施後）

(単位：人)

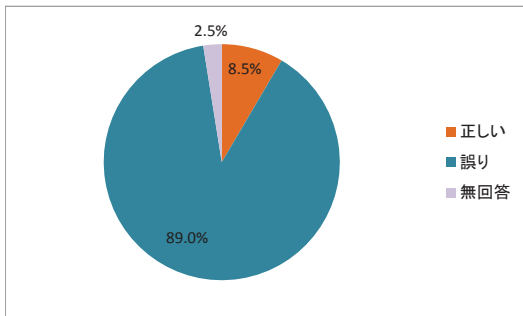
正しい	21
誤り	410
無回答	6



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施前）

(単位：人)

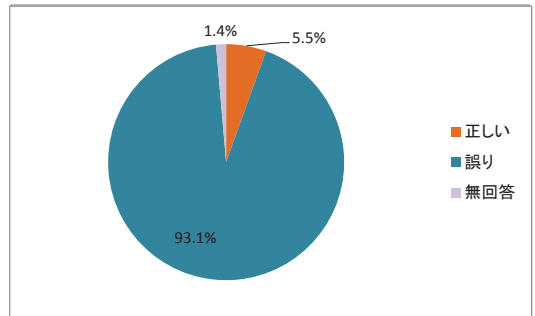
正しい	37
誤り	389
無回答	11



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施後）

(単位：人)

正しい	24
誤り	407
無回答	6

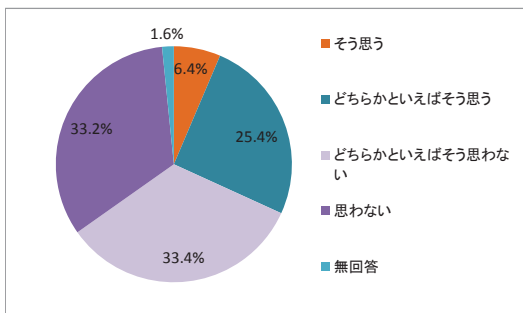


3) がんについて当てはまるもの

a 自分はがんにならないと思う（事業実施前）

(単位：人)

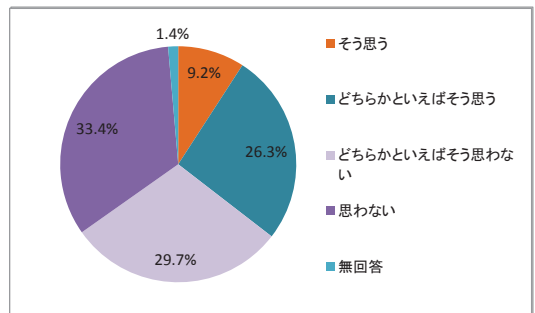
そう思う	28
どちらかといえばそう思う	111
どちらかといえばそう思わない	146
思わない	145
無回答	7



a 自分はがんにならないと思う（事業実施後）

(単位：人)

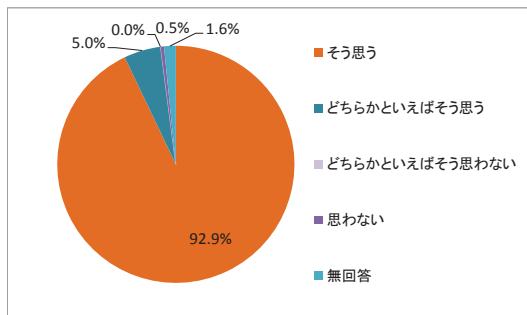
そう思う	40
どちらかといえばそう思う	115
どちらかといえばそう思わない	130
思わない	146
無回答	6



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施前）

(単位：人)

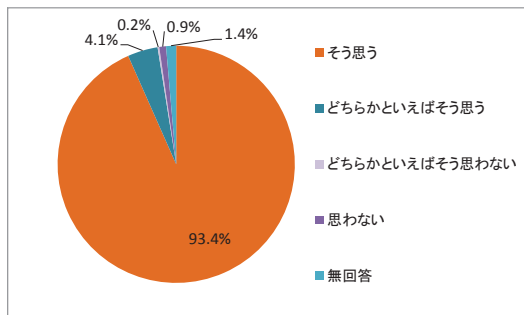
そう思う	406
どちらかといえばそう思う	22
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	2
無回答	7



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施後）

(単位：人)

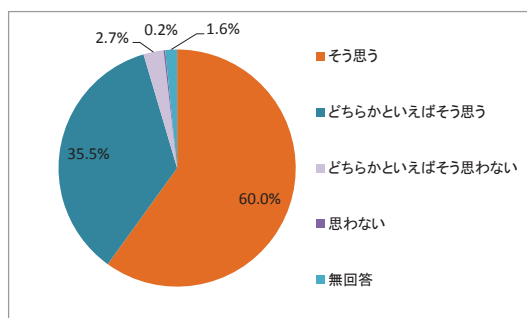
そう思う	408
どちらかといえばそう思う	18
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	4
無回答	6



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

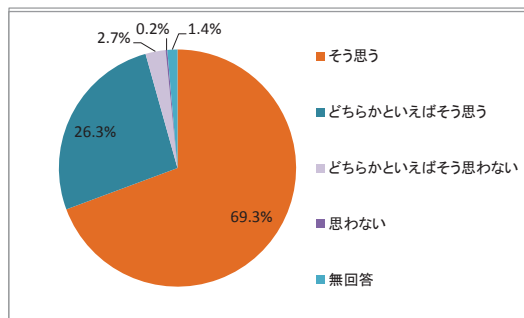
そう思う	262
どちらかといえばそう思う	155
どちらかといえばそう思わない	12
思わない	1
無回答	7



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

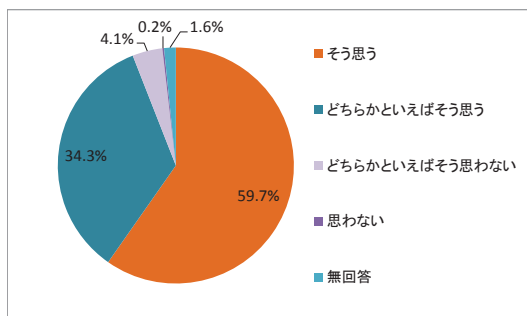
そう思う	303
どちらかといえばそう思う	115
どちらかといえばそう思わない	12
思わない	1
無回答	6



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施前）

(単位：人)

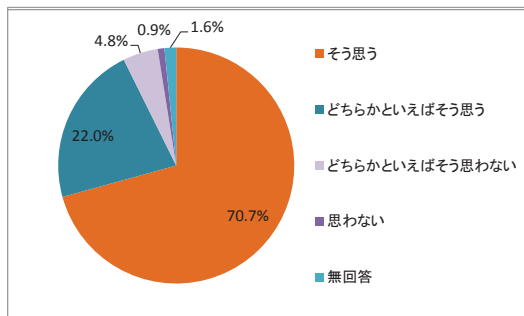
そう思う	261
どちらかといえばそう思う	150
どちらかといえばそう思わない	18
思わない	1
無回答	7



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施後）

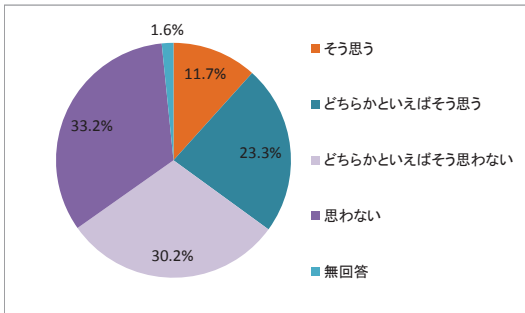
(単位：人)

そう思う	309
どちらかといえばそう思う	96
どちらかといえばそう思わない	21
思わない	4
無回答	7



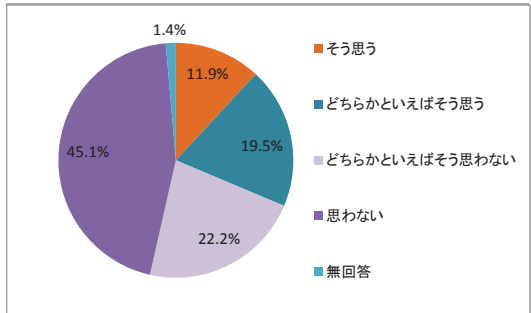
e がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	51
どちらかといえばそう思う	102
どちらかといえばそう思わない	132
思わない	145
無回答	7



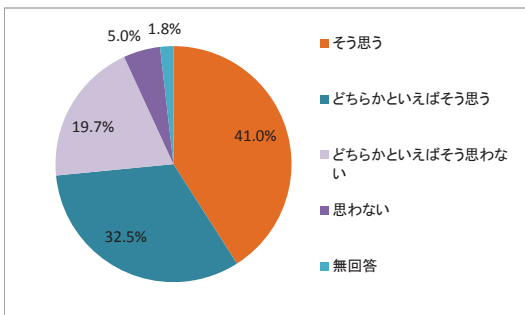
e がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	52
どちらかといえばそう思う	85
どちらかといえばそう思わない	97
思わない	197
無回答	6



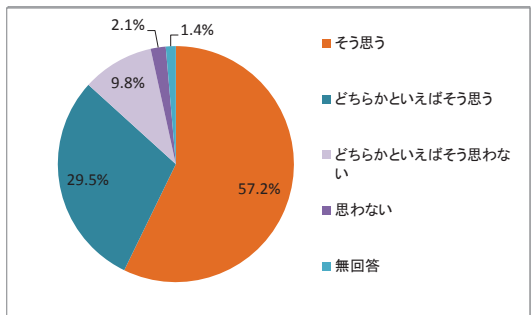
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	179
どちらかといえばそう思う	142
どちらかといえばそう思わない	86
思わない	22
無回答	8



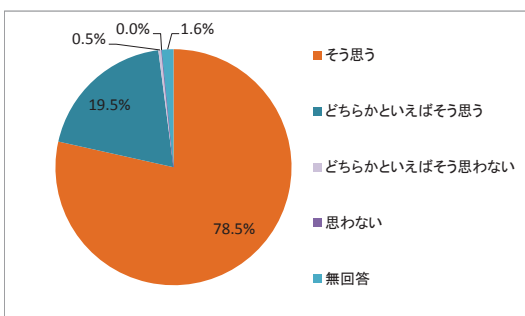
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	250
どちらかといえばそう思う	129
どちらかといえばそう思わない	43
思わない	9
無回答	6



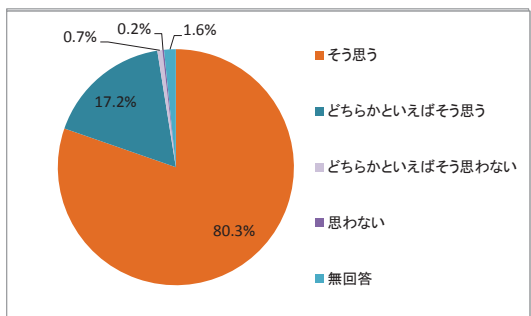
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	343
どちらかといえばそう思う	85
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	7



g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施後）

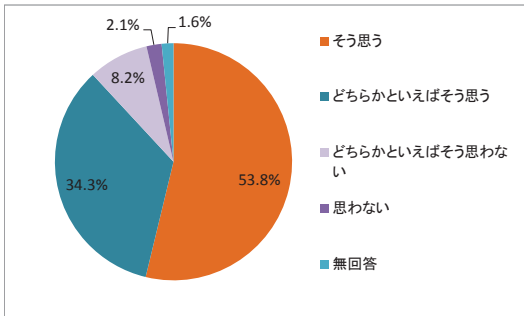
(単位：人)	
そう思う	351
どちらかといえばそう思う	75
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	1
無回答	7



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施前）

(単位：人)

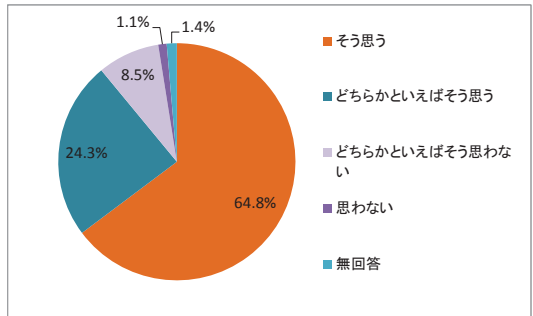
そう思う	235
どちらかといえばそう思う	150
どちらかといえばそう思わない	36
思わない	9
無回答	7



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施後）

(単位：人)

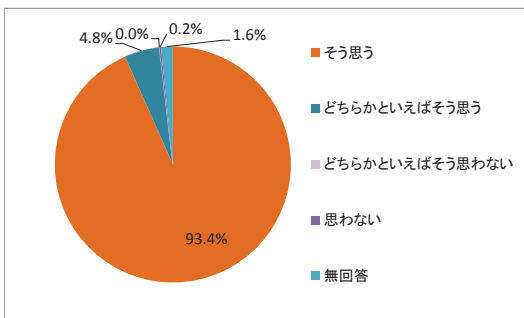
そう思う	283
どちらかといえばそう思う	106
どちらかといえばそう思わない	37
思わない	5
無回答	6



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施前）

(単位：人)

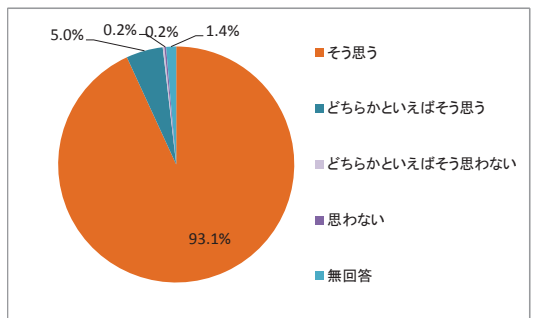
そう思う	408
どちらかといえばそう思う	21
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	1
無回答	7



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施後）

(単位：人)

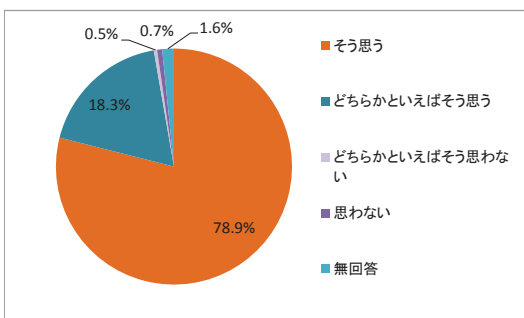
そう思う	407
どちらかといえばそう思う	22
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	1
無回答	6



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

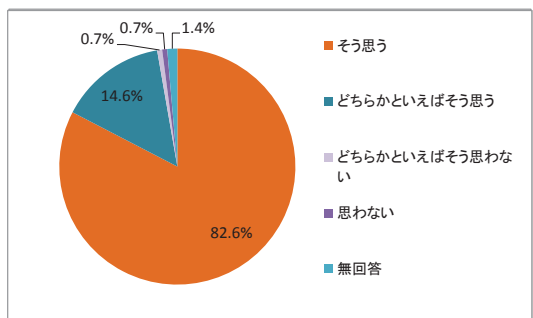
そう思う	345
どちらかといえばそう思う	80
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	3
無回答	7



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

そう思う	361
どちらかといえばそう思う	64
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	3
無回答	6



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

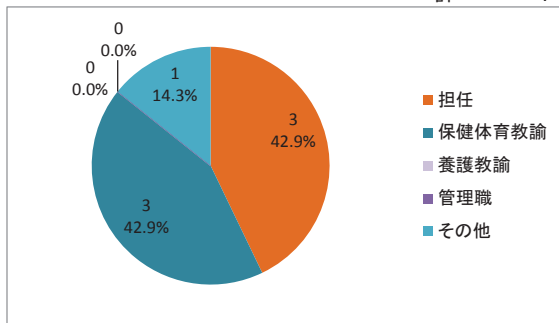
広島皆実高等学校

(2) 学校（教職員）に対するアンケート

1) あなたの職種をお答えください。

(単位：人)

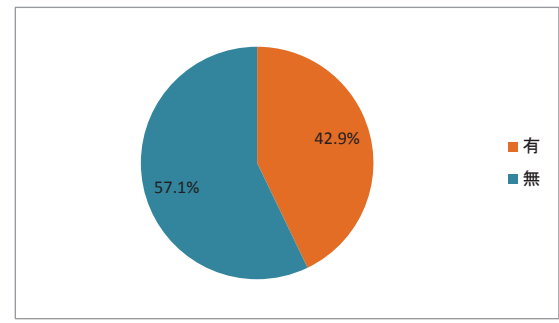
担任	3
保健体育教諭	3
養護教諭	0
管理職	0
その他	1
計	7



2) 外部講師の活用の有無について

(単位：人)

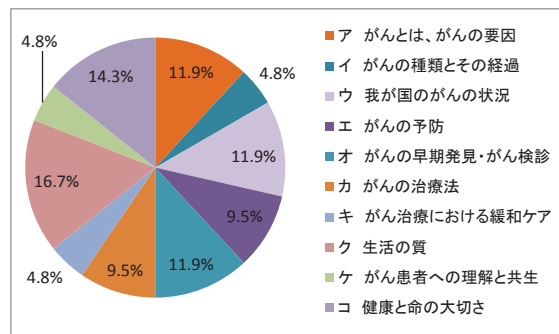
有	3
無	4



3) 授業で扱った内容について。

(単位：人)

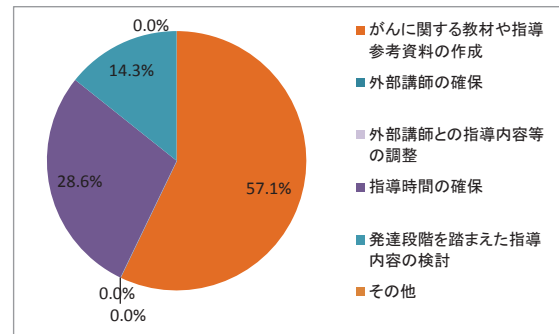
ア がんとは、がんの要因	5
イ がんの種類とその経過	2
ウ 我が国のがんの状況	5
エ がんの予防	4
オ がんの早期発見・がん検診	5
カ がんの治療法	4
キ がん治療における緩和ケア	2
ク 生活の質	7
ケ がん患者への理解と共生	2
コ 健康と命の大切さ	6



4) 課題のあった項目について (複数回答可)

(単位：人)

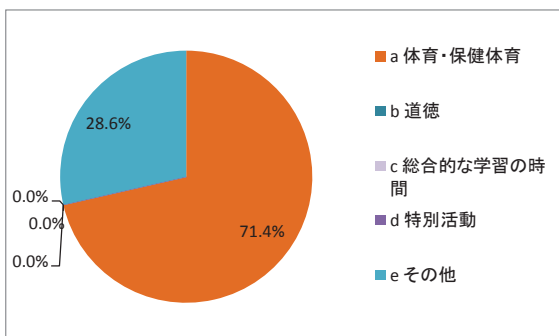
がんに関する教材や指導参考資料の作成	4
外部講師の確保	0
外部講師との指導内容等の調整	0
指導時間の確保	2
発達段階を踏まえた指導内容の検討	1
その他	0



5) 利用した時間についてお答えください。

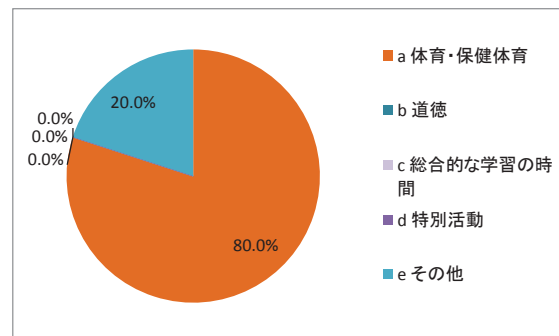
(がんに関する知識についての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	5
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	2



(いの中の大切さについての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	4
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	1



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

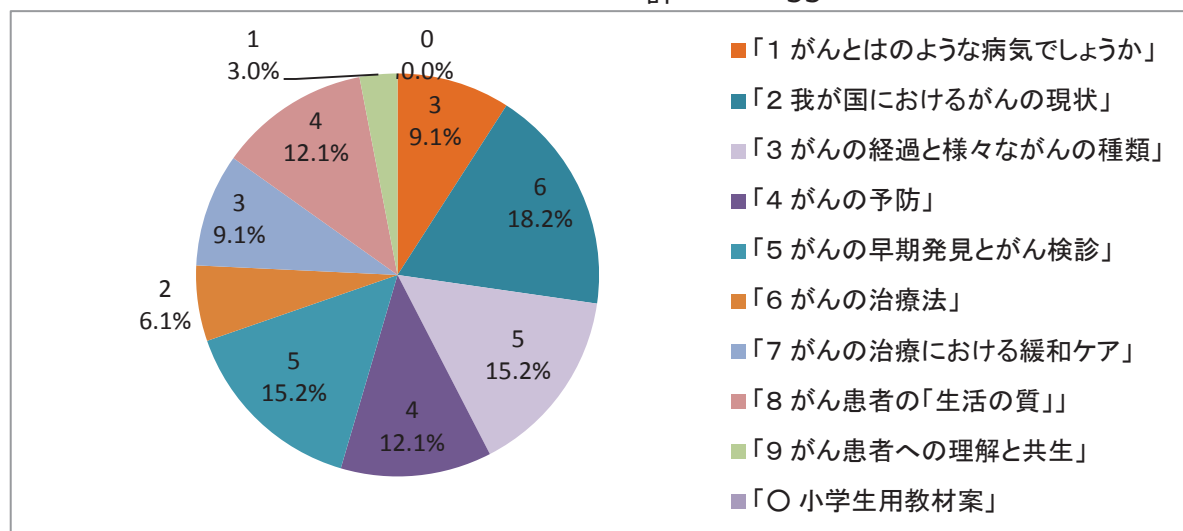
広島皆実高等学校

(3) 学校（教職員）に対するアンケート（教材について）

1) 文部科学省作成「がん教育推進のための教材」の中で、授業で活用した項目

「1 がんとはどのような病気でしょうか」	3
「2 我が国におけるがんの現状」	6
「3 がんの経過と様々ながんの種類」	5
「4 がんの予防」	4
「5 がんの早期発見とがん検診」	5
「6 がんの治療法」	2
「7 がんの治療における緩和ケア」	3
「8 がん患者の「生活の質」」	4
「9 がん患者への理解と共生」	1
「○ 小学生用教材案」	0

計 33



平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校における取組

学校名	黒瀬高等学校
-----	--------

I 本事業のねらい

<p>○がんについて正しい知識を持ち、健康の保持増進をはかる。</p> <p>○自他の命の大切さに気付き自己の生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。</p>
--

II 取組内容（予定を含む）・成果と課題等

1 授業

(1) 実施状況

日時	学年	教科	内 容
H28. 10. 25 2 時間目	2 年	現代社会	科学技術の発達と私たちの生命
H28. 11. 4 3 時間目	1 年	保健	現代社会と健康
H28. 11. 8 2 時間目	1 年	保健	現代社会と健康

(2) 成果・課題等

<p>○生徒にとって、がんという病気について、漠然と恐ろしい病気であるという認識しかなかったが、専門家の話を聞くことで正しい知識を得ることができたことが大変有意義であった。また、関連するいくつかの教科の中でがんについて取り上げることで、より生徒の理解が深まったと思われる。</p> <p>○現実はやはり大変厳しいという事実を突きつけられる部分もあり、がんに関する正しい知識と理解がより大切であることを再認識した。</p> <p>○この取組が単発的にならないように、学校だけでなく様々な機関が協力しながらこの事業を進めることが大切である。</p>
--

2 外部講師による講演等

(1) 実施状況

日時	学年	外部講師	内 容
H28. 10. 26 15 : 00～ 16 : 00	—	国立病院機構 東広島医療センター 診療部長・呼吸器内科部長 村上功	事前打ち合わせ
H28. 11. 2 14 : 40～ 15 : 30	全校生徒 ・保護者		講演会「がんを予防する生活習慣について」

(2) 成果・課題・評価等

<p>○講師の先生に様々な工夫をした講演を行っていただいたので、生徒は関心を持ち、理解しようと努めていた。</p> <p>○事実を伝えるために、生々しい写真やデータを出していただいた。教員からは様々な意見も出たが、生徒たちは冷静に受け止めていたようである。しかし、専門的な医学用語がたくさん出て来たので、理解するのが困難なところもあった。</p>

3 アンケートの実施

(1) 児童生徒

日時	学年	内 容 等
H28. 11. 1	全学年	児童生徒に対する「がん教育アンケート（生徒）①講演前」を全校生徒に行った（講演前日）。
H28. 11. 4	全学年	児童生徒に対する「がん教育アンケート（生徒）②講演後」を講演終了直後に感想文と共に行った。

(2) 教職員

日時	対象	内 容 等
H28. 11. 7	関係教員	黒瀬高校がん教育推進委員会の委員に学校（教職員）用のアンケートを講演会後に行った。

Ⅲ 事業を実施しての気づきや全県展開に向けての課題等（アンケートの意見を含む）

- 医師の派遣について、ネットワークを構築していただきたい。
- 来年度の取組として、道徳・特別活動・総合的な学習の時間及び他の教科の中でどう位置付けるのかを検討する。
- 講演会の開催が主たる行事になると思うが、全ての学校が講演を行う場合、講師の選定や日程調整が必要である。
- がんに係る内容を既に取り扱っている教科もあるので、その内容の把握と調整が必要である。
- 3年間の各教科で扱う内容の把握と整理が必要である。
- 本校で講演していただいた講師は、肺がんの専門家であったので、肺がんについての話が多くなったが、できるだけ幅広い話が聞けるとよいと思った。
- 早期発見により回復が見込まれるような事例（少し明るい話題）を示していただければよいと思った。

がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

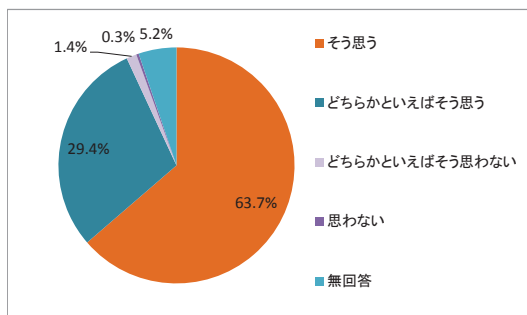
黒瀬高等学校

(1) 児童生徒に対するアンケート

1) がんについて当てはまるもの

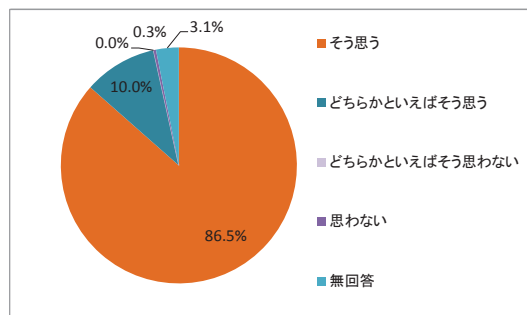
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施前)

(単位:人)	
そう思う	184
どちらかといえばそう思う	85
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	1
無回答	15



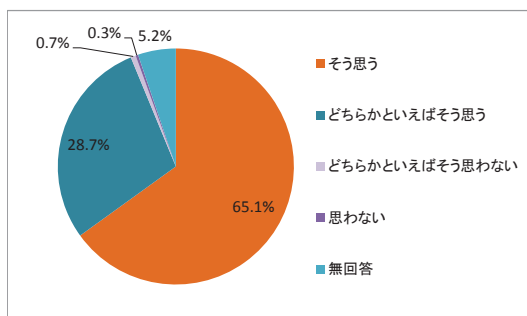
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施後)

(単位:人)	
そう思う	250
どちらかといえばそう思う	29
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	1
無回答	9



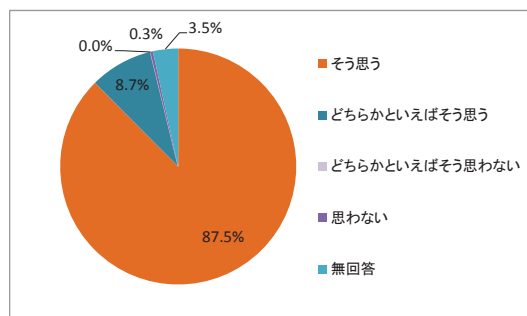
b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施前)

(単位:人)	
そう思う	188
どちらかといえばそう思う	83
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	1
無回答	15



b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施後)

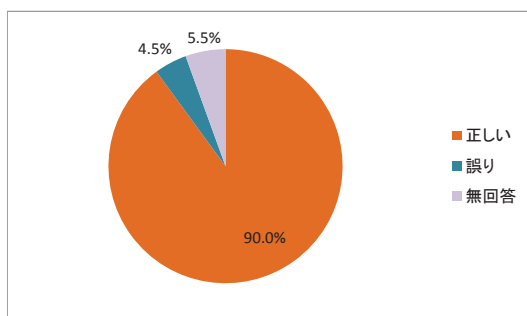
(単位:人)	
そう思う	253
どちらかといえばそう思う	25
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	1
無回答	10



2) がんについて当てはまるもの

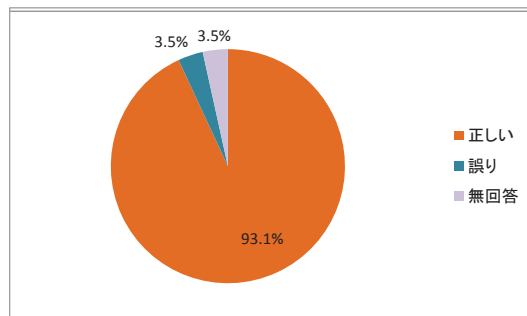
a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施前)

(単位:人)	
正しい	260
誤り	13
無回答	16



a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施後)

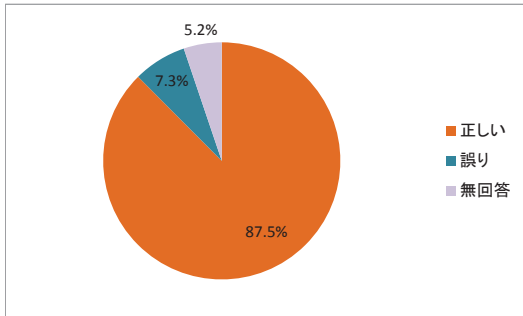
(単位:人)	
正しい	269
誤り	10
無回答	10



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施前）

(単位：人)

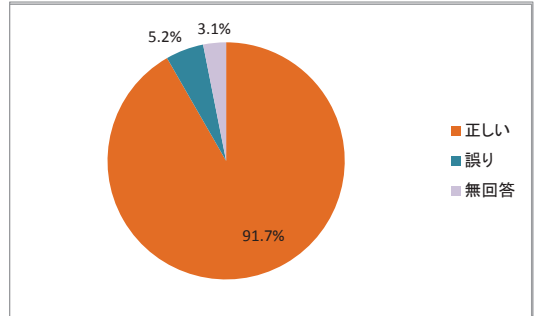
正しい	253
誤り	21
無回答	15



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施後）

(単位：人)

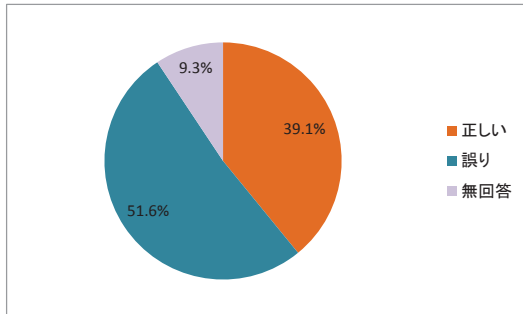
正しい	265
誤り	15
無回答	9



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施前）

(単位：人)

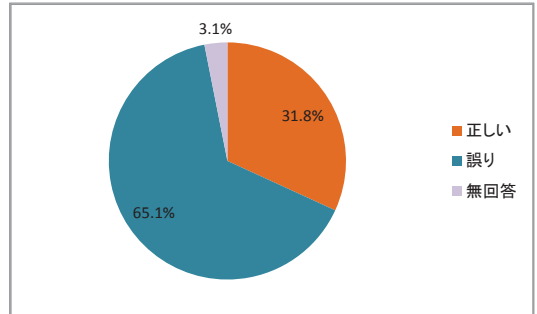
正しい	113
誤り	149
無回答	27



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施後）

(単位：人)

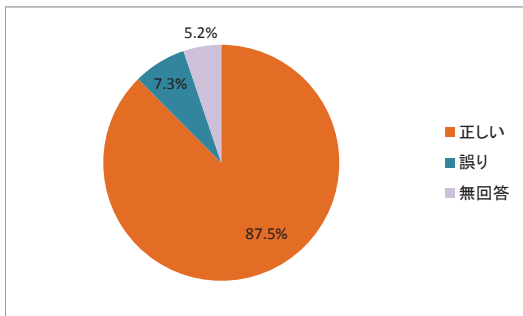
正しい	92
誤り	188
無回答	9



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施前）

(単位：人)

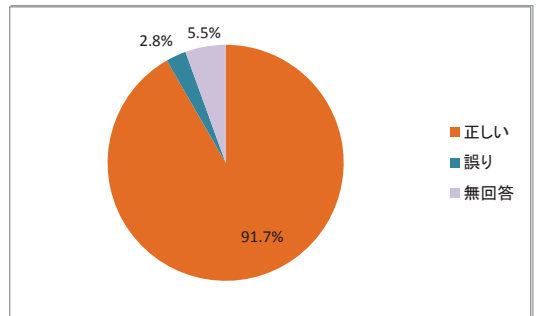
正しい	253
誤り	21
無回答	15



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施後）

(単位：人)

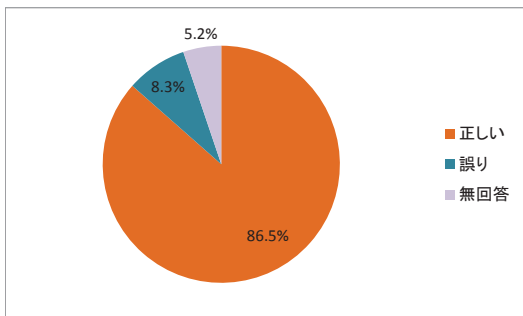
正しい	265
誤り	8
無回答	16



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施前）

(単位：人)

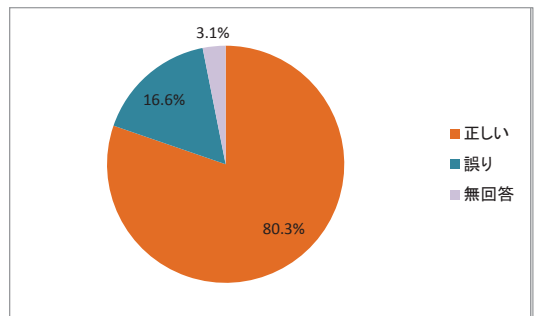
正しい	250
誤り	24
無回答	15



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施後）

(単位：人)

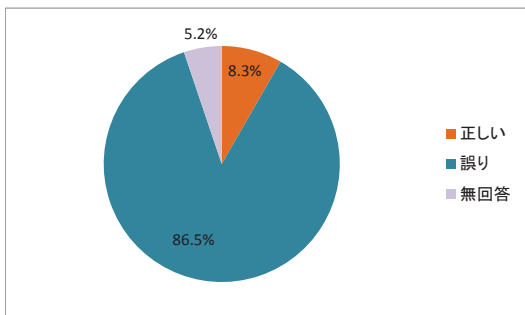
正しい	232
誤り	48
無回答	9



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施前）

(単位：人)

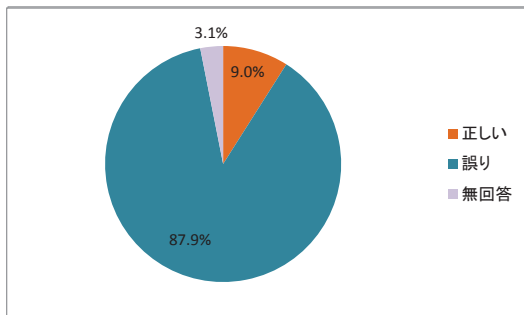
正しい	24
誤り	250
無回答	15



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施後）

(単位：人)

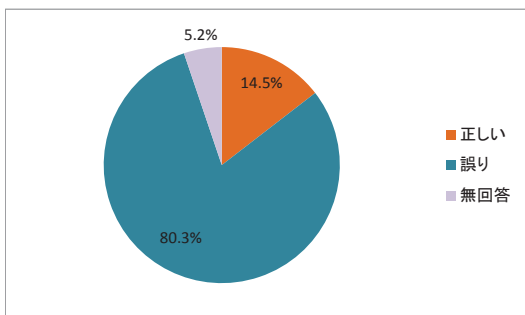
正しい	26
誤り	254
無回答	9



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施前）

(単位：人)

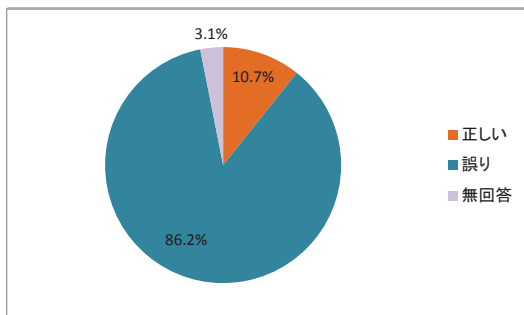
正しい	42
誤り	232
無回答	15



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施後）

(単位：人)

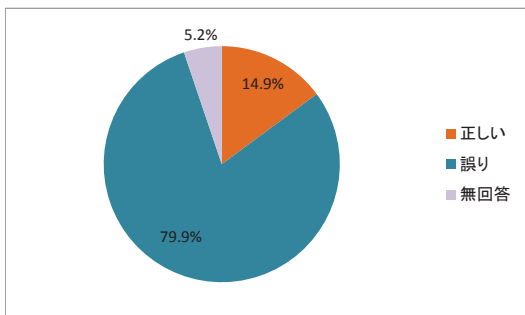
正しい	31
誤り	249
無回答	9



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施前）

(単位：人)

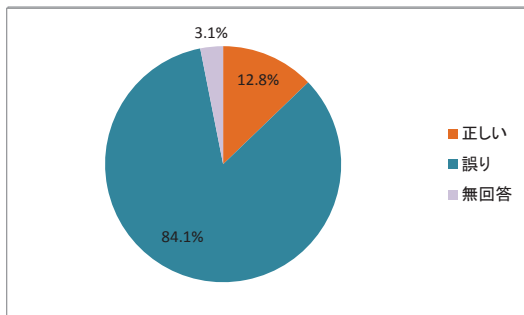
正しい	43
誤り	231
無回答	15



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施後）

(単位：人)

正しい	37
誤り	243
無回答	9

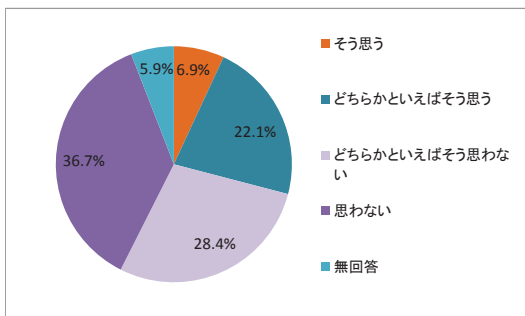


3) がんについて当てはまるもの

a 自分はがんにならないと思う（事業実施前）

(単位：人)

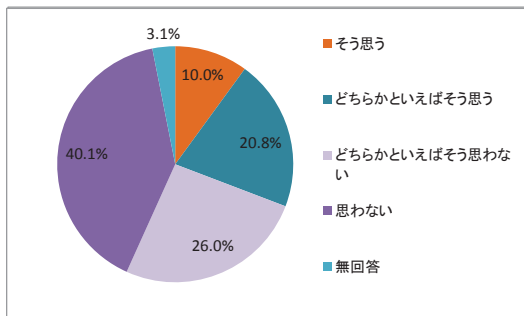
そう思う	20
どちらかといえばそう思う	64
どちらかといえばそう思わない	82
思わない	106
無回答	17



a 自分はがんにならないと思う（事業実施後）

(単位：人)

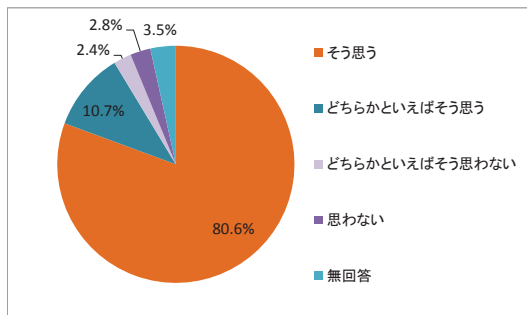
そう思う	29
どちらかといえばそう思う	60
どちらかといえばそう思わない	75
思わない	116
無回答	9



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施前）

(単位：人)

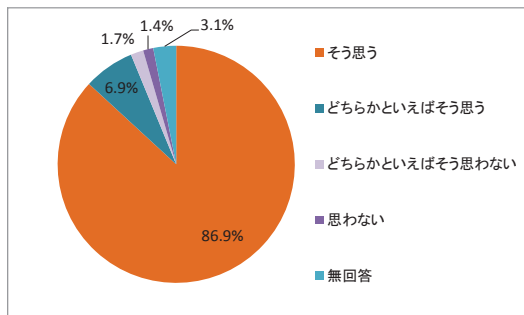
そう思う	233
どちらかといえばそう思う	31
どちらかといえばそう思わない	7
思わない	8
無回答	10



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施後）

(単位：人)

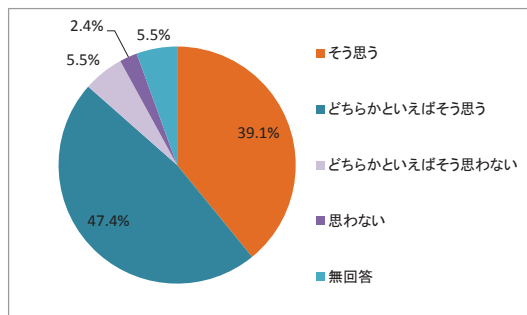
そう思う	251
どちらかといえばそう思う	20
どちらかといえばそう思わない	5
思わない	4
無回答	9



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

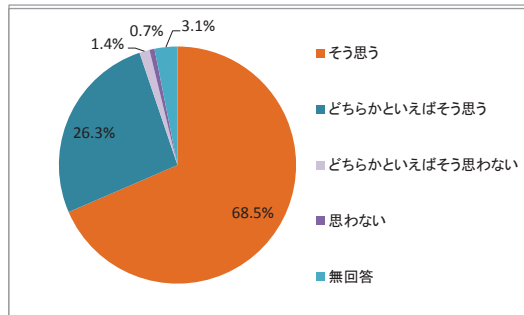
そう思う	113
どちらかといえばそう思う	137
どちらかといえばそう思わない	16
思わない	7
無回答	16



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

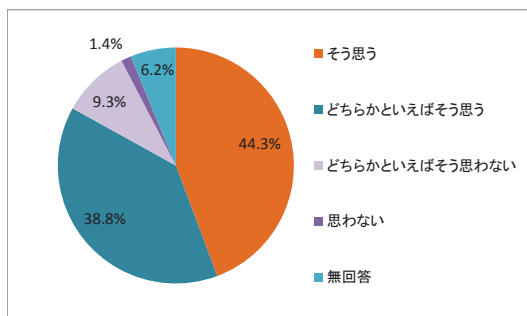
そう思う	198
どちらかといえばそう思う	76
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	2
無回答	9



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施前）

(単位：人)

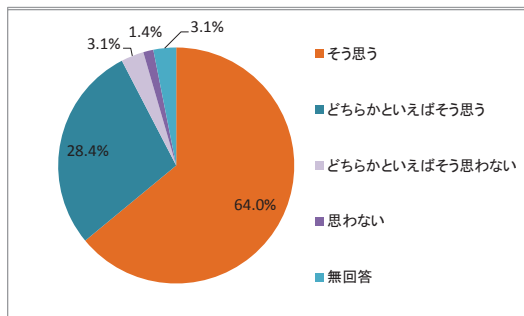
そう思う	128
どちらかといえばそう思う	112
どちらかといえばそう思わない	27
思わない	4
無回答	18



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施後）

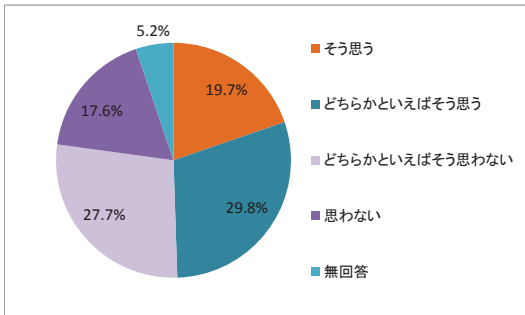
(単位：人)

そう思う	185
どちらかといえばそう思う	82
どちらかといえばそう思わない	9
思わない	4
無回答	9



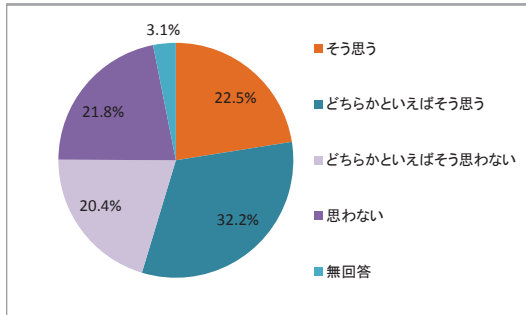
e がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	57
どちらかといえばそう思う	86
どちらかといえばそう思わない	80
思わない	51
無回答	15



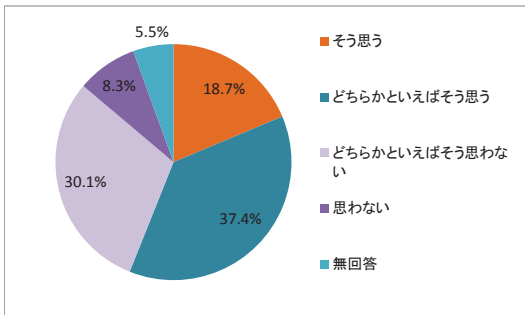
e がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	65
どちらかといえばそう思う	93
どちらかといえばそう思わない	59
思わない	63
無回答	9



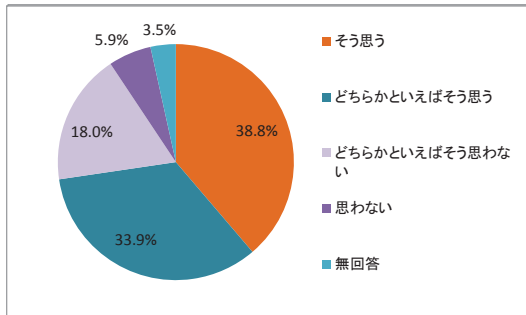
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	54
どちらかといえばそう思う	108
どちらかといえばそう思わない	87
思わない	24
無回答	16



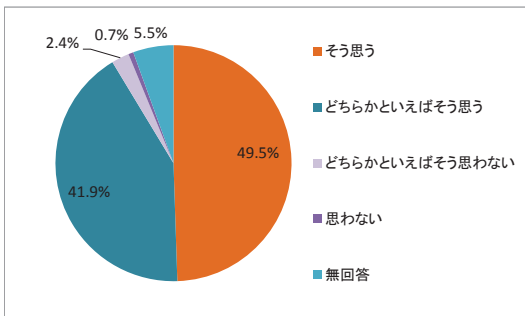
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	112
どちらかといえばそう思う	98
どちらかといえばそう思わない	52
思わない	17
無回答	10



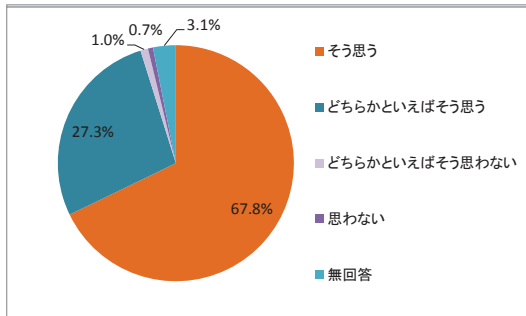
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	143
どちらかといえばそう思う	121
どちらかといえばそう思わない	7
思わない	2
無回答	16



g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施後）

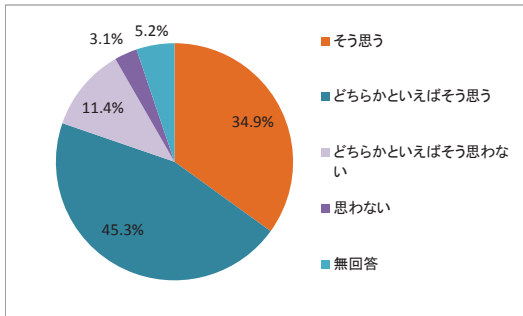
(単位：人)	
そう思う	196
どちらかといえばそう思う	79
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	2
無回答	9



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施前）

(単位：人)

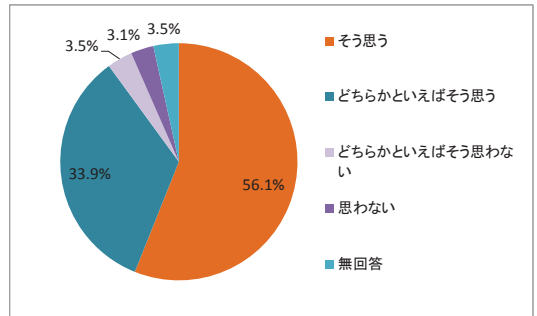
そう思う	101
どちらかといえばそう思う	131
どちらかといえばそう思わない	33
思わない	9
無回答	15



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施後）

(単位：人)

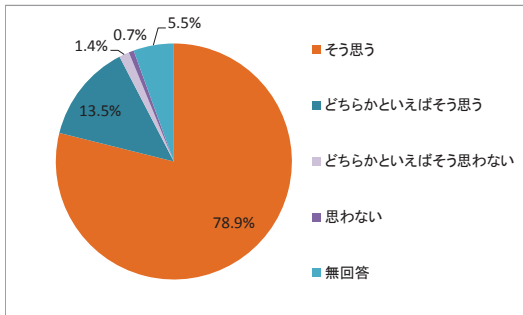
そう思う	162
どちらかといえばそう思う	98
どちらかといえばそう思わない	10
思わない	9
無回答	10



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施前）

(単位：人)

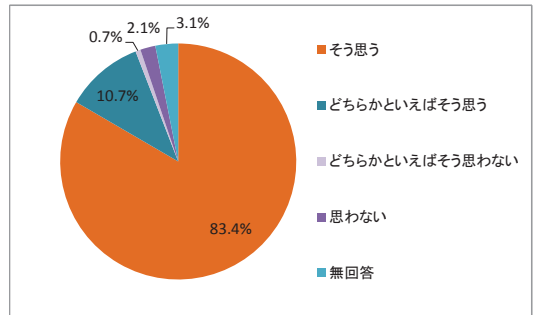
そう思う	228
どちらかといえばそう思う	39
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	2
無回答	16



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施後）

(単位：人)

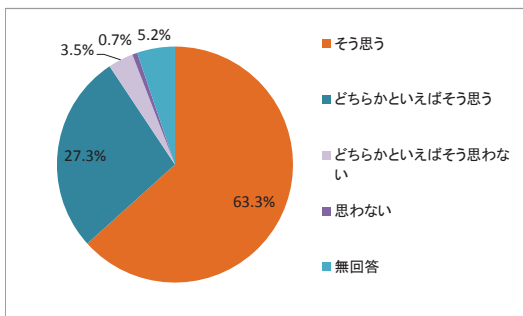
そう思う	241
どちらかといえばそう思う	31
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	6
無回答	9



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

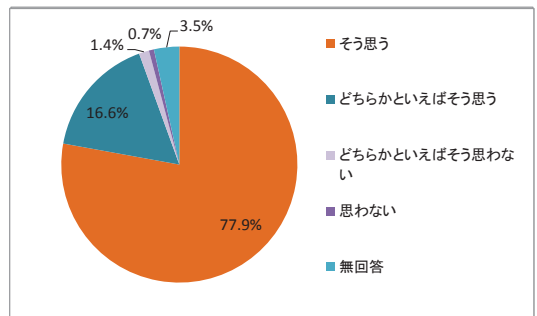
そう思う	183
どちらかといえばそう思う	79
どちらかといえばそう思わない	10
思わない	2
無回答	15



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

そう思う	225
どちらかといえばそう思う	48
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	2
無回答	10



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

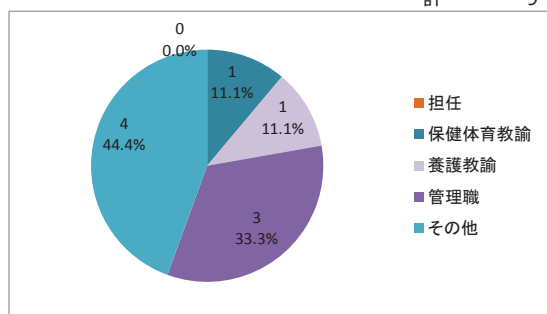
黒瀬高等学校

(2) 学校（教職員）に対するアンケート

1) あなたの職種をお答えください。

(単位：人)

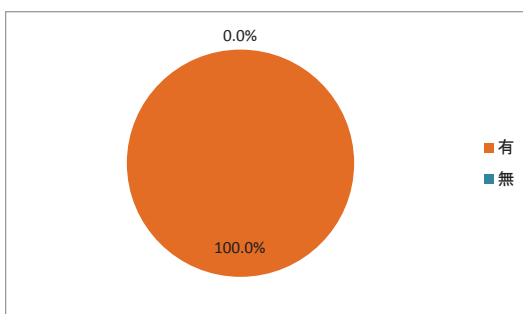
担任	0
保健体育教諭	1
養護教諭	1
管理職	3
その他	4
計	9



2) 外部講師の活用の有無について

(単位：人)

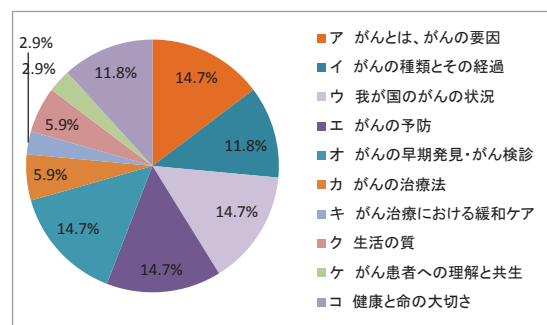
有	1
無	0



3) 授業で扱った内容について。

(単位：人)

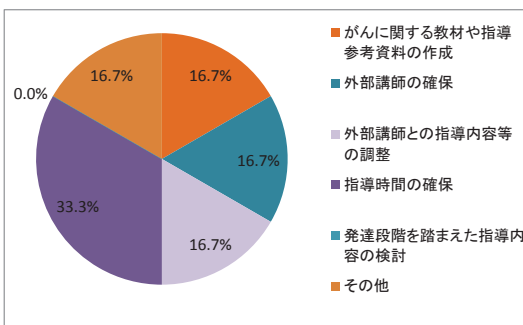
ア がんとは、がんの要因	5
イ がんの種類とその経過	4
ウ 我が国のがんの状況	5
エ がんの予防	5
オ がんの早期発見・がん検診	5
カ がんの治療法	2
キ がん治療における緩和ケア	1
ク 生活の質	2
ケ がん患者への理解と共生	1
コ 健康と命の大切さ	4



4) 課題のあった項目について（複数回答可）

(単位：人)

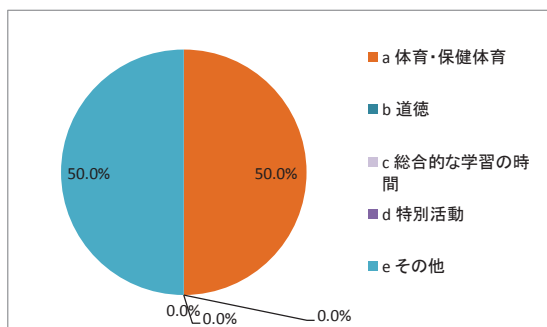
がんに関する教材や指導参考資料の作成	1
外部講師の確保	1
外部講師との指導内容等の調整	1
指導時間の確保	2
発達段階を踏まえた指導内容の検討	0
その他	1



5) 利用した時間についてお答えください。

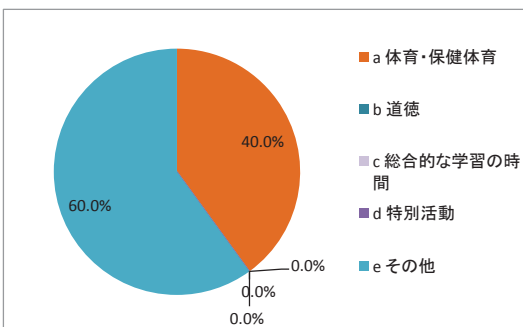
(がんに関する知識についての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	5
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	5



(いの中の大切さについての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	2
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	3



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【広島県教育委員会】

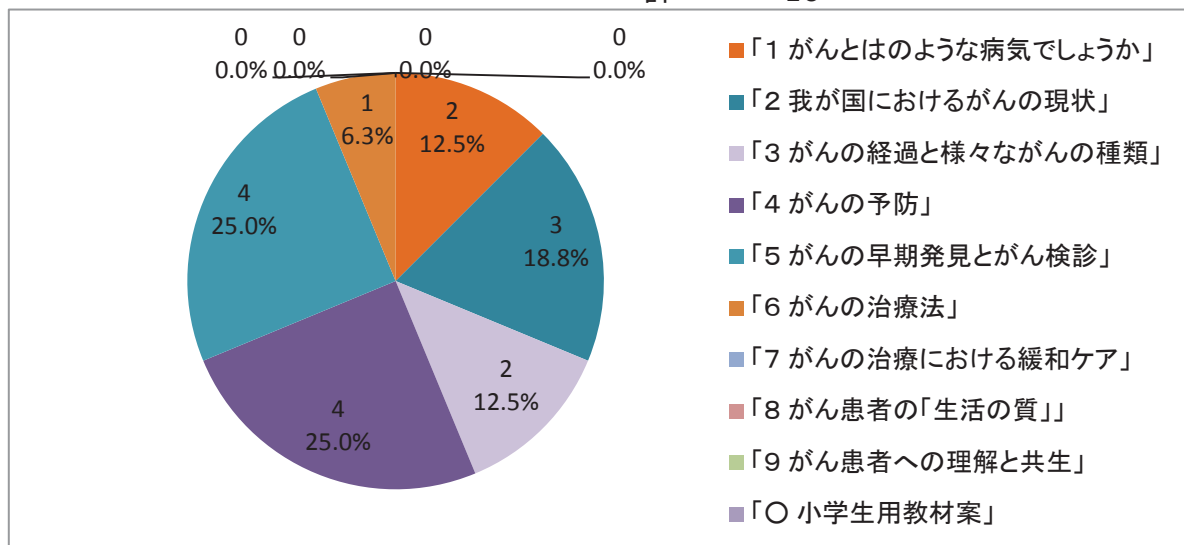
黒瀬高等学校

(3) 学校(教職員)に対するアンケート(教材について)

1) 文部科学省作成「がん教育推進のための教材」の中で、授業で活用した項目

「1 がんとはどのような病気でしょうか」	2
「2 我が国におけるがんの現状」	3
「3 がんの経過と様々ながんの種類」	2
「4 がんの予防」	4
「5 がんの早期発見とがん検診」	4
「6 がんの治療法」	1
「7 がんの治療における緩和ケア」	0
「8 がん患者の「生活の質」」	0
「9 がん患者への理解と共生」	0
「○ 小学生用教材案」	0

計 16



平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校における取組

学校名	東広島市立豊栄中学校
-----	------------

I 本事業のねらい

がんについて関心を持ち、その原因と我が国におけるがんの現状を理解するとともに、がんが身近な病気であることを知る。また、健康と命の大切さを改めて感じ取り、生涯にわたって健康の保持増進に努めていこうとする態度を養う。

II 取組内容（予定を含む）・成果と課題等

1 授業

(1) 実施状況

日時	学年	教科	内 容
H28. 10. 27 8:35～9:25	第3学年	保健	がんと健康
H28. 11. 1 14:00～14:50	第3学年	保健	がんの理解と共生（医師とTT）
H28. 11. 5 10:30～11:30	全学年	道徳	いのちを輝かす講演会

(2) 成果・課題等

<成果>

- ・生徒自身が生活習慣を見直し、改善していくべきであることが分かった。
- ・外部講師を招いての授業をすることによって、間違った知識、イメージを正しく直していただくことができ、生徒も興味・関心をもって授業を受けることができた。
- ・普段の生活習慣が大切であることを知り、「野菜を食べる」、「適度な運動をする」など、生徒が今の生活を改善をしていこうとする意識が高まった。
- ・がん患者の体験者から直接話を聞くことにより、命の大切さについてより深く考えることができた。

<課題>

- ・教職員自身ががんについて知らないことが多く、授業を実施する上で難しさを感じた。

2 外部講師による講演等

(1) 実施状況

日時	学年	外部講師	内 容
H28. 10. 12 14:30～16:00	—	国立病院機構東広島医療センター	事前研修会（教員対象）
H28. 11. 1 14:00～14:50	3	統括診療部長 高橋忠照	外部講師による授業「がんの理解と共生」
H28. 11. 5 10:30～11:30	全校生徒、保護者、地域	がん体験者の会とま～れ 代表 佐々木 佐久子	講演会「自分の命を輝かす」 演題「がんと共に～自分らしく生きる～」

(2) 成果・課題・評価等

<成果>

- ・校内研修会を行うことで、教職員ががんについての専門的な知識を得ることができ、がん検診の重要性に気付く教職員が増えた。
- ・外部講師に授業をしていただくことで、生徒のがんに対する正しい知識が深まった。また、自分でできるがん予防について理解し、実行しようとする意欲が高まった。
- ・がん患者の講演では、健康と命の大切さ、がんになっても前向きに生きていくことについて意識することができた。また、自分の生活を見直し、日々を大切に過ごしていこうとする意欲が高まった。

<課題・検討等>

- ・がん教育を行ったのち、がん教育を本校で広げていくための方法が分からないことがまだまだ多く、教職員ががんについてさらに知識を増やしていくことが重要となる。
- ・医療は日々進歩しており、がんについての情報収集は困難であるため、医療機関や外部講師との研修会など、連携を密にできる仕組みづくりが必要である。

3 アンケートの実施

(1) 生徒

日時	学年	内 容 等
H28. 9. 16	全学年	がんの学習が健康な生活を送るために重要かどうか。 がんの知識に関する項目（事前アンケート）
H28. 11. 18	全学年	同上（事後アンケート）

(2) 教職員

日時	対象	内 容 等
H28. 11. 15	校長, 教頭, 授業者, 研究主任	授業で取り扱った内容とその中で課題があった項目やがん教育推進のための教材の中において、授業で活用した内容と使いやすかった項目、使いにくかった項目（事後アンケート）

III 事業を実施しての気づきや全県展開に向けての課題等

- ・3年生はがんについて3回の授業をすることで、がんについて興味をもち、がんについて正しい知識をもち、自分の現在の生活習慣を見直そうとする意欲が高まった。
- ・1, 2年生は、命を輝かす講演会を聞くことで、がんの現状やがんになる原因なども知ることができ、がんになってもあきらめずにがんと闘って生きること、悔いのない生き方をすることの大切さを感じるすることができた。
- ・教職員自身ががん教育を受けたことがないため、生徒同様、間違った知識やイメージをもっていることもあることから、正しい知識が十分でなく、授業をする上で難しさを感じた。事前の学習会をさらに増やし、正しい知識を得ることができれば、授業の充実につながっていくと感じた。
- ・伝えたいこと、学ばせたいことが多岐にわたっており、発達段階に合わせて学習内容を精選しなければならない。
- ・本人や家族等の身近な人の疾病状況と詳細を把握しておく必要がある。
- ・中学生に分かりやすい教材・資料を適切に活用することが必要である。

がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【東広島市教育委員会】

東広島市立豊栄中学校

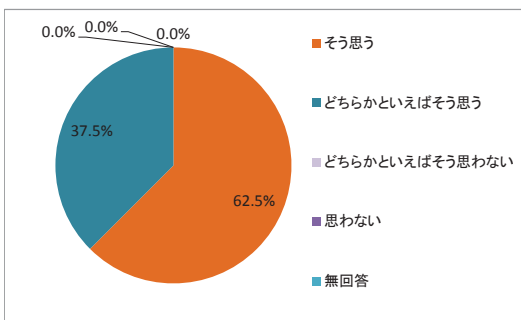
(1) 児童生徒に対するアンケート

1) がんについて当てはまるもの

a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施前)

(単位:人)

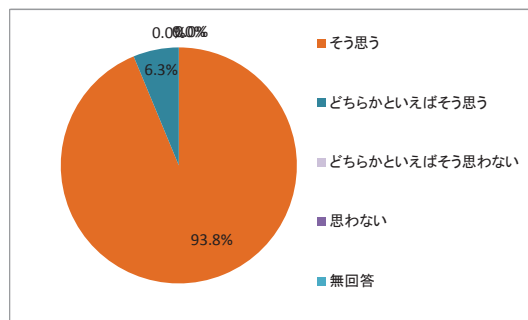
そう思う	10
どちらかといえばそう思う	6
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施後)

(単位:人)

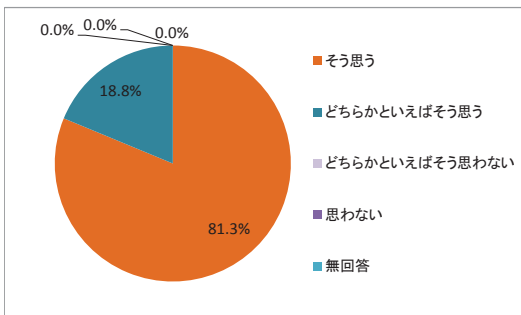
そう思う	15
どちらかといえばそう思う	1
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施前)

(単位:人)

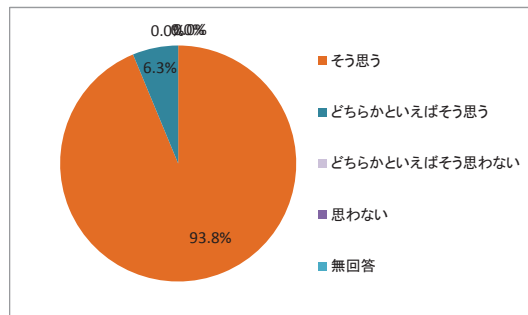
そう思う	13
どちらかといえばそう思う	3
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施後)

(単位:人)

そう思う	15
どちらかといえばそう思う	1
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0

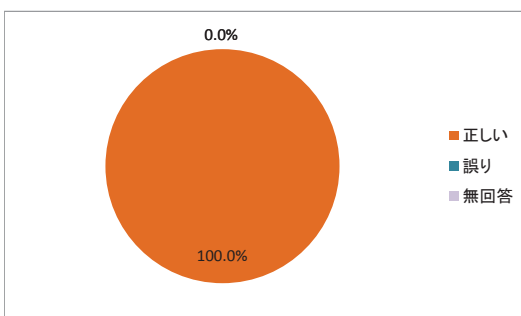


2) がんについて当てはまるもの

a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施前)

(単位:人)

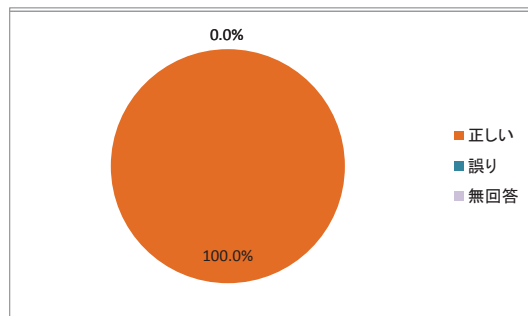
正しい	16
誤り	0
無回答	0



a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施後)

(単位:人)

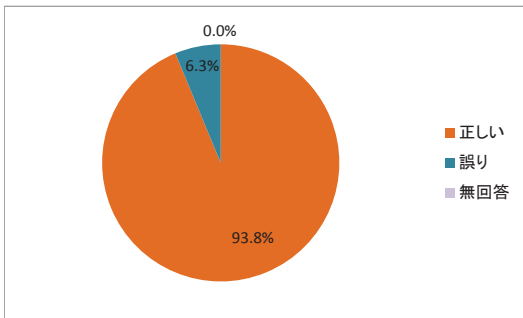
正しい	16
誤り	0
無回答	0



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施前）

(単位：人)

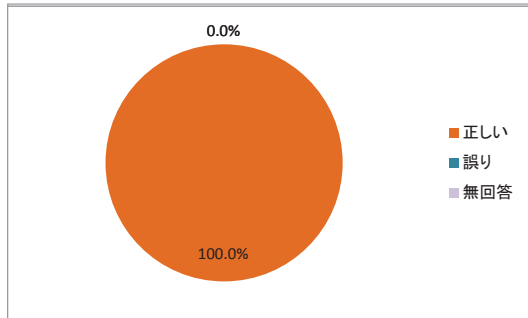
正しい	15
誤り	1
無回答	0



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施後）

(単位：人)

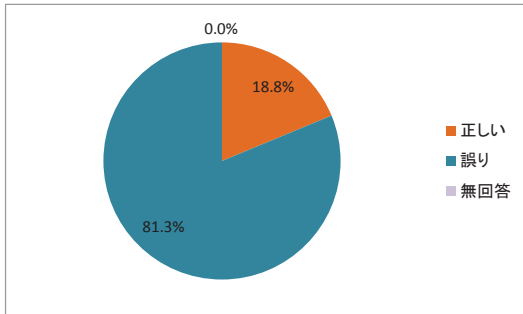
正しい	16
誤り	0
無回答	0



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施前）

(単位：人)

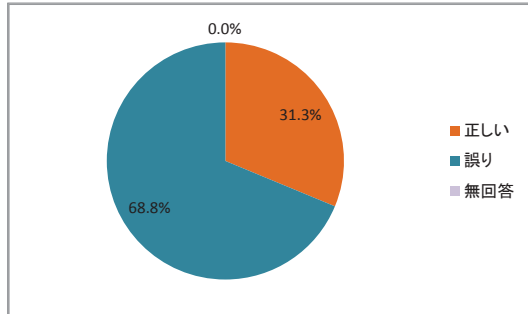
正しい	3
誤り	13
無回答	0



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施後）

(単位：人)

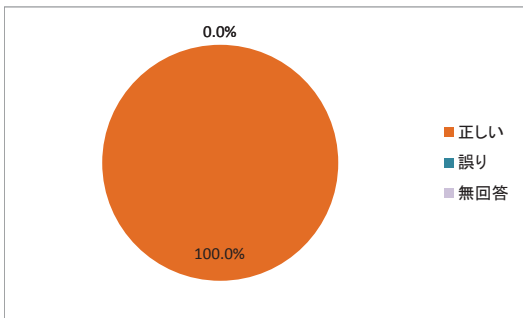
正しい	5
誤り	11
無回答	0



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施前）

(単位：人)

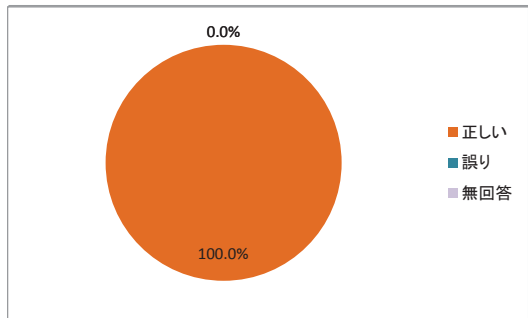
正しい	16
誤り	0
無回答	0



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施後）

(単位：人)

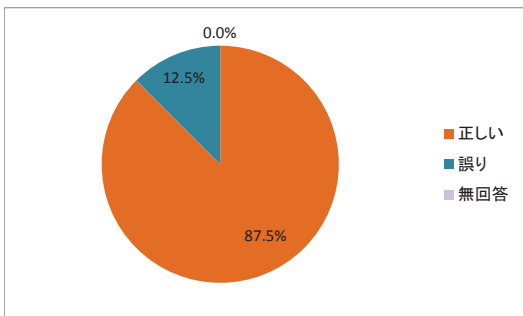
正しい	16
誤り	0
無回答	0



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施前）

(単位：人)

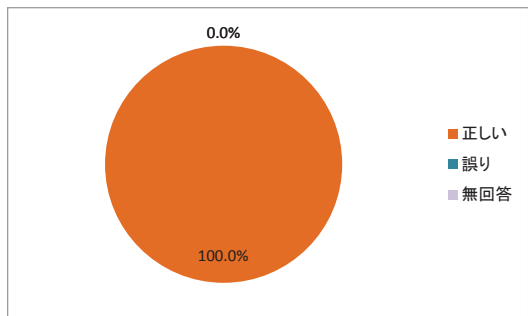
正しい	14
誤り	2
無回答	0



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施後）

(単位：人)

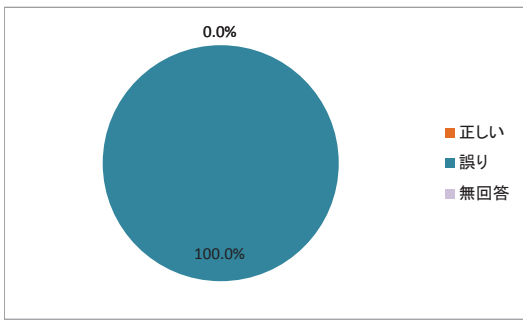
正しい	16
誤り	0
無回答	0



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施前）

(単位：人)

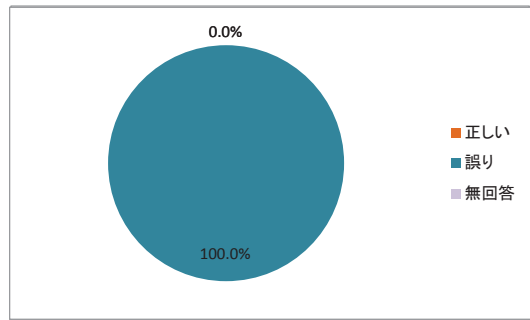
正しい	0
誤り	16
無回答	0



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施後）

(単位：人)

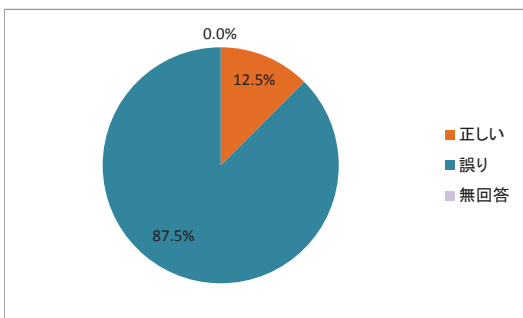
正しい	0
誤り	16
無回答	0



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施前）

(単位：人)

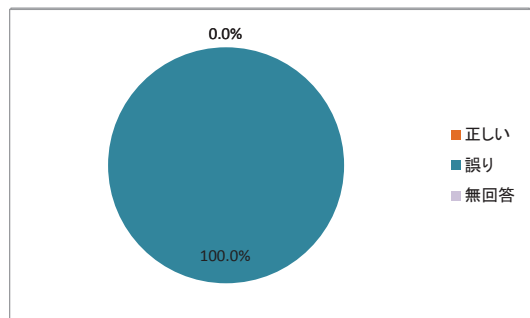
正しい	2
誤り	14
無回答	0



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施後）

(単位：人)

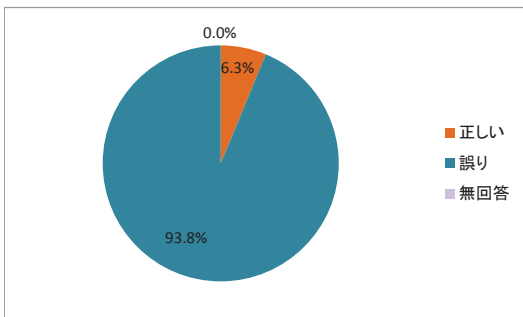
正しい	0
誤り	16
無回答	0



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施前）

(単位：人)

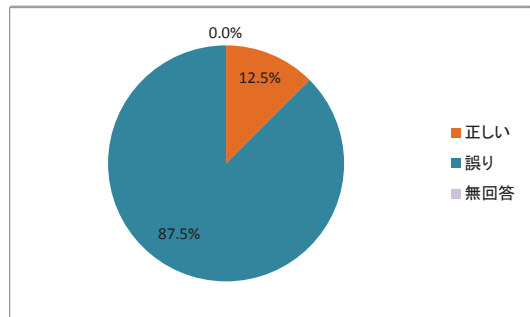
正しい	1
誤り	15
無回答	0



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施後）

(単位：人)

正しい	2
誤り	14
無回答	0

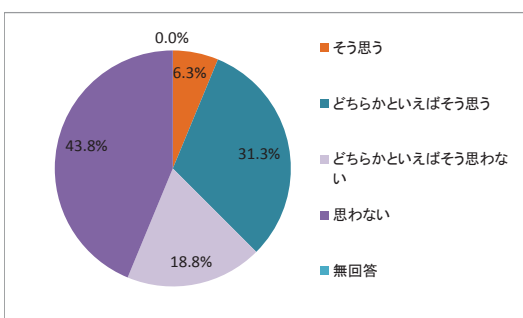


3) がんについて当てはまるもの

a 自分はがんにならないと思う（事業実施前）

(単位：人)

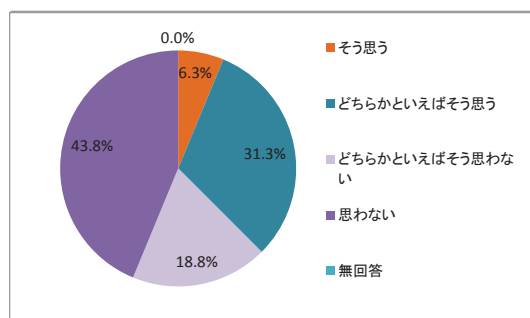
そう思う	1
どちらかといえばそう思う	5
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	7
無回答	0



a 自分はがんにならないと思う（事業実施後）

(単位：人)

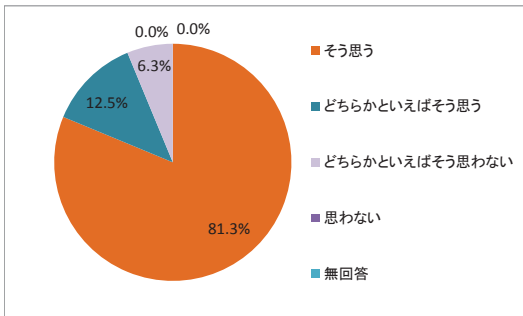
そう思う	1
どちらかといえばそう思う	5
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	7
無回答	0



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施前）

(単位：人)

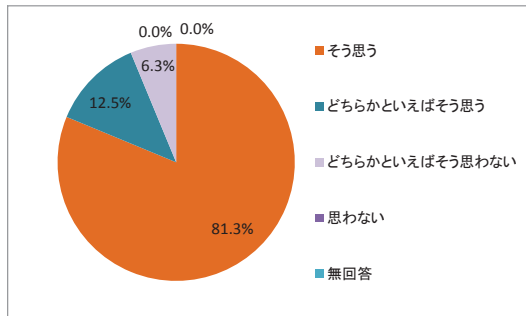
そう思う	13
どちらかといえばそう思う	2
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	0



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施後）

(単位：人)

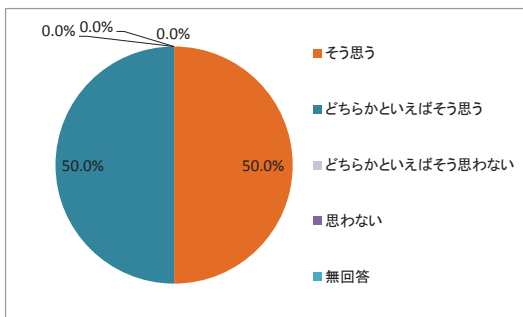
そう思う	13
どちらかといえばそう思う	2
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	0



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

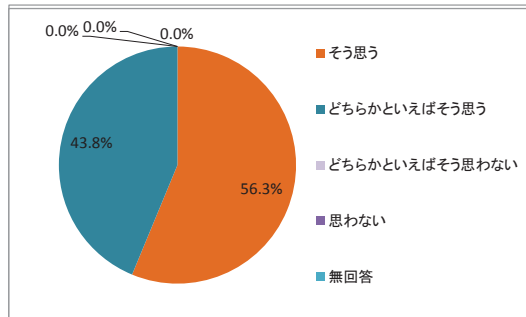
そう思う	8
どちらかといえばそう思う	8
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

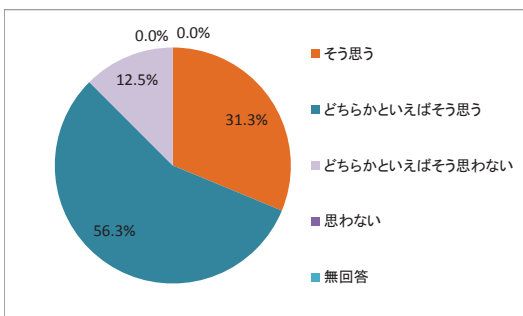
そう思う	9
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施前）

(単位：人)

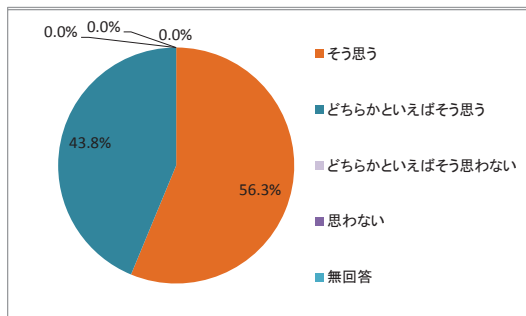
そう思う	5
どちらかといえばそう思う	9
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	0



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施後）

(単位：人)

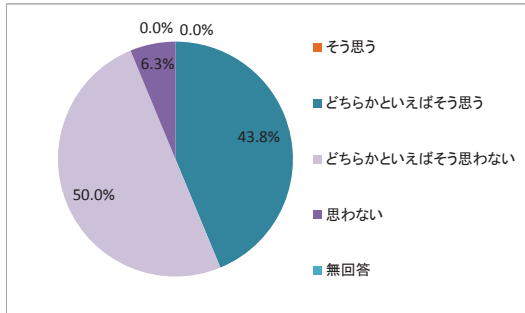
そう思う	9
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



e がんの治療方法はいつかあるが、医師が決めるものである (事業実施前)

(単位：人)

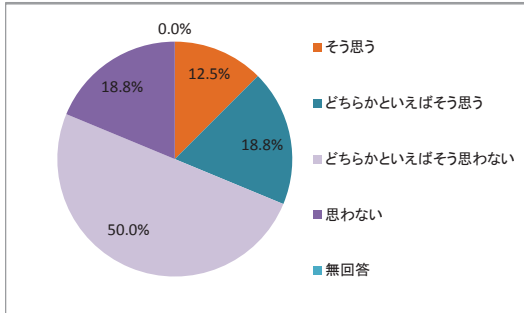
そう思う	0
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	1
無回答	0



e がんの治療方法はいつかあるが、医師が決めるものである (事業実施後)

(単位：人)

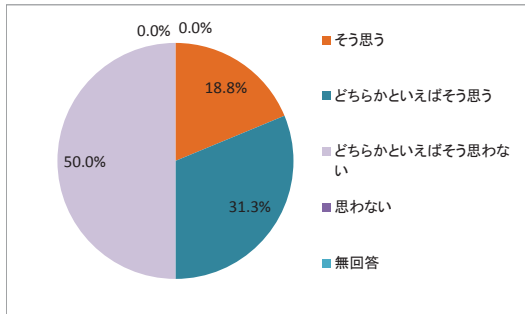
そう思う	2
どちらかといえばそう思う	3
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	3
無回答	0



f がんになっても生活の質を高めることができる (事業実施前)

(単位：人)

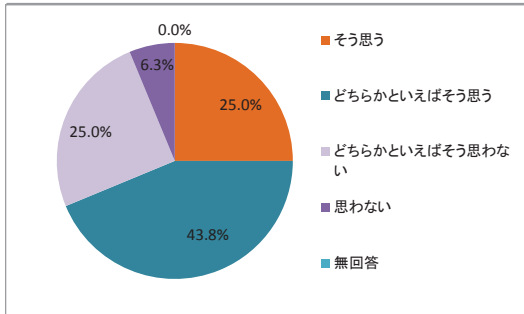
そう思う	3
どちらかといえばそう思う	5
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	0
無回答	0



f がんになっても生活の質を高めることができる (事業実施後)

(単位：人)

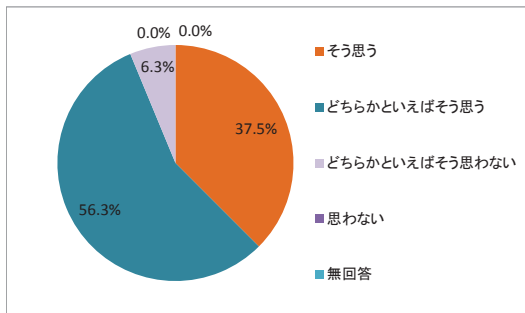
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	1
無回答	0



g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい (事業実施前)

(単位：人)

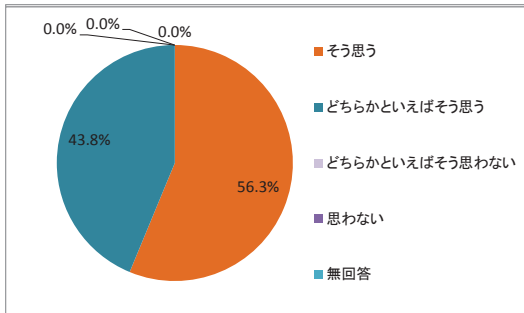
そう思う	6
どちらかといえばそう思う	9
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	0



g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい (事業実施後)

(単位：人)

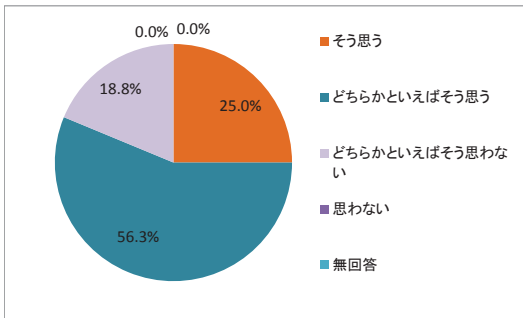
そう思う	9
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施前）

(単位：人)

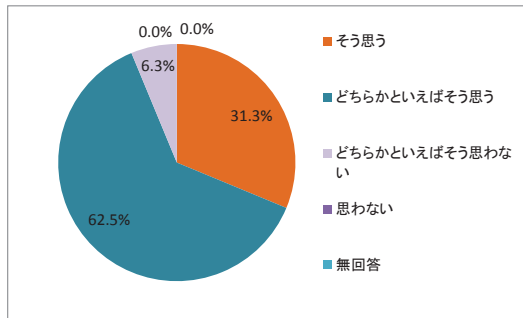
そう思う	4
どちらかといえばそう思う	9
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	0
無回答	0



h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施後）

(単位：人)

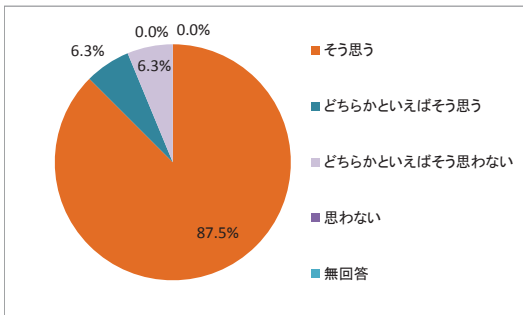
そう思う	5
どちらかといえばそう思う	10
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	0



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施前）

(単位：人)

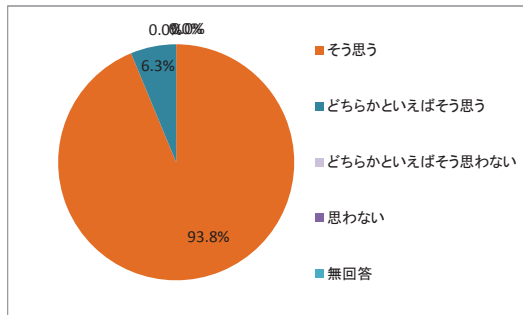
そう思う	14
どちらかといえばそう思う	1
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	0
無回答	0



i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施後）

(単位：人)

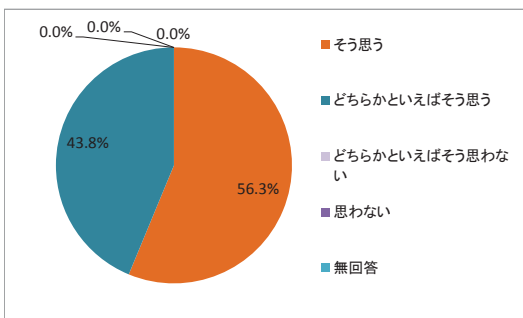
そう思う	15
どちらかといえばそう思う	1
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

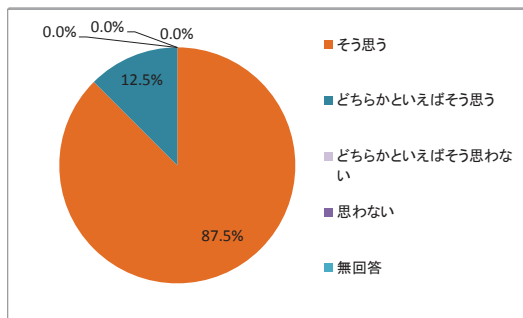
そう思う	9
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

そう思う	14
どちらかといえばそう思う	2
どちらかといえばそう思わない	0
思わない	0
無回答	0



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【東広島市教育委員会】

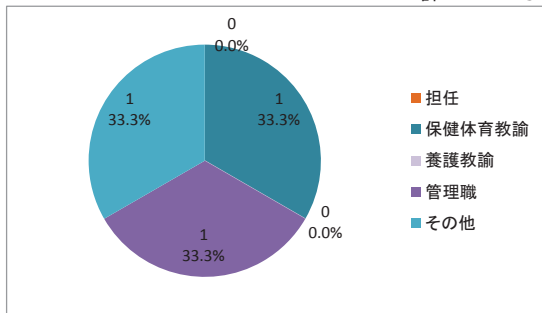
東広島市立豊栄中学校

(2) 学校（教職員）に対するアンケート

1) あなたの職種をお答えください。

(単位：人)

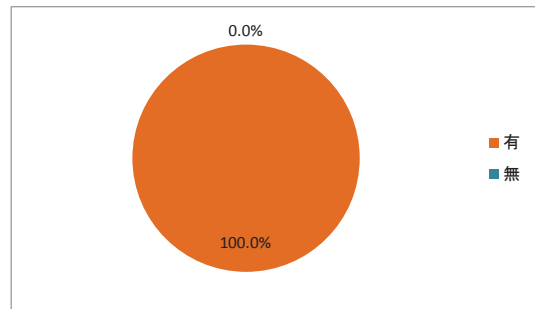
担任	0
保健体育教諭	1
養護教諭	0
管理職	1
その他	1
計	3



2) 外部講師の活用の有無について

(単位：人)

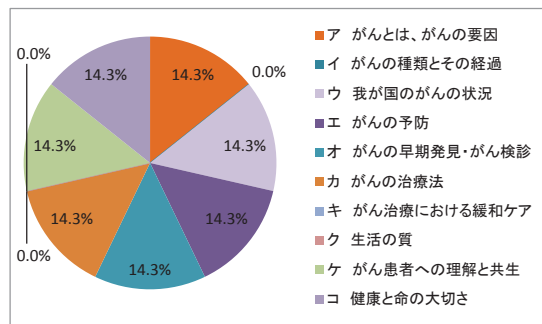
有	3
無	0



3) 授業で扱った内容について。

(単位：人)

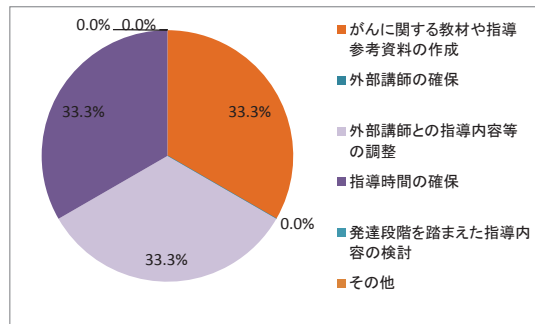
ア がんとは、がんの要因	3
イ がんの種類とその経過	0
ウ 我が国のがんの状況	3
エ がんの予防	3
オ がんの早期発見・がん検診	3
カ がんの治療法	3
キ がん治療における緩和ケア	0
ク 生活の質	0
ケ がん患者への理解と共生	3
コ 健康と命の大切さ	3



4) 課題のあった項目について（複数回答可）

(単位：人)

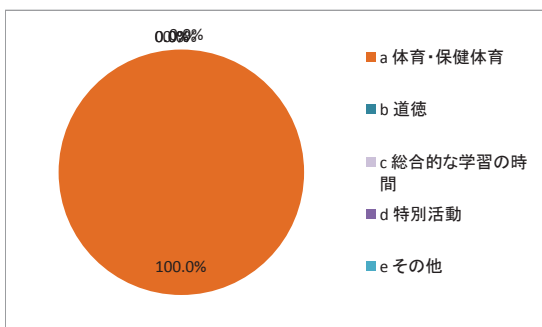
がんに関する教材や指導参考資料の作成	3
外部講師の確保	0
外部講師との指導内容等の調整	3
指導時間の確保	3
発達段階を踏まえた指導内容の検討	0
その他	0



5) 利用した時間についてお答えください。

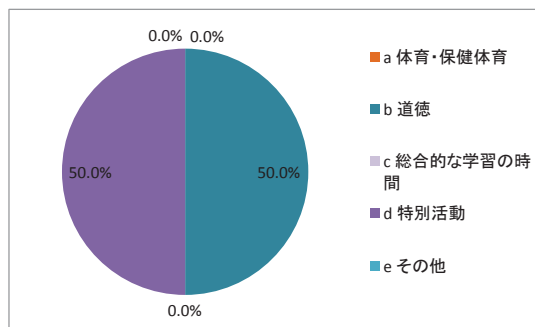
(がんに関する知識についての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	3
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	0



(いの中の大切さについての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	0
b 道徳	3
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	3
e その他	0



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【東広島市教育委員会】

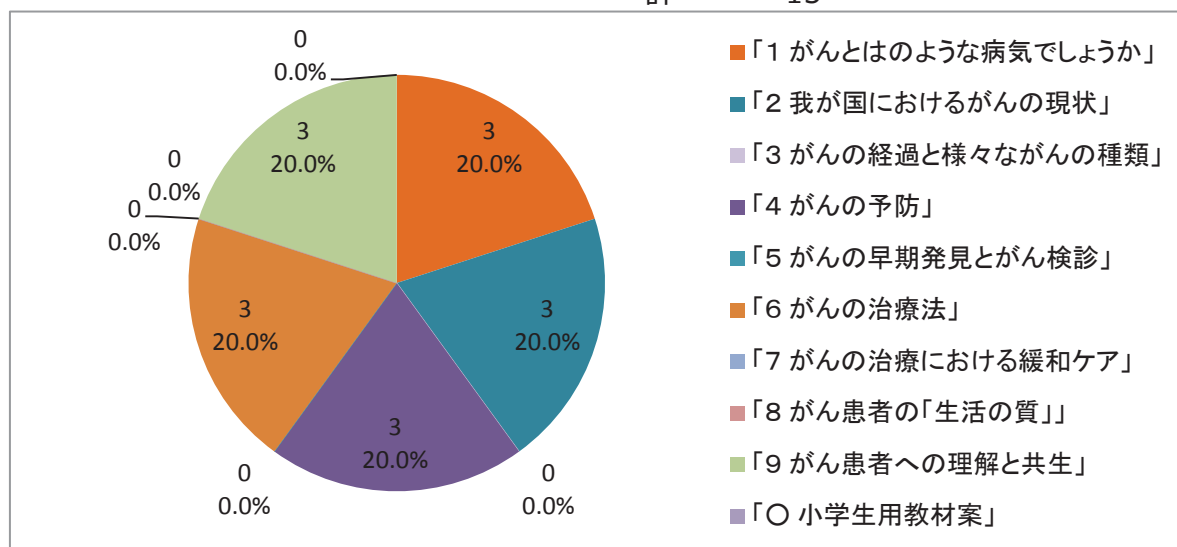
東広島市立豊栄中学校

(3) 学校（教職員）に対するアンケート（教材について）

1) あなたの職種をお答えください。

「1 がんとはどのような病気でしょうか」	3
「2 我が国におけるがんの現状」	3
「3 がんの経過と様々ながんの種類」	0
「4 がんの予防」	3
「5 がんの早期発見とがん検診」	0
「6 がんの治療法」	3
「7 がんの治療における緩和ケア」	0
「8 がん患者の「生活の質」」	0
「9 がん患者への理解と共生」	3
「○ 小学生用教材案」	0

計 15



平成28年度 がんの教育総合支援事業モデル校における取組

学校名	廿日市市立阿品台中学校
-----	-------------

I 本事業のねらい

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる生徒を育てる。

II 取組内容（予定を含む）・成果と課題等

1 授業

(1) 実施状況

日時	学年	教科	内 容
H28. 9. 30	3年	保健体育	がんと健康
H28. 10. 17 6時間目	3年	学級活動	がん患者への理解と共生

(2) 成果・課題等

○保健体育の授業においては、がんについて生活習慣病の中の1つとして、広い範囲で扱っているため、今回『がん』という項目について深く知ることができ、がんに対する先入観もかなり改善できたように思われる。

○中学生でも親しみやすい表現と分かりやすい指導案・資料で、自分や家族に置き換えて考えられる内容だった。

●学級活動で行った指導案は、内容が保健体育の内容と重なることが多く、指導案の検討が必要である。

●学級活動の指導案について、導入部分の【親のがんがその子どもの生活に及ぼす影響】を問う内容は、『十分配慮しながら・・・』とあるが、該当生徒がいた場合、扱いにくい内容である。導入部分を検討する必要がある。

2 外部講師による講演等

(1) 実施状況

日時	学年	外部講師	内 容
H28. 10. 20 16:30～ 17:30	—	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院 化学療法室室長	事前打ち合わせ
H28. 11. 9 10:45～ 11:35	全校生徒	今村 祐司	講演会「『がん』について」

(2) 成果・課題・評価等

○VTRのイラストや資料・内容は中学1学年の生徒が見ても非常に分かりやすく、その後の講演の内容を補足する中身になっており、講師の今村先生から提示されたがんの写真や病院での資料・患者さんとのやりとりが容易に理解できた。また、最前線でがんに関わる先生のお話は、生徒にとって切実なこととしてとらえることができた。

3 アンケートの実施

(1) 児童生徒

日時	学年	内 容 等
H28. 9. 30	3 年	提供してもらったもの
H28. 11. 9	全学年	提供してもらったもの

(2) 教職員

日時	対象	内 容 等
H28. 9. 30	当該学年	提供してもらったもの
H28. 11. 9	全学年	提供してもらったもの

Ⅲ 事業を実施しての気づきや全県展開に向けての課題等

○保健体育科の授業2時間と特別活動(学級活動)1時間で扱ったので、無理なくシラバス通りに授業を進めることができた。保健体育科の時間で扱ったので、3学年を中心に実施すると効果的である。

○学習のまとめとして最前線で活動されている医師を招き、TTで授業を行うとさらに効果的である。

●学級活動の指導案の導入を再検討し、工夫・改善する。

がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【廿日市市教育委員会】

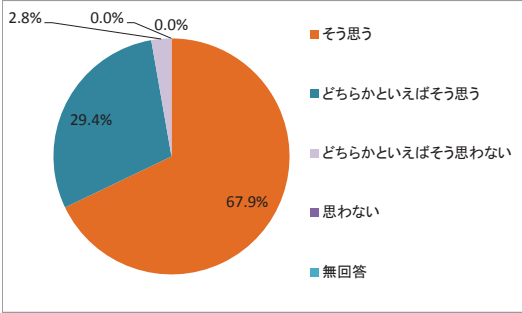
阿品台中学校

(1) 児童生徒に対するアンケート

1) がんについて当てはまるもの

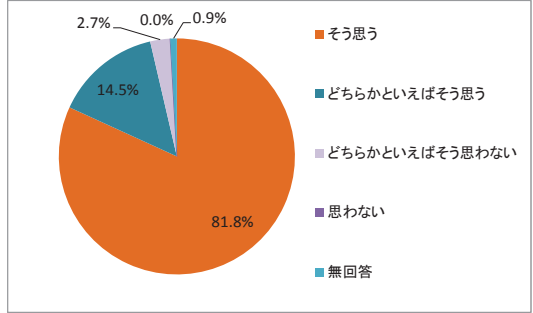
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施前)

(単位:人)	
そう思う	74
どちらかといえばそう思う	32
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	0
無回答	0



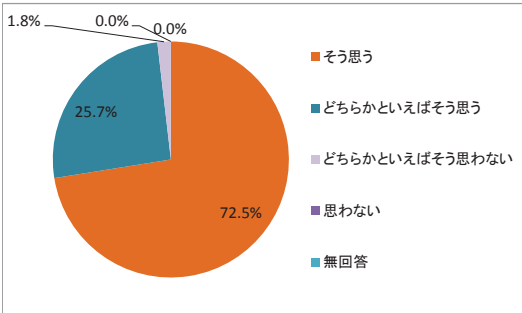
a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ (事業実施後)

(単位:人)	
そう思う	90
どちらかといえばそう思う	16
どちらかといえばそう思わない	3
思わない	0
無回答	1



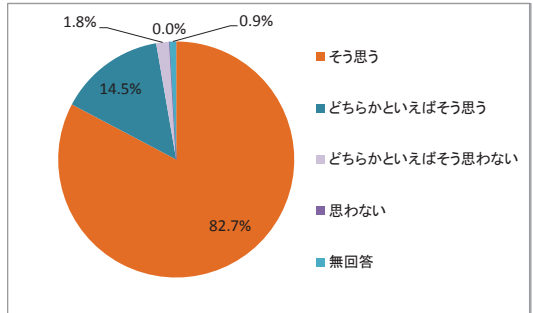
b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施前)

(単位:人)	
そう思う	79
どちらかといえばそう思う	28
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	0



b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ (事業実施後)

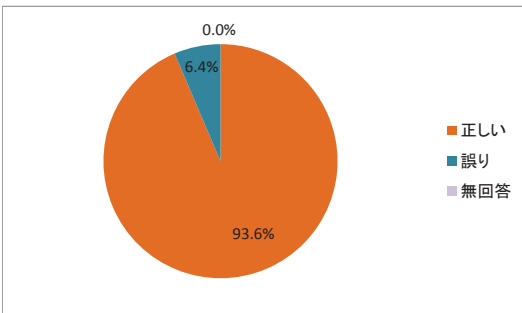
(単位:人)	
そう思う	91
どちらかといえばそう思う	16
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	1



2) がんについて当てはまるもの

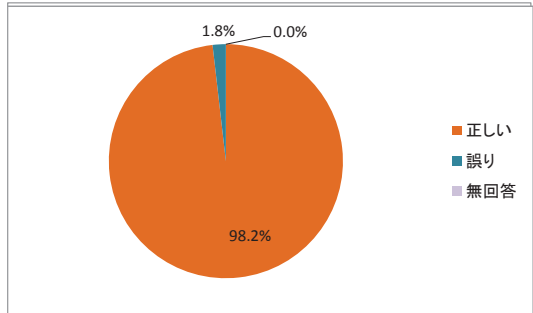
a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施前)

(単位:人)	
正しい	102
誤り	7
無回答	0



a がんは誰もがかかる可能性のある病気である (事業実施後)

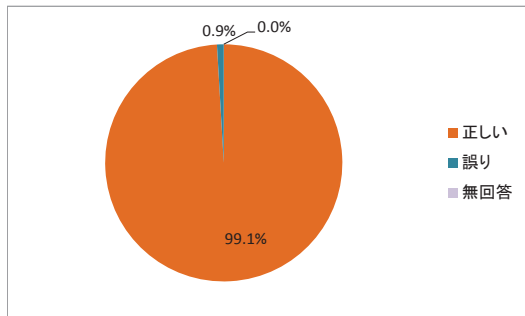
(単位:人)	
正しい	108
誤り	2
無回答	0



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施前）

(単位：人)

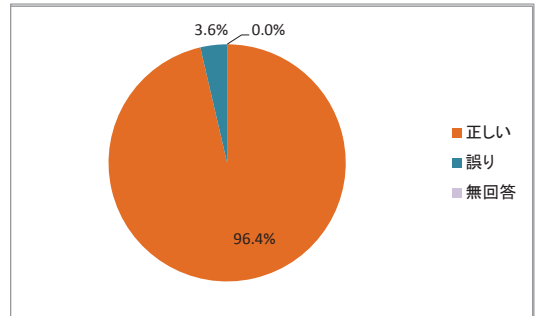
正しい	108
誤り	1
無回答	0



b がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある（事業実施後）

(単位：人)

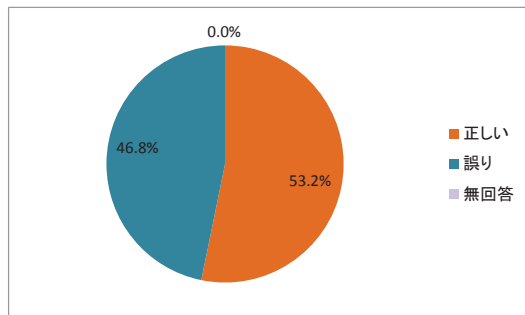
正しい	106
誤り	4
無回答	0



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施前）

(単位：人)

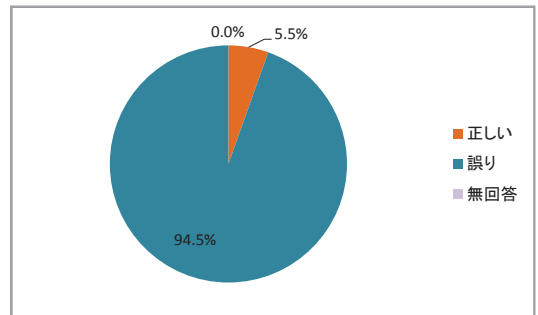
正しい	58
誤り	51
無回答	0



c がんは日本人の死因の第2位である（事業実施後）

(単位：人)

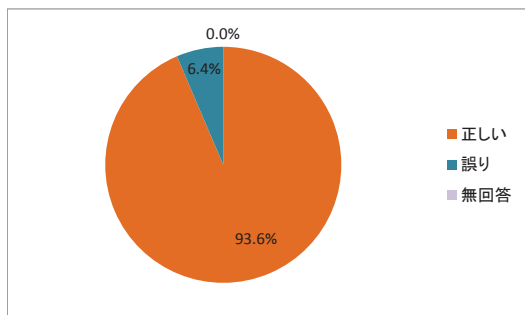
正しい	6
誤り	104
無回答	0



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施前）

(単位：人)

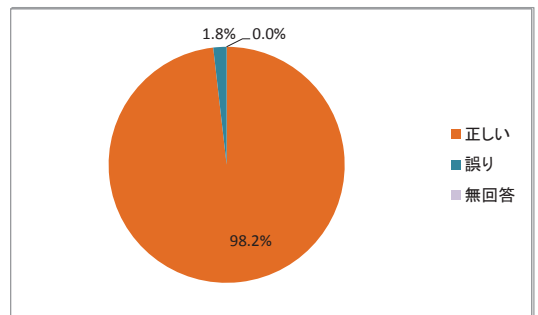
正しい	102
誤り	7
無回答	0



d たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある（事業実施後）

(単位：人)

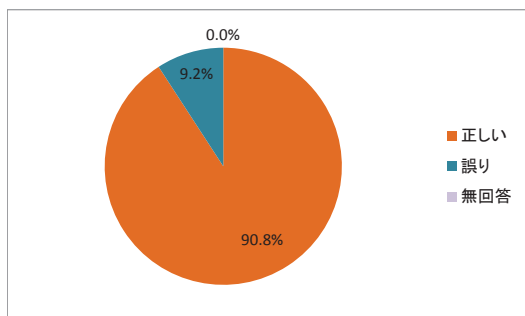
正しい	108
誤り	2
無回答	0



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施前）

(単位：人)

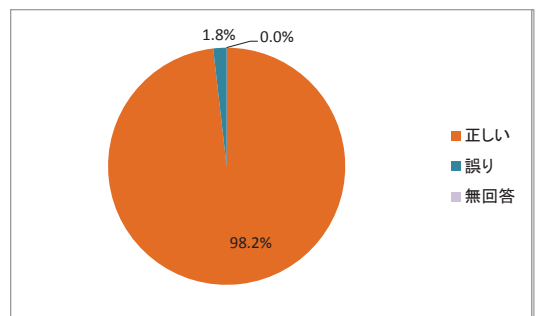
正しい	99
誤り	10
無回答	0



e 早期発見すれば、がんは治りやすい（事業実施後）

(単位：人)

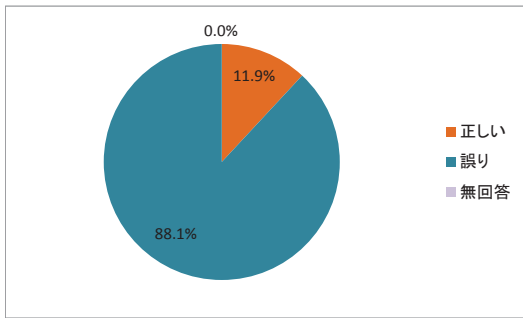
正しい	108
誤り	2
無回答	0



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施前）

(単位：人)

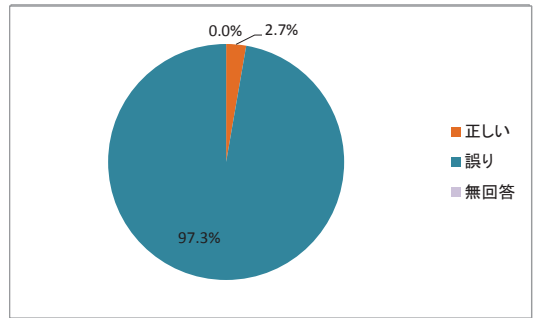
正しい	13
誤り	96
無回答	0



f 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い（事業実施後）

(単位：人)

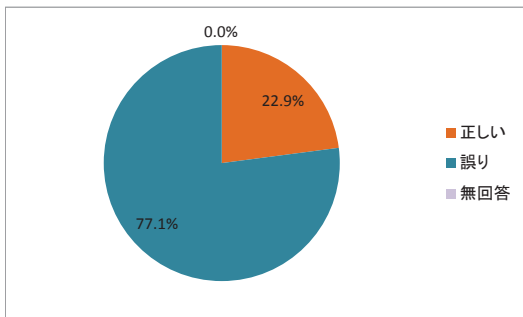
正しい	3
誤り	107
無回答	0



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施前）

(単位：人)

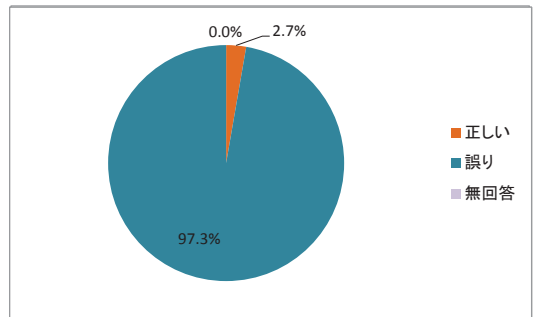
正しい	25
誤り	84
無回答	0



g がんの治療法には手術治療しかない（事業実施後）

(単位：人)

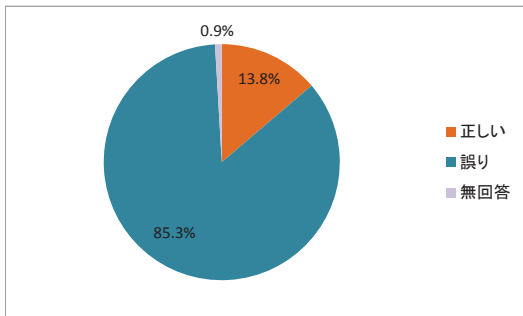
正しい	3
誤り	107
無回答	0



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施前）

(単位：人)

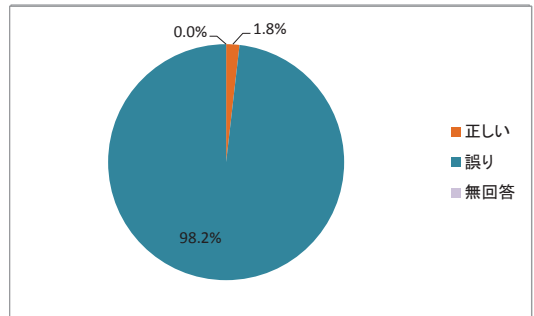
正しい	15
誤り	93
無回答	1



h がんの痛みは我慢するしかない（事業実施後）

(単位：人)

正しい	2
誤り	108
無回答	0

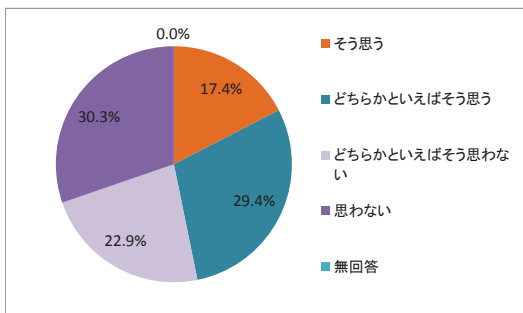


3) がんについて当てはまるもの

a 自分はがんにならないと思う（事業実施前）

(単位：人)

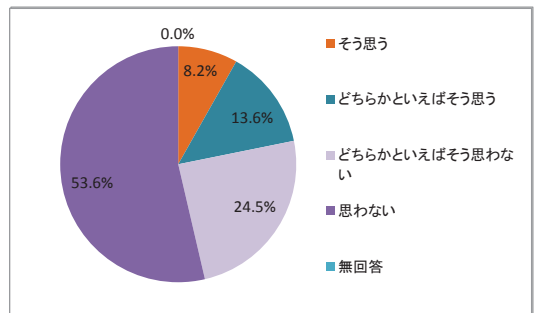
そう思う	19
どちらかといえばそう思う	32
どちらかといえばそう思わない	25
思わない	33
無回答	0



a 自分はがんにならないと思う（事業実施後）

(単位：人)

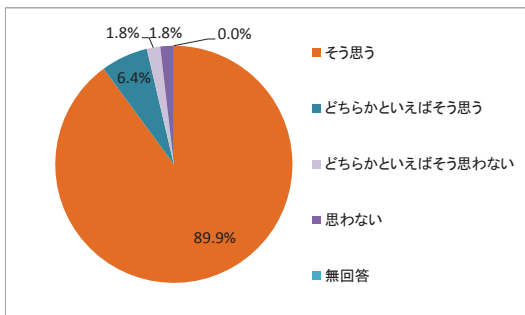
そう思う	9
どちらかといえばそう思う	15
どちらかといえばそう思わない	27
思わない	59
無回答	0



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施前）

(単位：人)

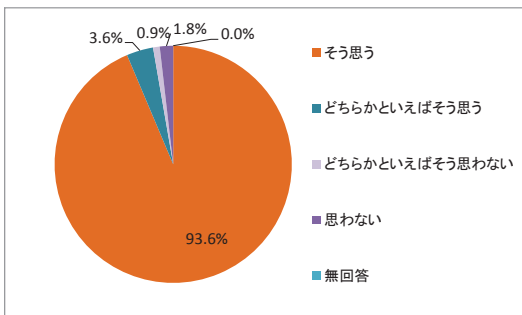
そう思う	98
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	2
無回答	0



b 将来、たばこは吸わないでいようと思う（事業実施後）

(単位：人)

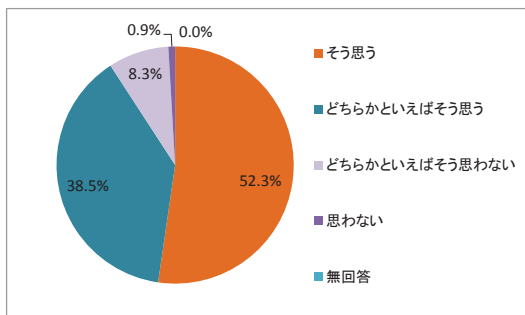
そう思う	103
どちらかといえばそう思う	4
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	2
無回答	0



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)

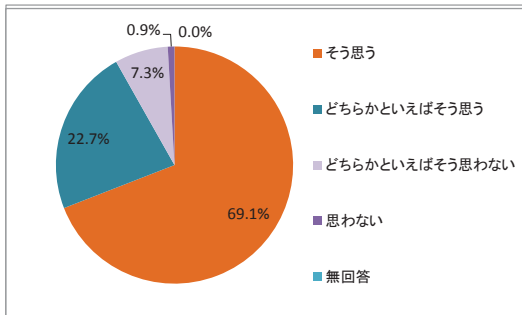
そう思う	57
どちらかといえばそう思う	42
どちらかといえばそう思わない	9
思わない	1
無回答	0



c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)

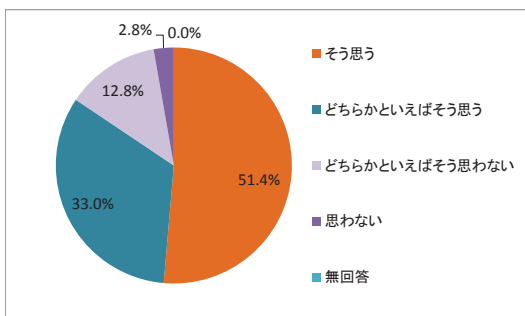
そう思う	76
どちらかといえばそう思う	25
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	1
無回答	0



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施前）

(単位：人)

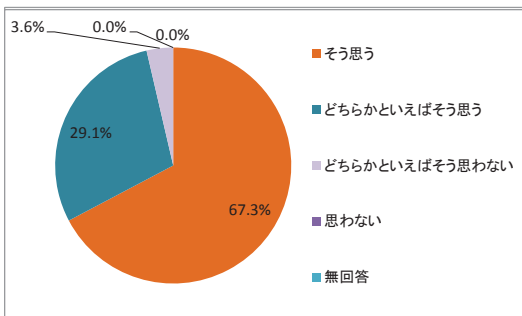
そう思う	56
どちらかといえばそう思う	36
どちらかといえばそう思わない	14
思わない	3
無回答	0



d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う（事業実施後）

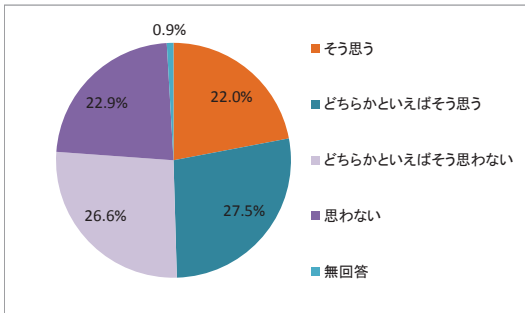
(単位：人)

そう思う	74
どちらかといえばそう思う	32
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	0
無回答	0



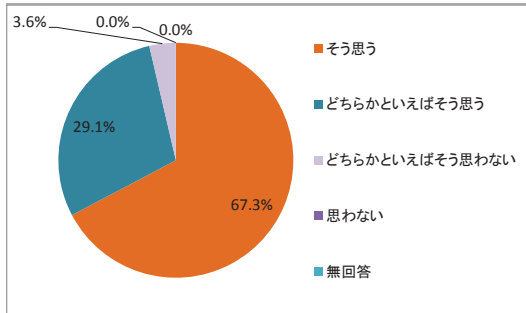
e がんの治療方法はいつかあるが、医師が決めるものである（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	24
どちらかといえばそう思う	30
どちらかといえばそう思わない	29
思わない	25
無回答	1



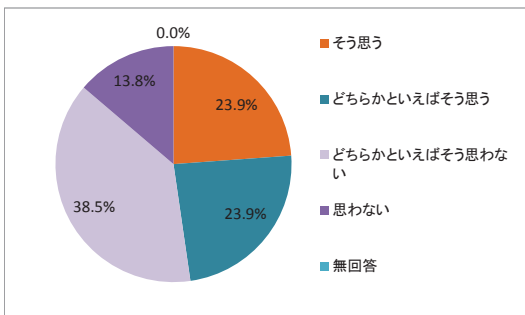
e がんの治療方法はいつかあるが、医師が決めるものである（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	74
どちらかといえばそう思う	32
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	0
無回答	0



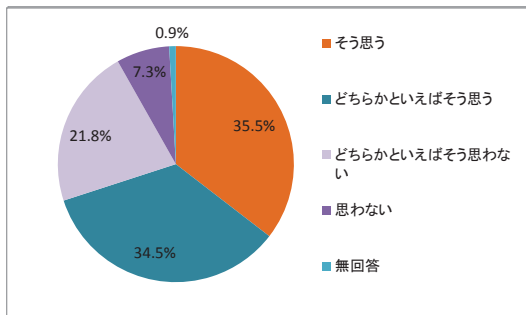
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	26
どちらかといえばそう思う	26
どちらかといえばそう思わない	42
思わない	15
無回答	0



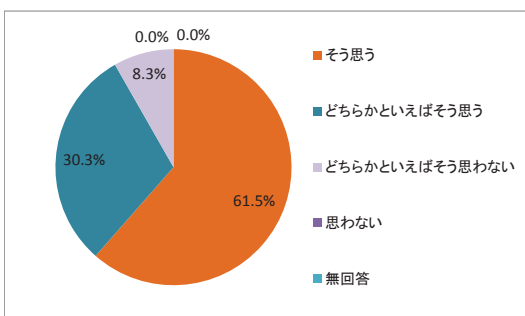
f がんになっても生活の質を高めることができる（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	39
どちらかといえばそう思う	38
どちらかといえばそう思わない	24
思わない	8
無回答	1



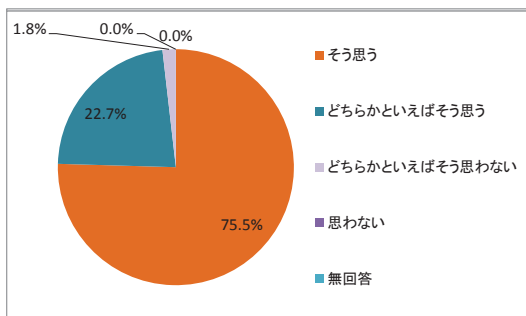
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	67
どちらかといえばそう思う	33
どちらかといえばそう思わない	9
思わない	0
無回答	0



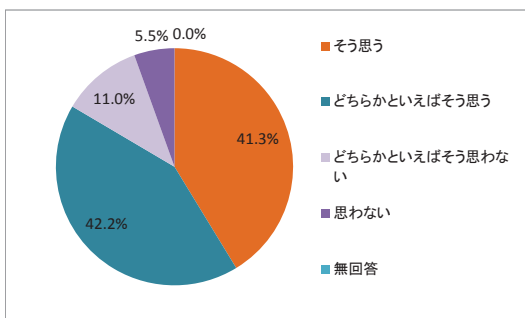
g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	83
どちらかといえばそう思う	25
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	0



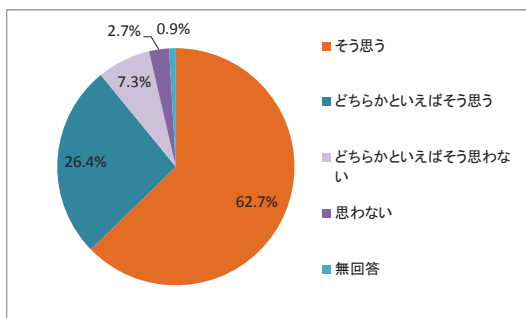
h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	45
どちらかといえばそう思う	46
どちらかといえばそう思わない	12
思わない	6
無回答	0



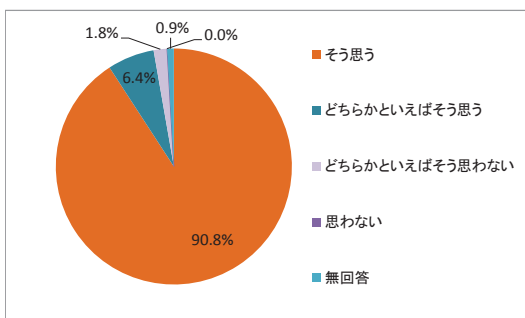
h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	69
どちらかといえばそう思う	29
どちらかといえばそう思わない	8
思わない	3
無回答	1



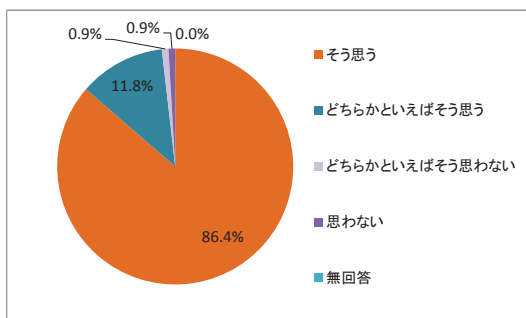
i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	99
どちらかといえばそう思う	7
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	0
無回答	1



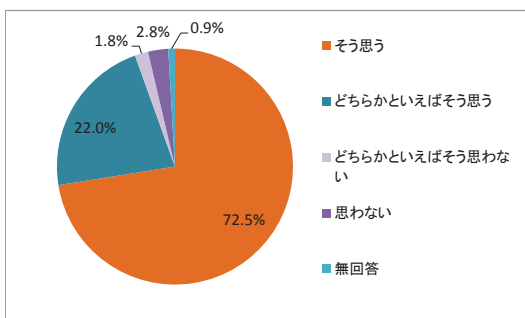
i 家族や身近な人が健康であってほしいと思う（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	95
どちらかといえばそう思う	13
どちらかといえばそう思わない	1
思わない	1
無回答	0



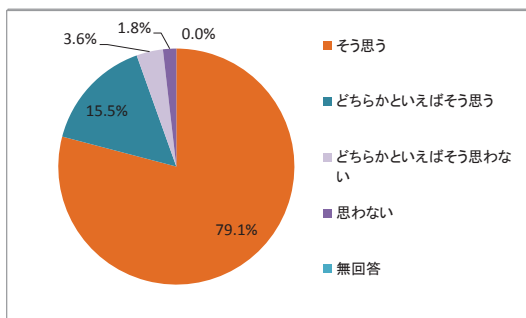
j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施前）

(単位：人)	
そう思う	79
どちらかといえばそう思う	24
どちらかといえばそう思わない	2
思わない	3
無回答	1



j 長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う（事業実施後）

(単位：人)	
そう思う	87
どちらかといえばそう思う	17
どちらかといえばそう思わない	4
思わない	2
無回答	0



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【廿日市市教育委員会】

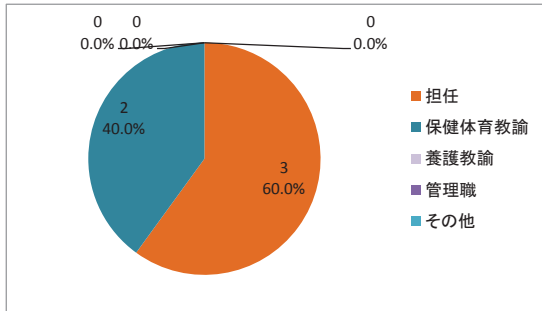
阿品台中学校

(2) 学校（教職員）に対するアンケート

1) あなたの職種をお答えください。

(単位：人)

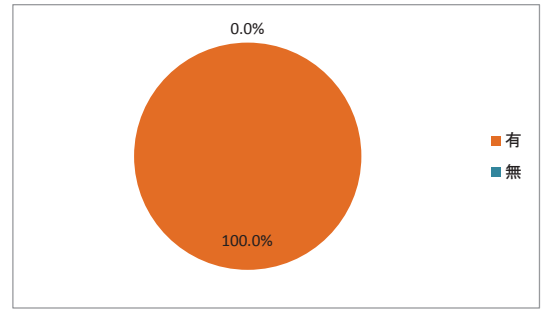
担任	3
保健体育教諭	2
養護教諭	0
管理職	0
その他	0
計	5



2) 外部講師の活用の有無について

(単位：人)

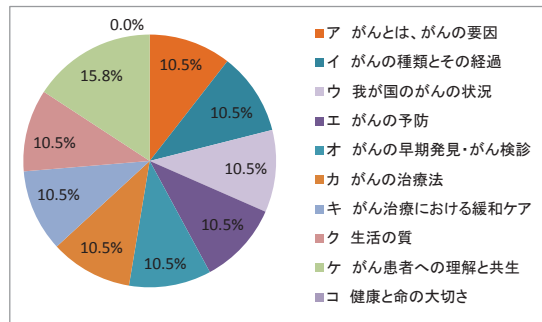
有	4
無	0



3) 授業で扱った内容について。

(単位：人)

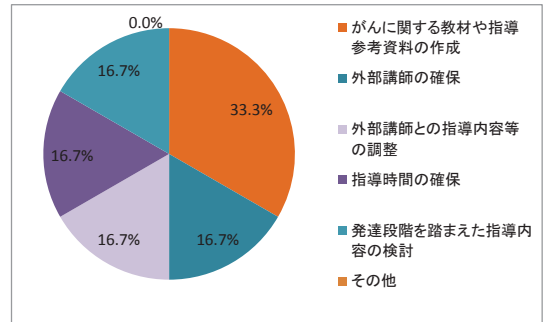
ア がんとは、がんの要因	2
イ がんの種類とその経過	2
ウ 我が国のがんの状況	2
エ がんの予防	2
オ がんの早期発見・がん検診	2
カ がんの治療法	2
キ がん治療における緩和ケア	2
ク 生活の質	2
ケ がん患者への理解と共生	3
コ 健康と命の大切さ	0



4) 課題のあった項目について（複数回答可）

(単位：人)

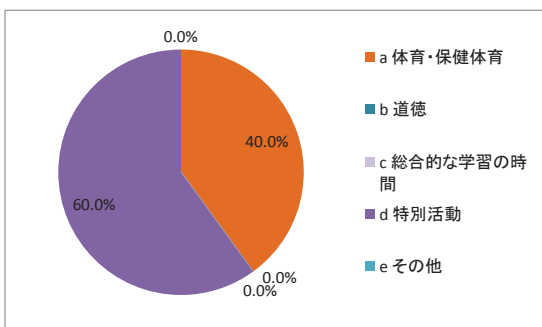
がんに関する教材や指導参考資料の作成	2
外部講師の確保	1
外部講師との指導内容等の調整	1
指導時間の確保	1
発達段階を踏まえた指導内容の検討	1
その他	0



5) 利用した時間についてお答えください。

(がんに関する知識についての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	2
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	3
e その他	0



(いの中の大切さについての教育を行った場合)

a 体育・保健体育	0
b 道徳	0
c 総合的な学習の時間	0
d 特別活動	0
e その他	0



がんの教育総合支援事業 評価アンケート

【廿日市市教育委員会】

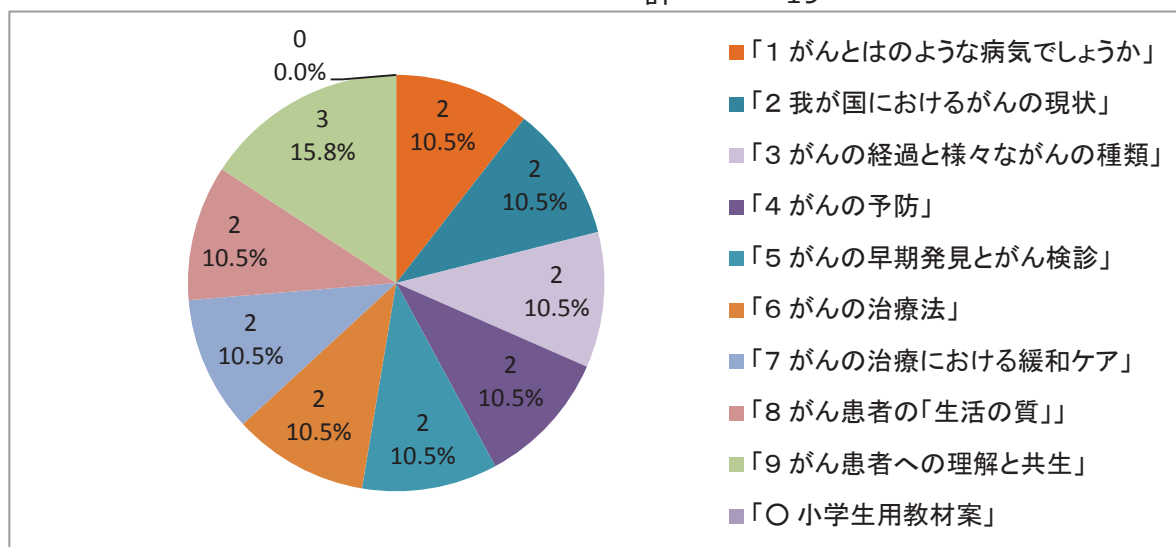
阿品台中学校

(3) 学校（教職員）に対するアンケート（教材について）

1) 文部科学省作成「がん教育推進のための教材」の中で、授業で活用した項目

「1 がんとはどのような病気でしょうか」	2
「2 我が国におけるがんの現状」	2
「3 がんの経過と様々ながんの種類」	2
「4 がんの予防」	2
「5 がんの早期発見とがん検診」	2
「6 がんの治療法」	2
「7 がんの治療における緩和ケア」	2
「8 がん患者の「生活の質」」	2
「9 がん患者への理解と共生」	3
「○ 小学生用教材案」	0

計 19



平成28年度 「がんの教育」 研修会 実施要項

1 趣旨

がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めるとともに、モデル校における実践を通して、各学校における健康教育の充実を図る。

2 主催

広島県教育委員会

3 期日及び会場

- (1) 期日
平成29年 1月31日 (火) 13:30～16:30
- (2) 会場
広島県情報プラザ 多目的ホール
広島市中区千田町3-7-47

4 対象者

- (1) 中学校，高等学校及び特別支援学校の教職員
- (2) 市町教育委員会健康教育担当者

5 日程及び内容

13:00 13:30 13:35 15:05 15:15 16:15 16:25 16:30

受付	開 会 行 事	講 演	休憩	モデル校 実践発表	行政 説明	閉 会 行 事
----	------------------	-----	----	--------------	----------	------------------

- (1) 講演
演題：学校におけるがん教育の考え方・進め方
講師：聖心女子大学文学部教育学科 教授 植田 誠治 氏
(平成25年度 「がんの教育」に関する検討委員会 委員長)
(平成26年度 「がん教育」の在り方に関する検討会 委員)
- (2) 平成28年度 「がんの教育」総合支援事業モデル校実践発表
 - ア 高等学校
広島皆実高等学校，黒瀬高等学校
 - イ 中学校
東広島市立豊栄中学校，廿日市市立阿品台中学校
- (3) 行政説明
県教育委員会 豊かな心育成課

効果的な「がん教育」の進め方について

植田誠治（聖心女子大学文学部教育学科）

1. なぜいま「がん教育」なのか

がんは、日本において1981年より死因の第1位である。年間30万人以上ががんで亡くなっており、これは全死亡の約3割に相当する。また、生涯でがんに罹患するリスクは年々増加し、最近では男性が60%、女性が45%と推計されており、日本人のおよそ2人に1人が一生のうちにがんと診断されるということになる。

その一方で、がんに対する関心の低さや誤った認識も指摘されている。そして、そのことが必要以上の不安を引き起こしたり、検診率の低さを齎したり、がん患者あるいはその家族への差別や偏見を持つことにつながることも指摘されている。

また、国のがん対策を進めるために2012年6月に閣議決定された第2期「がん対策推進基本計画」では、がん教育の必要性が指摘され、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自ら健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育のあり方を含め、健康教育全体の中でがん教育をどのようにすべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする。」ことが示されている。

2. 国民の教養としての学校におけるがん教育の目標

「がん対策推進基本計画」を受けて、文部科学省が公益財団法人日本学校保健会に「がんの教育に関する検討委員会」を設置、そこでは学校におけるがん教育の枠組みがまとめられている¹⁾。学校におけるがん教育について多面的な検討を行い、学校におけるがん教育の目標を次のように示している。

1) がんに関して正しく理解できるようにする・・・がんに身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切な対処について理解できるようにする。

2) いのちの大切さについて考える態度を育成する・・・がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々を通じて、自他のいのちの大切さを知り、自己のあり方や生き方を考える態度を育成する。またこれを受けて、翌年文部科学省は「学校におけるがん教育の在り方について 報告」で次のようにまとめている²⁾。

1) がんについて正しく理解することができるようにする・・・がんに身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

2) 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする・・・がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

これらのように学校におけるがん教育の目標をがんに関する理解と命の大切さを考える態度とする

ことに異論はない。ただし、児童生徒には、がんに対する不安が認められること³⁾、そして小児がんの子どもたちへの教師の理解や友達の励ましが大きな支えになる一方で不用意な言葉や態度がいじめや差別にもつながること⁴⁾などを踏まえて、筆者は、それらを払拭することを、あえて明確に示しながら、次のような目標を持つことが必要ではないかと考えている。

「学校におけるがん教育の目標は、がんの疾病概念、予防方法、検診の意義を正しく理解し、がんを予防する能力や態度を高め、がんに対するいたずらな不安や偏見を払拭する。また、人間尊重の精神（やソーシャルインクルージョンの考え方）に基づき、がんやがんと向き合う人々について学ぶことによって、自他の健康といのちの大切さを知るとともに自己のあり方や生き方を考える態度を育成する。」

3. 学校における健康教育の特徴

学校における健康教育は、児童生徒が生涯を通じて健康な生活を送るうえでの基礎を培かうものである。その観点から、学校における健康教育では、健康を自ら保持増進するために必要な能力・態度を育成する。「生涯を通じて健康な生活を送るうえでの基礎を培かう」という観点は、まさに発育発達途上にある児童生徒を対象とする学校における健康教育の特徴といえる。学校という「場」の概念で健康教育を考えるのではなく、発育発達途上にある児童生徒を教育するという「機能」の概念で健康教育を考えるという特徴である。

筆者は、そのような特徴を有する学校における健康教育に、がんに関する学習内容をこれまで以上に位置付けていこうとすることに大きな価値と可能性を感じている。その価値と可能性を確固たるものとするうえで、次のことがらを押えておくべきであろう。

4. 教育課程の特性とがん教育

教育課程上の健康教育の位置付けをまず確認しておきたい。学校における健康教育は、小学校においては体育科（保健領域）、中学校においては保健体育科（保健分野）、高等学校においては保健体育科（科目保健）を中心として、また特別活動や総合的な学習の時間、道徳、その他関連する教科をも通じて、計画的に行われる。

そして、児童生徒が学習する内容は学習指導要領ならびにその解説によって定められたり例示されたりする。小学校体育科（保健領域）、中学校保健体育科（保健分野）、高等学校保健体育科（科目保健）では保健教科書が使われるが、教科書の内容もこの学習指導要領と解説に準じるものとなっている。もちろん、地域や学校の特性、児童生徒の発達や特性等を考慮して各学校の教育課程は編成されることや、実際の授業は教師の裁量によるところも大きく、児童生徒が実際に学習する内容は柔軟なものとなる。さらに近年では、保健教科書には学習指導要領とその解説に示されたものを越える発展的内容が盛り込まれることも少なくない。この学習指導要領とその解説あるいは例示は、児童生徒の学習の実現状況の調査や今後の教育のあり方の議論などを踏まえたうえで、約10年ごとに改訂される。このような教育課程の特性を踏まえつつ、がん教育をどこに位置付けていくかを考える必要がある。

2に示した「がんの教育に関する検討委員会」のがん教育の目標を現行の教育課程に照らして考え

ると、1) がんに関して正しく理解できるようにする、は保健学習と特別活動の時間が中心となり、2) いのちの大切さについて考える態度を育成する、は特別活動や道徳の時間が中心となるように思われる。また、場合によって、がんについて学際的かつ主体的に学ぶ活動を、総合的な学習の時間を積極的に使って行うことも考えられる。

5. がんに関する学習内容の位置付け

現行の学指導要領やその解説あるいは保健教科書などにおいて、がんに関する内容はすでに扱われている。例えば、現行の学習指導要領とその解説において直接的に「がん」に関する内容が明示されているのは次の部分である。

小学校体育科（保健領域）では、第6学年の「病気の予防」において、喫煙と肺がんが示され⁵⁾、保健教科書では病気の一つとしてがんが例示されその特徴が示されたりするようになってきている⁶⁾。中学校保健体育科（保健分野）では、第3学年の「健康な生活と疾病の予防」で喫煙とがんが⁷⁾、高等学校保健体育科（科目保健）では、(1)「現代社会と健康」「健康の保持増進と疾病の予防」の中で、悪性新生物などの病気を適宜取り上げ、それらが日常の生活行動と深い関係があることが示されている⁸⁾。高等学校の保健教科書では、がんの症状とともに発病の予防と早期発見・早期治療についての内容が示されたりしている⁹⁾。

さらにがんに関してだけを取り扱うわけでないが、中学校保健体育科（保健分野）では、個人の健康を守る社会の取組として健康診断などの地域の保健活動が¹⁰⁾、高等学校保健体育科（科目保健）では、(2)「生涯を通じる健康」「保健・医療制度及び地域の保健・医療機関」の中で、検診の必要性、医療機関及び保健・医療サービスなどの活用の必要性が示されている¹¹⁾。加えて、高等学校保健体育科（科目保健）(1)「現代社会と健康」「健康の考え方」で国民の健康水準と疾病構造の変化が示され、そこでは疫学的内容、生活の質や共生が示されている¹²⁾。

また特別活動については、小学校中学校高等学校で表現が一部異なるものの、ほぼ同様に「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。」ことが目標として示され、内容の一つとして「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」「生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立」などが示されている¹³⁻¹⁵⁾。

道徳においては、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、・・・中略・・・その基盤としての道徳性を養うこと」が目標として示され、「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする」ことや「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」ことなどが示されている^{16,17)}。

一方、「がんの教育に関する検討委員会」では、学校におけるがん教育の学習内容について次の8つが示されている（「学校におけるがん教育の在り方について」ではがんの種類を加えた9つが例示されている）。

- 1) がんとは（発生要因）
- 2) 疫学（がんの状況）
- 3) 予防
- 4) 早期発見・検診

- 5) 治療（手術，放射線，抗がん剤）
- 6) 緩和ケア
- 7) 生活の質
- 8) 共生

ここに示されたものを現行の教育課程に当てはめて考えるならば，1)～4)の学習内容は，小学校体育科（保健領域），中学校保健体育科（保健分野），高等学校保健体育科（科目保健）で中心的に扱われる。5)，6)は，高等学校保健体育科（科目保健）で扱わないわけでないが限定的である。これらを行うとすれば特別活動や総合的な学習の時間などでの扱いが中心といえる。また，7)8)については，高等学校保健体育科（科目保健）で一部扱うとともに，小学校から高等学校までの特別活動や小学校中学校の道徳，場合によって小学校から高等学校までの総合的な学習の時間での扱いということになるであろう。

誰が実際に授業を担当するのかという指導者の問題をも照らしあわせて授業の充実を考えるならば，1)～4)の内容については，教師が中心となり，小学校体育科（保健領域），中学校保健体育科（保健分野），高等学校保健体育科（科目保健）での充実をはかり，5)6)について，その基本的な内容については教師が中学校保健体育科（保健分野），高等学校保健体育科（科目保健）で行う事を積極的に検討し，5)6)の実際や最新情報などは，特別活動で医療関係者など外部講師の積極的活用によって充実させること，7)8)については，高等学校保健体育科（科目保健）で教師が行い，小学校中学校では，道徳の時間，また小学校から高等学校までの特別活動を用い，モデル教材の開発とともに，教師に加えて医療関係者やがん経験者といった外部講師の積極的活用によって充実させることができると思われる。

6. がんに関する学習内容の位置付けの課題

しかし，現行の小学校体育科（保健領域），中学校保健体育科（保健分野），高等学校保健体育科（科目保健）では，がんと生活行動との関係が取り扱われるものの，がんが多様な原因によって起こることやそれをふまえての予防方法の理解を促すには十分となっていない。筆者らが行った高校生のがんの原因についての認識調査の結果では¹⁸⁾，がんの原因について「たばこ」を回答する者は男女とも94.4%と高いものの，「食事に関するもの」，「運動不足」，「細菌・ウイルス」などについては2～3割程度しか回答できておらず，逆に間違いである「魚や肉の焼けこげ」は4割以上がそれを原因として回答していた。

検診について，高校生に調査したところ¹⁹⁾，「がん検診はどのような人が受けるものだと思うか」に対して「健康な人」を選択した者や「がん検診を受けられるようになったら，あなたは検診を受けようと思いますか」に対して「受けようと思う」を選択した者は，いずれも7割程度にとどまっている。

一方で，先にも示したようにがんに対して，怖いという意識は高く，まずがんの基礎的・基本的な理解を促し，がんについて十分な知識を持たずに怖がることを払拭していくことが求められる。そのためには，がんを生活行動との関係だけでなく，がんを現代の重要な健康課題として特化し，一定のまとまりとして指導していくことが必要であろう。

また「がん教育」はがんを学ぶだけではなく，がんを学ぶことを通して保健の基本的な概念を習得する可能性が指摘できる。がんを通して，予防とは何か，健康づくりの上での一次予防と早期発見・

検診の必要性と意義、病気の基本的な治療方法、そして病気からの回復や健康と生活の質との関係など、保健の基本的な概念を思考・判断したり、知識・理解を深めたりすることができるような示し方が求められる。がんを保健の基本的な概念を習得する典型教材として位置付ける発想である。

さらに特別活動の「生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立」や道徳の「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」は、がん教育の2つめの目標を達成するにふさわしい内容であり、教材開発や授業モデルの開発が必要である。

7. 学校におけるがん教育を進めるうえで配慮すべきこと

学校におけるがん教育の実施にあたっては、小児がんの当事者や小児がんの既往のある児童生徒がクラスにいる場合、家族にがん患者がいる児童生徒、家族をがんで亡くした生徒がいる場合、クラスにがん患者やがんの既往のある児童生徒がいる場合、生活習慣が主な原因とならないがんがあるという基本的な内容を踏まえることはもちろん、慎重な配慮が必要になる。個人情報保護の観点から、教える側がそのような情報を持っていない場合もありうる。こんにちには生涯の2人に1人ががんに罹患する時代でもあることから、まず教室や学校にはこのような児童生徒がいるという前提で授業を行うことが必要である。ただしこのことは、実は他の病気や保健内容を取り扱う場合も同じである。

小児がんの当事者あるいは小児がんの既往のある児童生徒がいる場合、情報を有する養護教諭と授業担当者が連携を図り、プライバシーに配慮しながら、児童生徒や保護者に授業内容について事前に伝える配慮が必要である。このような場合に、児童生徒や保護者がむしろ学校全体にがんについての理解が広がってほしいと前向きにとらえるという報告も聞く。学校におけるがん教育はまさにそういう広がりを目指して行われるものではあるが、がんに関する内容を、一定のまとまりとして取り扱いはじめる過渡期には慎重な対応が必要である。

学校におけるがん教育では、がんの専門性の高さに鑑みて、広く専門機関等との連携を進める必要性が強調されている。地域や学校の実情に応じて、学校医をはじめとする医師や看護師、保健師等の保健医療専門家やがん経験者やがん経験者団体などの外部講師等の参画・協力の推進である。

すでに述べたが、がんの治療、緩和ケアの内容では、特別活動の時間を中心に保健医療専門家の参画・協力が推進されるとよい。また、特別活動や道徳の時間にがん経験者やがん経験者団体などの参画・協力は、児童生徒にとって貴重な学習の機会となるだろう。学校は、年間計画をたて教育課程を展開する。保健医療専門家やがん経験者などが授業に参画・協力していく際には、今回整理した学校における教育課程の特徴を踏まえることはもちろん、がんに関する内容がどこまで授業で学ばれているのかを把握することや学校が年間計画をたてる段階から参画していくことが必要である。

注：本論は、植田誠治「がん教育－教育の立場から（特集：子どもへのがん教育）」公衆衛生 80(2)：91－96, 2016 に基づくものである。

引用文献

- 1) 公益財団法人日本学校保健会：「がんの教育に関する検討委員会」報告書，<http://www.gakkohoken.jp/modules/books/index.php?act=photo&p=152>, 2014
- 2) 文部科学省：「学校におけるがん教育の在り方について 報告」
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2016/04/22/1369993_1_1.pdf,

2015

3) 植田誠治, 他: 日本の児童生徒のがんについての意識の実態. 学校保健研究 56(3): 185 - 198,

2014

4) 中川原章: 小児がんとこどものがん教育. UICC 世界対がんデー2015 公開シンポジウム「小学生のがん教育を考える」抄録集: 14-15, 2015

5) 文部科学省: 小学校学習指導要領解説 体育編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/19/1234931_010.pdf, 82, 2008

6) 森昭三, 他: 小学校体育科教科書 新・みんなの保健5・6年, 36, 40, 学研教育みらい, 2015

7) 文部科学省: 中学校学習指導要領解説 保健体育編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/21/1234912_009.pdf, 157, 2008

8) 文部科学省: 高等学校学習指導要領解説 保健体育編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/19/1282000_7.pdf, 107, 2009

9) 和唐正勝, 他: 高等学校保健体育科用教科書 現代高等保健体育, 16-17, 大修館書店, 2013

10) 前掲書6), 158, 2008

11) 前掲書7), 111, 2009

12) 前掲書7), 106 - 107, 2009

13) 文部科学省: 小学校学習指導要領解説 特別活動編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2009/06/16/1234931_014.pdf, 2008

14) 文部科学省: 中学校学習指導要領解説 特別活動編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/05/1234912_014.pdf, 2008

15) 文部科学省: 高等学校学習指導要領解説 特別活動編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2010/01/29/1282000_20.pdf, 2009

16) 文部科学省: 小学校学習指導要領解説 道徳編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2009/06/16/1234931_011.pdf, 2008

17) 文部科学省: 中学校学習指導要領解説 道徳編,

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/05/1234912_012.pdf, 2008

18) 物部博文, 他: 日本における児童生徒のがんの原因についての認識と情報源. 学校保健研究 56(4): 262 - 270, 2014

19) 前掲書3)

参考文献

1) 文部科学省『「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き』,

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1371839.htm, 2015

植田誠治（うえだせいじ）氏 プロフィール

聖心女子大学文学部教育学科教授

専門：保健科教育学、学校保健学

学歴：1984年 筑波大学体育専門学群卒業

1986年 筑波大学大学院修士課程体育研究科健康教育学専攻修了

2004年 筑波大学大学院博士課程医学研究科環境生態系専攻修了、博士（医学）（筑波大学）

職歴：金沢大学教育学部助教授、ペンシルベニア州立大学発達科学部客員教授、茨城大学教育学部助教授などを経て、2007年4月より聖心女子大学教授（現職）。

2015年～2016年サンディエゴ大学リーダーシップ・教育科学大学院客員研究員。

著書等：小学校・中学校・高等学校の保健教科書作成に従事。

- ・小学校教科書『みんなの保健』学習研究社
- ・中学校教科書『中学保健体育』学習研究社
- ・高等学校教科書『現代保健体育』大修館書店

著書に

- ・『保健授業づくり入門』大修館書店
- ・『新版養護教諭執務のてびき』東山書房
- ・『からだ元気になる本』（子供向け絵本）あかね書房、など。

がん教育に関わる論文等：

- ・日本の児童生徒のがんについての意識の実態、『学校保健研究』、2014年
- ・Cancer understanding among Japanese students based on a nationwide survey. Environmental Health and Preventive Medicine, 2014
- ・日本の児童生徒のがんの原因についての認識と情報源、『学校保健研究』、2014年
- ・「がん教育」への期待に保健はどこまで応えられるか、『体育科教育』、2014年
- ・学校健康教育におけるがんについての教育プログラムの開発研究、『厚生労働省科学研究費補助金報告書』、2013年・2014年
- ・がん教育、『高校保健体育指導資料』、大修館書店、2015年
- ・がん教育－教育の立場（特集：子どもへのがん教育）、『公衆衛生』2016年など。

社会的活動：

- ・公益社団法人日本学校保健会「がんの教育に関する検討委員会」委員長（2013年～14年）
- ・文部科学省「「がん教育」の在り方に関する検討会」協力者（2014年～現在）
- ・一般社団法人日本学校保健学会常任理事
- ・一般社団法人日本健康教育学会評議員
- ・文部科学省学習指導要領作成協力者
- ・特定非営利活動法人日本健康教育士養成機構「指定健康教育者」（2012年～現在）など。

平成28年度「がんの教育総合支援事業」文部科学省事業

モデル校 実践報告
広島県立広島皆実高等学校
平成29年1月31日

平成27年度の取組

文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
がんに関する情報の高校生への啓発活動
担当 広島大学 大学院 放射線腫瘍学
広島大学病院 放射線治療科 教授 永田 靖 先生

がんの知識に関する講義

演題「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」

日時、対象：平成27年6月22日（月）15:25～16:15
普通科・衛生看護科・体育科1年生 280名
平成27年7月30日（木）13:25～14:15
専攻科2年生 35名

平成28年度の取組

平成28年度
「がんの教育総合支援事業」文部科学省事業（モデル校）

○取組テーマ

- 1 がんについての正しい理解
- 2 健康と命の大切さ

○実施計画

- 1 校内検討委員会の設置
校長，教頭，看護科主任，体育科主任，保健部主任，養護教諭
- 2 取組計画（学習指導案）作成等

○がんの知識に関する講義

演題「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」

年月日、対象：平成28年6月20日（月）

普通科・衛生看護科・体育科1年生281名

平成28年8月1日（木）

専攻科2年生35名

○保健の授業「学習指導案の作成」：普通科1年・体育科1年
7月中旬に授業の実施

○11月19日（土）：広島県広島地区高等学校PTA連合会の研究会において、「がん教育推進のための教材」を配付

○衛生看護科2年・3年成人看護の授業「学習指導案の作成」：衛生看護科2年11月中旬に実施 3年11月下旬に実施

○生徒への授業前後のアンケートを実施

○12月：がんの教育のアンケート結果の整理・分析、実践報告書の作成

○1月31日（火）：がん教育研修会（教員対象）
モデル校実践報告

演題「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」

講師：永田 靖 先生

平成28年6月20日（月） 15:25～16:15

普通科・衛生看護科・体育科1年生 281名



「がん教育推進のための教材」平成28年4月文部科学省の主任PTAへ11
・がんとは、どのような病気でしょうか。
・我が国におけるがんの現状
・がんの種類と様々ながんの種類
・がんの予防
・がんの早期発見とがん検診
・がんの治療法（主に放射線治療）

○生徒の感想○

- ・がんを予防するには、食事と喫煙が関係していることが分かりました。
- ・放射線治療が患者さんにとって一番負担がかかからないと分かり少し安心しました。
- ・不安を和らげるためにも家族の絆が一番大切なんだということが分かりました。
- ・自分の家族も普段から気をつけるけど、早期発見早期治療ができればように検診も受けたいと思いました。
- ・ドキュメンタリーで病気に苦しみ改善していく人の映像をよく見ますが、医療技術が発達してすぐくありがたいことだなあと思いました。
- ・がんを防ぐための1・2か条があることも知り理解できたので注意していきたいと思いました。

平成28年7月中旬

学科・学年 普通科1年, 体育科1年

単元名 保健 現代社会と健康「生活習慣とそ

の予防」～『がん』について～

本時の目標

- ・「生活習慣とその予防」での学習をもとに, 日本人の死因第1位となっている『がん』を通して, 自分自身の健康問題について考えることができる。

アンケート結果(講演・保健授業の前後)
普通科・体育科・衛生看護科1年

a がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ		
実施前	(単位:人) 実施後	(単位:人)
そう思う	227	241
どちらかといえそう思う	46	35
どちらかといえそう思わない	0	1
思わない	2	0
無回答	6	4

b がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ		
実施前	(単位:人) 実施後	(単位:人)
そう思う	225	246
どちらかといえそう思う	47	30
どちらかといえそう思わない	2	1
思わない	1	0
無回答	6	4

11月:衛生看護科2年・3年科目「成人看護」の授業を実施

衛生看護科2年

単元 成人看護(2)機能障害と看護 がん患者の看護(6時間)

衛生看護科3年

単元 成人看護(2)機能障害と看護 ウ栄養摂取・代謝障害と看護
胃がん患者の看護(3時間)

衛生看護科2年 単元 成人看護(2)機能障害と看護 がん患者の看護(6時間) 事前学習の状況

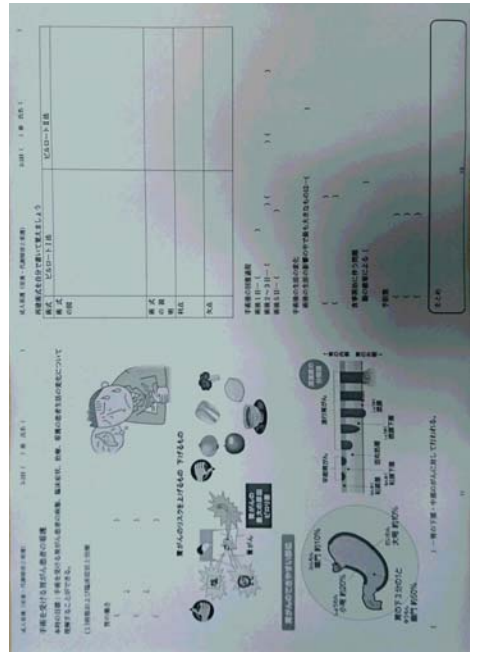
課題

*がんの予防、早期発見、ケアについての看護の考え方についてまとめよう。
(A4用紙2枚：第2がんの予防と早期発見で1枚、第3がん患者の看護に関する基本的な考え方で1枚)

一評価一

	A	B	C
まとめ方	教科書の内容を理解しよう えで、図や絵、表等を用い て内容をまとめよう。	教科書の文書を用いて、内容 が過不足なく記入されている。	教科書の内容が明記さ れているが、内容が浅 い。
内容	各項目の概要と看護師の役 割、医師的な援助の視点が 明記されたうえで、自分の 言葉でまとめを記入でき ている。	各項目の概要と看護師の役 割、医師的な援助の視点が明記 されている。	各項目の概要、看護師 の役割、医師的な援助 の視点が明記されてい る。

衛生看護科3年 単元 成人看護(2)機能障害と看護 ウ栄養摂取・代謝障 害と看護 胃がん患者の看護(3時間)



第2 がんの予防と早期発見

がんの予防 概要
がん対策については、検診による早期発見治療(二次予防)だけでなく、発がん性物質への対策(一次予防)による予防(一次予防)にも重点が置かれるようになった。①医療的予防として、喫煙・飲酒の節制、がんの原因となる遺伝子変異の予防、がん予防ワクチン接種、がん検診、がん予防薬の服用、がんの早期発見のためのメタボリックシンドロームの予防に効果のある食品の摂取などの最新の情報は活用されるようにしている。

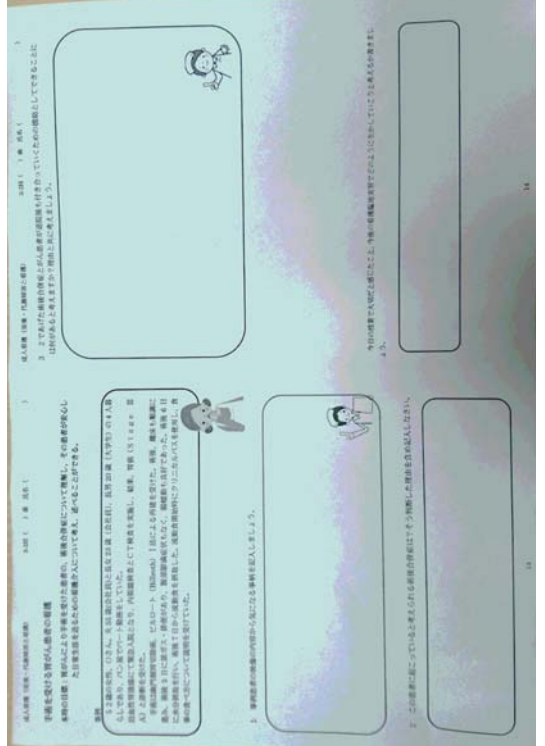
がんの早期発見 概要
がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。



がんの早期発見 概要
がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。

がんの早期発見 概要
がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。がんの早期発見は、がんの発生率を減らすことには有効である。

衛生看護科3年 単元 成人看護(2)機能障害と看護 ウ栄養摂取・代 謝障害と看護 胃がん患者の看護(3時間)



今後の予定

○2月:校内での教員研修会の報告

御清聴ありがとうございました。

広島県立広島皆実高等学校

平成29年1月31日

平成 28 年 8 月 10 日

広島県立広島皆実高等学校

平成 28 年度「がんの教育総合支援事業」文部科学省事業（モデル校）

○取組テーマ

- 1 がんについての正しい理解
- 2 健康と命の大切さ

○実施計画

- 1 校内検討委員会の設置
校長，教頭，看護科主任（衛生看護科・専攻科主任），体育科主任，保健部主任，養護教諭
- 2 取組計画（学習指導案）作成等

月 日	実 施 内 容	備考
6 月 20 日(月)	○生徒事前アンケートの実施（普通科 1 年・体育科 1 年・衛生看護科 1 年） ・永田靖教授による講演会の実施 演題「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」 記述式のアンケートを実施	
6 月末～7 月	○生徒事前アンケートの実施（衛生看護科 2 年・3 年・専攻科 1 年）	
7 月中旬	・普通科 1 年・体育科 1 年：保健の授業 「学習指導案の作成」 ◎授業終了後，生徒事後アンケートの実施（7 月 19 日） ◎教員事後アンケートの実施（7 月 20 日）	7 月 11 日 ※検討委員会 （予定等の確認）
8 月 1 日（月）	・専攻科 2 年生永田靖教授による講話 演題「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」 記述式の学びを記入 ◎講話終了後，生徒事後アンケートの実施	
8 月初旬	・衛生看護科 2 年・3 年「成人看護」の「学習指導案の作成」	
9 月	・専攻科 1 年外部講師による授業の前後に生徒事前・事後アンケートの実施	
11 月～12 月	・衛生看護科 2 年・3 年「成人看護」授業 ◎授業終了後，生徒事後アンケートの実施，教員事後アンケートの実施	※検討委員会 （実施内容及び， アンケートの結果 の確認）
11 月 19 日(水)	・広島県広島地区高等学校 P T A 連合会の研修会において，がん教育の教材の配付	
12 月	・アンケートの集計，実践報告書の作成	※検討委員会 （報告書の作成）
1 月 31 日(火)	・がん教育研修会（教員対象）場所：広島県情報プラザ 内容：モデル校の実践発表，医師，学識経験者等の講演，がん患者の講話等	※検討委員会 （発表の準備） （発表後の報告）
2 月	・校内での教員研修会の報告	

がんに関する基礎知識と放射線治療の現状

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院
 応用生命科学部門 放射線腫瘍学
 広島大学病院 放射線治療科
 永田 靖

平成28年6月20日



がんとは？

1981年以後、日本人の最多の死因
 (年間37万人)

男・女性の1/2が罹患
 男・女性の1/3が死亡
 全体の60%は治癒
 加齢とともに増加
 予防と診断と治療が重要

がんとは？

腫瘍とは、生体に由来する細胞が過剰に増殖した状態

腫瘍＝良性腫瘍(発生局所にとどまる)＋
 悪性腫瘍(増殖能が高く、周囲組織に浸潤し、また遠隔臓器やリンパ節に転移し、無限に増殖して宿主に死をもたらす)

悪性腫瘍＝悪性新生物＝がん

がん＝上皮性の「癌」＋間葉性の「肉腫」

癌の統計 死亡数 vs 罹患数

2015	死亡数 (2013)	vs	罹患数 (2010)
総数	364,000		805,000
肺癌	72,700		107,000
胃癌	48,500		126,000
大腸癌	47,600		119,000
膵臓癌	30,600		32,000
肝臓癌	30,100		47,000
乳癌	13,100		68,000
前立腺癌	11,600		65,000

2015年の癌の罹患数が推定約83万人、死亡数が約37万人

がんの疫学(原因)

1. 喫煙
2. 飲酒
3. 感染
4. 食事
5. 環境
6. ホルモン
7. 遺伝
8. その他

がんの原因

食生活・肥満・運動(35%)
 たばこ(30%)
 感染(ウイルス、ピロリ、寄生虫(10%)
 性行為・生殖(ホルモン、HPV)(7%)
 職業(化学物質、石綿、クロム、ベンゼン(4%)
 飲酒(3%) 放射線(3%)
 大気・水質汚染(2%)
 遺伝(大腸癌、乳癌・卵巣癌・前立腺癌)

- がんを防ぐための12カ条**
1. バランスのとれた栄養をとる
 2. 毎日、変化のある食生活を
 3. 食べすぎをさげ、脂肪はひかえめに
 4. お酒はほどほどに
 5. たばこは吸わないように
 6. 食べものから適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
 7. 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから
 8. 焦げた部分はさける
 9. かびの生えたものに注意
 10. 日光に当たりすぎない
 11. 適度にスポーツをする
 12. 体を清潔に

広島県のがん対策

がん予防
がん検診
がん登録
緩和ケア
拠点病院/がん相談

がん検診

種別	対象年齢	検診間隔
胃がん	40歳以上	毎年1回
肺がん	40歳以上	毎年1回
大腸がん	40歳以上	毎年1回
乳がん	40歳以上	隔年1回
子宮がん	20歳以上	隔年1回

*受診場所や費用負担など、詳しくは各市町の保健担当部署にお問い合わせください。

放射線治療

がん治療の三本柱

1. 外科手術
2. 放射線治療
3. 抗がん剤

日本の放射線治療の現状 (2011年JASTRO構造調査)

年間新患者数	211,000(177,000)名
1. 乳癌	41,400 23% ↓
2. 肺癌	30,400 17% ↓
3. 前立腺癌	22,300 13% ↑
4. 頭頸部癌	16,200 9% ↓
5. 食道癌	9,400 5% ↓
6. 子宮癌、脳腫瘍、悪性リンパ腫、消化管(直腸癌・肛門癌)	各8,000 5% →

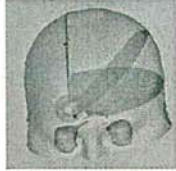
- 放射線治療の特徴**
1. 機能温存
臓器の持つ機能を温存する
(頭頸部癌、食道癌、前立腺癌)
 2. 形態温存
外見上の形態を温存する
(乳癌、頭頸部癌)

放射線治療の進歩

機械技術、コンピュータ技術の進歩によって放射線治療は2000年に入り、大きく進歩しました。



リニアックの開発



三次元治療計画

高精度放射線治療に 欠なものの(装置)



CTシミュレータ



三次元放射線治療計画装置
高精度照射装置(リニアック)
マルチリーフコリメータ



高精度放射線治療に 不可欠なもの(人員)

緊密な連携のとれる放射線治療チーム

放射線腫瘍医
診療放射線技師
医学物理士
放治専門看護師



広島大学病院放射線治療センター



中・四国最多の放射線治療スタッフ
最新の放射線治療装置
(トゥルービーム:4倍の線量率)を配備



画像誘導放射線治療装置



サイバーナイフ
(追尾)

トモセラピー
(同期照射)



ノバリス
(迎撃)

ヴェロ
(追尾)



広島がん高精度放射線治療センター (HIPRAC:通称ハイブラック)



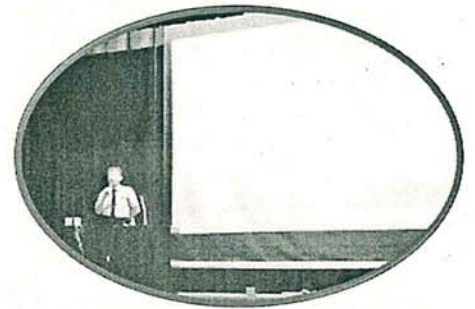
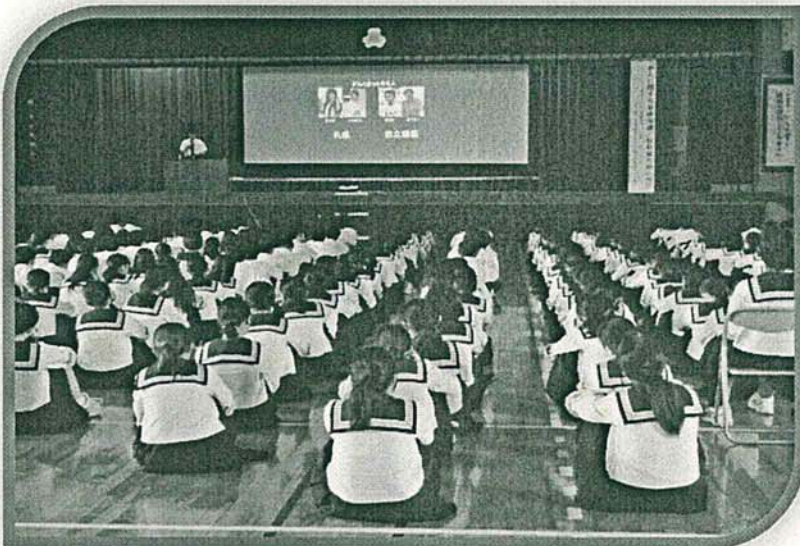
平成27年10月より開業
(広島市院・国立広島
広島日赤・広島大学の
四機関ネットワーク型
がんセンターで最新の
放射線治療装置5台
肺癌、胃立腫瘍、乳癌、
肝癌、脳転移、膵臓癌、等

健康教育講演会

演題：「がんに関する基礎知識と放射線治療の現状」

6月20日(月)7限目、1年生を対象とした健康教育講演会を実施しました。講師は昨年に引き続き広島大学大学院放射線腫瘍学 広島大学病院放射線治療科の永田 靖先生でした。

癌の原因や癌の治療方法について学ぶとともに、自分や家族の食生活等の生活習慣についても振り返る機会となりました。



永田 靖 先生



生徒代表挨拶



～ 生徒の感想 ～

- がんを予防するには、食事と喫煙が関係していることが分かりました。
- 放射線治療が患者さんにとって一番負担がかからないと分かり少し安心しました。
- 不安を和らげるためにも家族の絆が一番大切なんだということが分かりました。
- 自分の家族も普段から気をつけるけど、早期発見早期治療ができるように検診も受けたいと思いました。
- ドキュメンタリーで病気に苦しみ改善していく人の映像をよく見ますが、医療技術が発達してすごうありがたいことだなあと感じました。
- がんを防ぐための12か条があることも知り理解できたので注意していきたいと思いました。

「がんに関する講義について」アンケート結果

生徒たちの感想

◆講義を聞いてわかったこと

- ・ がんを予防するには、食事と喫煙が関係していることが分かりました。また、治療法がたくさんあることも知ることができました。
- ・ がんは自分の中では少し遠い存在で大丈夫だろうと思っていたけど、三分の一が死亡していることや防ぐための 12 か条のことを教えていただいたので、これからはもっと真剣に考えていきたいです。
- ・ がんと癌の意味が違うことや、悪性のものは転移するけど良性のものは転移しないこと、がんの治療法にもいろいろなものがあり特に放射線療法にはメリットが多いことが分かりました。
- ・ 1981 年以降、日本人の死因の多くががんによるものだと初めて知りました。また、女性は特に乳癌になりやすいということも分かりました。がんを防ぐための 12 か条があることも知り理解できたので注意していきたいと思いました。
- ・ 放射線の検査は被ばくをするので体に悪い影響があると思っていましたが、がんを治すには、患者さんに負担のかからない最適な方法だと知りました。また、薬で予防できるがんもあることを知りびっくりしました。
- ・ 放射線治療が患者さんにとって一番負担がかからないと分り少し安心しました。そしてがんになっても全体の 60% が治療で治っていることに、医療技術の進化はすごいと感じました。
- ・ がんになる時はなるものだと思っていたけど、普段の食生活や運動などちょっとしたことが予防につながるということが分かりました。自分の家族も普段から気をつけるけど、早期発見早期治療ができるように検診も受けたいと思いました。
- ・ がんは手術だけでなく、放射線治療や抗がん剤治療など症状に応じて、患者さんに合った治療方法でなるべく患者さんに負担がかからないように治療できることが分かりました。
- ・ 癌について詳しいところまで理解することができました。また、家族が癌になった時、自分がどういった対応をとるべきかわからなかったのですが、不安を和らげるためにも家族の絆が一番大切なんだということが分かりました。

◆印象に残ったこと・感想

- ・ 膵臓がんの死亡率が高いことに驚きました。たばこは全てのがんの原因にもなっているので、これから先も絶対に吸いたくないと思いました。
- ・ がんの原因は食生活の乱れからもきているので、日ごろからの生活ががん予防につながると思いました。これからも規則正しい生活を送っていこうと思います。
- ・ 広島がん高精度放射線治療センターが各病院と連携して取り組んでいることが印象に残りました。ドキュメンタリーで病気に苦しみ改善していく人の映像をよく見ますが、医療技術が発達してすぐありがたいことだなあと感じました。
- ・ がんは腫瘍が手術でとれたとしても後遺症が残るものもあるので、まずはがんの予防をしたいと思います。また、感染症からがんになったり、自分が知っていた以上にがんの種類もあったので、より健康的な生活を送っていけるようにしたいと思います。
- ・ 高齢化が進んでいく中で放射線治療はあまり体に負担がかからず、とても必要とされていくものだということが印象に残りました。

- ・ おじいちゃんが10年以上も転移するがんとがんに闘っていることを思い出しました。
- ・ がんは血液やリンパ経路、気管などを通して全身に回ることを初めて知りました。すべては日頃の食事や生活習慣からだということが分りました。
- ・ 最近、テレビなどでもがんのことをたくさん報じられて、検診を受ける人が増えていることは知っていたが、今回の話を聞いてがんで死亡する人の割合が多いことにおどろきました。これからは健康に気をつけ、食生活を改善していきたいです。
- ・ がんは日頃の生活で防ぐことができるので、禁酒禁煙などできることから意識していきたいです。

◆疑問・わからなかったこと

- ・ 放射線治療が適しているがんと手術が適しているがんがあるが違いを知りたい。
- ・ がんの進行でステージと聞くがどんな基準なのか？
- ・ 肥満の人の方ががんになりやすいのはなぜか？
- ・ 悪性腫瘍と良性腫瘍の細胞の違いは何か？また放射線治療の体への影響はないのか？
- ・ がんを患った人のうち、どれだけの人放射線治療を受けどれだけの人完治したのか？
- ・ 高精度放射線治療の料金はどれくらいかかるのか知りたい。
- ・ 放射線治療の仕組み等について知りたい。
- ・ 専門用語が分りにくかった。
- ・ がんにならない人はどんな暮らしや予防をしているのか？

保健体育科学習指導案

広島県立広島皆実高等学校
指導者 樋口 裕志

- 1 日時・場所 平成 28 年 7 月 11 日 1 - 6 H 教室
- 2 学年・学級 1 年 6 H (40 名)
- 3 単 元 名 保健 現代社会と健康「生活習慣病とその予防」 ～『がん』について～
- 4 単 元 観

・がんについて正しい知識を持ち、健康を維持するためには、適切な食事、運動、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を実施することが必要であることを理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

5 単元の目標

- ・がんは、喫煙・飲酒・不適切な食事・運動不足など、日常の生活習慣とのかかわりが深いことを認識し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- ・がんについて正しい知識のもと自分自身の問題として捉えながら、望ましい生活習慣の方法を選択したり、因果関係について主体的に考えることができる。(思考・判断)
- ・がんは、早期発見・早期治療が重要であることを知り、予防法や治療法について正しく理解する。(知識・理解)

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
がんは日常の生活習慣とのかかわりが深いことを認識し、課題解決に向けて学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	がんについて、自ら調べた知識をもとに課題を発見し、解決のために考えたことを自分自身の問題としてまとめることができる。	がんは早期発見・早期治療が重要である理由や方法についてノートにまとめ、予防法や治療法など正しく理解している。

7 単元計画

次	学習内容	評 価				
		関	考	知	評価規準	評価方法
1	生活習慣病について	◎			・生活習慣病は身近な病気であることを理解する。	グループ内発表 保健ノート テスト
2	生活習慣病とその予防			◎	・生活習慣病の早期発見、早期治療によって死亡率が大きく低下することを理解する。	
3	がんと生活習慣		◎		・生活習慣を見直し、がんの予防をするためにできることを考える。	グループ内発表 保健ノート

8 本時の展開

(1) 本時の目標

「生活習慣病とその予防」での学習をもとに、日本人の死因第 1 位となっている『がん』を通して、自分自身の健康問題について考えることができる。

(2) 観点別評価基準

『がん』予防について自分自身の健康問題と向き合い考えることができる。(思考・判断)

(3) 準備物

教科書「最新高等保健体育 (大修館書店)」

保健ノート「最新高等保健体育ノート (大修館書店)」

指導者用教材「がん教育推進のための教材 (平成 28 年 4 月文部科学省)」

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題発見 日本人死因第1位は『がん』であることを思い出す。</p>	<p>○わが国における『がん』の状況について理解させる。 ・「教材」p2～3より、がんの概要と我が国におけるがんの現状を説明する。</p>		
<p>課 題 どうすれば死因第1位『がん』を予防できるだろうか？</p>			
<p>2 本時のめあてを確認する。</p>			
<p>めあて 『がん』を予防するために自分自身の健康問題について考えてみよう！</p>			
<p>3 『がん』と深いかわりをもつ生活習慣について整理する。</p>	<p>○喫煙、過度な飲酒、バランスの悪い食事、運動不足などの生活習慣がかかわっていることを理解させる。 ・「教材」p6～7 望ましい生活習慣について補足説明する。</p>		
<p>4 予防と合わせて重要なのは早期発見・早期治療であることを整理する。</p>	<p>・「教材」p8～9 がんの経過を理解することで早期発見の重要性を説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>早期発見 → 定期的な健康診断</p> </div>		
	<p>・「教材」p10～11, 13 治療の三つの柱を知り、その目的・内容・方法について十分に理解したうえで選択、決定することが重要であることを押さえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>治療 → 手術療法 放射線療法 化学療法 ↓ 早期に治療すれば治癒率は高い ↓ 「生活の質」を向上させることを理解させる。</p> </div> <p>・「教材」p12, 14 緩和ケアの意義について理解し、がんと向き合い、がんと共に生きる社会をめざす取り組みについて考える。</p>		
<p>5 自分自身の健康問題について考えて発表する。</p>	<p>○課題「どうすれば、がんを予防できるか。」 現在や将来にわたる自分自身の生活習慣のあり方を踏まえて、考えをまとめる。 ○グループ内で発表し、他者意見を踏まえて討議したうえで意見を整理・分析させる。</p>	<p>○思考・判断</p>	<p>保健ノート グループ内発表</p>

<p>6 本時のまとめを行う。</p>	<p>○グループ内で討議した内容をもとに、自分自身の健康問題についてまとめ、考えを深めさせる。</p>		
<p>7 本時の振り返りを行う。</p>	<p>○『がん』を通して考えたことは、生活習慣病予防全体に繋がっていくものであり、健康で生活を送ることができる源であるということを確認させる。</p>		

- 1 日時・場所 平成28年11月18日(金)5限 3年2H教室
- 2 学科・学年 衛生看護科3年(40名)
- 3 単元名 成人看護(2)機能障害と看護 「がん患者の看護」
- 4 単元観

・がんは、国民の死亡原因の第1位であるが、近年、集団検診の普及やがん治療の進歩によって早期発見・早期治療される場合や長期生存が可能となる場合が増えてきた。がん患者はがんとともに生きる、がんをコントロールしながら人生を送るという考え方に変わりつつある。抗がん薬を用いる薬物療法分野では種々の薬が開発され、日々目覚しく進歩している。がん患者の看護を行うためには、がんの特徴を知り、がんの治療と患者の身体的・心理的問題を理解し、看護を行うことが必要である。単元を通して、治療の特質に応じた看護の意義や役割の重要性を理解させることをねらいとしている。

5 単元の目標

- ・がん患者に対する概要とその副作用について関心を持ち、心身両面の変化、苦痛について理解することができる。
- ・がん患者とその家族に対する看護の特徴及びがん患者の状態や治療の特質に応じた看護の方法について理解し、状況に応じた看護を身に付けようとしている。

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
がん患者に対する概要とその副作用について看護との関連において関心を持つ。また、がんとその治療に伴う患者の心身の苦痛を理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護について主体的に取り組もうとしている。	がん患者に対する概要とその副作用について看護との関連において思考を深める。また、がんとその治療に伴う患者の心身の苦痛を理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護を適切に判断し考えを表現している。	がん患者に対する概要とその副作用について看護との関連においてその意味を読み取り整理し、まとめている。また、がんとその治療に伴う患者の心身の苦痛を理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護技術を身に付けようとしている。	がん患者に対する概要と副作用について看護との関連について基本的な知識を身に付けている。また、がんとその治療に伴う患者の心身の苦痛を理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護の意義や役割の重要性を理解している。

7 単元の指導計画(全6時間)

次	学習内容	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	日本人に多いがん がんの予防と早期発見 がん患者の看護に関する基本的な考え方(1時間)	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに対する概要に関心を持ち、看護との関連を学習する意欲を持っている。 ・がんについての基礎的な知識を身に付けている。 	授業観察 ワークシート 定期試験
2	がんの治療と看護 ・がんの診断・検査と看護(1時間)	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの検査の必要性、検査方法や患者の苦痛について理解している。 	授業観察 ワークシート 定期試験
	・化学療法を受ける患者の看護(1時間)(本時)		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者に対する薬物療法の副作用によって起こる症状が患者の心身にどのような苦痛をもたらすか思考し、看護者に必要な態度や具体的取り組みについて、判断し、表現できる。 	授業観察 ワークシート 定期試験
	・放射線療法を受ける患者の看護 ・手術療法を受ける患者の看護		○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者に対する治療の概要とその副作用について理解し、患者の状態、治療の特質に応じた援助の持つ意味を読み取り、記録・整理 	授業観察 ワークシート 定期試験

・その他のがん療法 (2時間)				しまとめている。 ・がんとその治療に伴う患者の心身の苦痛を理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護の意義や役割について理解している。	
・がん終末期患者の看護 (1時間)	◎			・がん終末期患者の身体的、精神的苦痛を理解し、看護師としての役割について思考することができる。	授業観察 ワークシート 定期試験

8 本時の展開

(1) 本時の目標

化学療法を受けるがん患者の心理と副作用に対する看護を具体的に考え、表現することができる。

(2) 観点別評価規準

- ・がん患者に対する薬物療法の副作用によって起こる症状が患者の心身にどのような苦痛をもたらすか思考し、看護者に適切な態度や具体的な取り組みを考え、表現することができる。
(思考・判断・表現)

(3) 準備物

教科書「成人看護 (文部科学省)」, ワークシート

指導者用教材「がん教育推進のための教材 (平成28年4月文部科学省)」

(4) 学習の展開

展開	学習活動	指導上の留意(◇) 努力を要する状況と判断した生徒への手立て(◆)	評価規準	評価方法
導入 5分	1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の目標を確認する	◇学習に必要な教科書等が準備できているか各自で確認させる。 1 前時の学習内容を確認させる。「教材」P10 のがんの治療法 2 本時の目標を確認させる。		
展開 40分	3 がんの化学療法に使用する薬物の特徴、看護について既習の内容と説明を聞くことで理解する。 4 抗がん薬の副作用について説明を聞くことで理解する。 5 事例患者を示し、次の内容について思考させる。	◇一般的な抗がん薬の特徴を説明し、化学療法や投与方法、投与時の看護についての概要、注意点を理解させる。 ◇事前に学習をさせておき、抗がん薬の副作用には①全身倦怠感、②食欲不振・吐き気・嘔吐、③口内炎・口腔粘膜潰瘍、④脱毛、⑤造血器障害、⑥腎障害・出血性膀胱炎、⑦心筋障害・肺障害があることを理解させる。 ◇事例の患者さんの状態からAさんの体の中で何が起こっているか思考させワークシートに記入させる。		
<p>事例：化学療法中のAさん 女性 抗がん薬投与し始めてから今までに感じたことのないような体のだるさを感じ、吐き気に襲われている。少しずつ水分の摂取は行っているが口の中が気持ち悪かったため、歯磨きをおこなった。すると歯茎からたくさん出血がしAさんは怖くなってナースコールを押した。</p>				
	①患者に起こっている症状、看護処置についてなぜその症状が起こっているか個人で考える。 ②Aさんに分かりやすく説明をするとともに、他の注意点は何かグループで考える。	◆既習の抗がん薬の副作用を振り返り、どれが当てはまるか考えさせる。 ◇生徒はAさんにナースコールを押されて、病室に向かったとして、どのように声をかけ説明するか、自分が説明をすると想定して考えさせる。 ◇説明だけにとどまらず、Aさんに心理面にも配慮が必要なことを理解させる。	・抗がん薬の副作用によって起こる症状を理解し、患者の心身にどのような苦痛をもたらすか思考できる。	授業観察 ワークシート、発表内容

	6 グループで発表させる。	<p>◆他の注意点を考えさせる場面では、口内炎・口腔粘膜潰瘍と血小板減少から起こりうる今後の症状や注意点を想起させる。</p> <p>◇いくつかのグループに実演をさせ、内容を共有する。</p>	・副作用を苦痛に思っている患者に対してどのような声かけ、説明が必要か思考できる。【思考・判断・表現】
まとめ 10分	8 本時のまとめ	<p>◇化学療法における看護師の役割を個人で考えさせる。</p> <p>◇抗がん薬は正常な細胞にも障害を与えるため様々な副作用が生じること、看護師は副作用によって生じる患者の身体的精神的工夫を軽減することが大切であることを再認識させる。</p>	

成人看護

第3節 がん患者の看護

目標 がんに対する基本的な考えを理解することができる。

*がんという病名を聞いたとき、どのような感情を抱きますか？

*それはなぜですか？

提出日：
*がんの予防、早期発見、ケアについての看護の考え方についてまとめよう。
(A4用紙2枚)
第2がんの予防と早期発見で1枚、第3がん患者の看護に関する基本的な考え方で1枚)

成人看護

課題

*がんの予防、早期発見、ケアについての看護の考え方についてまとめよう。
(A4用紙2枚)

一評価一

	A	B	C
まとめ方	教科書の内容を理解したうえで、図や絵、表等を用いて内容をまとめられている。	教科書の文を用いて、内容が過不足なく記入されている。	教科書の内容が明記されているが、内容が浅い。
内容	各項目の概要と看護師の役割、医療的な援助の視点が明記されたうえで、自分の言葉でまとめられている。	各項目の概要と看護師の役割、医療的な援助の視点が明記されている。	各項目の概要、看護師の役割、医療的な援助の視点が不足している。

第2 がんの予防と早期発見

 <p>一次予防=疾病の発生予防</p> <p>生活習慣、環境の改善による健康増進 予防接種などによる特定の疾病予防 事故防止による傷害の発生予防</p>	 <p>二次予防=疾病・障害の進行の予防</p> <p>健康診断、がん検診などによる疾病の早期発見 発見した疾病の早期治療、保健指導</p>	 <p>三次予防=合併症、後遺症の予防と改善、再発予防</p> <p>適切な治療やリハビリテーション、社会復帰対策</p>
---	--	---

●がんの早期発見と看護師の役割

- ①がんの特徴や初期症状、早期発見のための () について理解を深めてもらう
- ②検診の重要性と具体的な () を説明する。
- ③異常の有無にかかわらず、検診後に注意すべきこと、継続して行うことなどを具体的に説明し、() に対する援助を行うこと

がん, 癌, Cancer

正常の細胞とは形態的および機能的に異なった細胞 (異型細胞) が周囲から制約を受けることなく (自律的), 過剰に増殖するもの。

第1 日本人に多いがん

2014年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸2位、直腸9位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位

●がんの罹患率、死亡率の傾向

広島県 がん検診へ行こうよ (広島県ホームページより)



具体的な癌の一次予防

●がんの予防
がんを防ぐための新12か条 (がん研究振興財団)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫

第3 がん患者の看護に関する基本的な考え方

がんとともに生きる

残された日々を
有意義に過ごす

●がんの告知とインフォームドコンセント

●緩和ケア

「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に対してきちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防したり、対処したりすることでクオリティオブライフを改善するためのアプローチである」(WHO)

(1) がん患者の心理反応の理解

(2) がん患者に対する精神的な支援

成人看護

(3) がん終末期患者の苦痛の緩和

- ホスピス
ホスピスは積極的ながん治療を行う場ではない。

残された日々を
有意義に過ごす

- がんサバイバーシップ

- ①今、がんの治療中であり回復しつつある人
- ②抗がん治療を経験し回復した人
- ③がん患者に寄り添い支える家族と介護者
- ④がん患者の治療にあたる医療者

がんとともに
生きる

第2 がんの予防と早期発見

がんの予防 概要

がん対策については、検診による早期発見治療(二次予防)だけでなく、発がん性物質への対策や生活習慣による予防(一次予防)にも重点が置かれるようになってきた。●医療的な援助として、また、子宮頸がんの予防ワクチンや、胃がん予防に関するヘリコバクターヒドリ菌の除菌治療など、明らかになったがんの原因に直接働きかける予防方法もある。

TV, 新聞, インターネットなどの多くのメディアでがん予防に効果のある食品などの最新の情報を発信されるようになってきている。

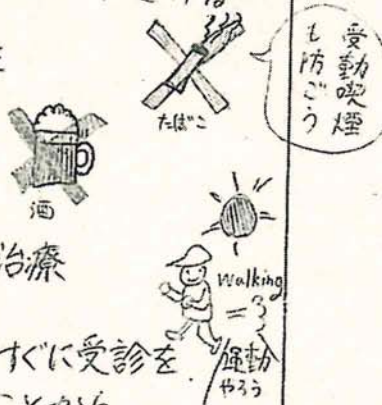
●看護師の役割として、

看護者は常に最新の情報とその科学的根拠を確認し、人々に正しい情報を伝えられるようにしておく。

～日常生活における具体的ながんの一次予防～

がんを防ぐための新12か条 (がん研究振興財団)

- ① たばこは吸わない
- ② 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- ③ お酒はほどほどに
- ④ バランスのとれた食生活を
- ⑤ 塩辛い食品は控えめに
- ⑥ 野菜や果物は豊富に
- ⑦ 適度に運動
- ⑧ 適切な体重維持
- ⑨ ウルスや細菌の感染予防と治療
- ⑩ 定期的ながん検診を
- ⑪ 身体の異常に気がついたらずに受診を
- ⑫ 正しい情報でがんを知ることから



受動喫煙
も防ごう

まとめ

「がん」と聞いて、後ろ向きな考えになる人も多いと思うが、がんは予防ができるので、一人一人が生活習慣を見直し、がんに対する意識を高めるべきだと考える。一次予防をしっかりと頭に入れておく。また、看護者は、それを患者さんや周りの人々に伝えることにより、少しでもがん患者が減ると思う。私も、身近な人に禁煙を呼びかけるなどして、一次予防を重視して、がん患者を減らす努力をしていきたいと思う。がんは人事ではなく、いつ自分の身に起る病気が分からない、だからこそ、理解を深めておくべきだと思う。

がんの早期発見 概要

一般的に人々はがんに対する恐怖心が強く、不安を抱いている。身体の異常に気づいても、がんと診断されることを恐れて受診をためらう人もいる。早期発見が重要であることは、わかっている知識と行動は別である。

●看護師の役割

- ① がんの特徴や初期症状、早期発見のための自己検診について理解を深めてもらう。
- ② 検診の重要性と具体的な受診手段を説明する。
- ③ 異常の有無にかかわらず、検診後に注意すべきこと、継続して行うことなどを具体的に説明し、不安にたい援助を行う。

●医療的な援助

がんの早期発見は、病気の予後を決める鍵ともいえる。がんの検査には、

がん年齢といわれる40歳以上の人に対する一般的な健康診断

がん検診

がんの疑いのある人に対する精密検査

がんと診断された人に対して治療方法を決定する検査

まとめ

がんの早期発見は、病気の予後を決める大事なことだと思おう。発見が遅れたことにより、もう手におえないいまで進行していたら、助かる病気も治せなくなるので、異変を感じたりする前に、定期的に病院などで受診したり、相談したりすることが重要だと考える。それ、がんについて理解を深めて、身近なことだと意識しておく必要がある。

- 1 日時・場所 平成 28 年 11 月 30 日 (火) 6 時限 3 - 2 H 教室
- 2 学科・学年 衛生看護科 3 年生 40 名
- 3 単元名 成人看護 (2) 機能障害と看護 「栄養摂取・代謝障害と看護」
- 4 単元観

・看護の対象を疾病や傷害そのものではなく、疾病等により身体の様々な機能障害を有した生活者として、身体的・精神的・社会的に統合的にとらえ、機能障害のある生活者の健康の保持増進、回復へ向けた看護の展開について理解させる。また、身体のそれぞれの機能の役割、日常生活の制限や治療にかかわる看護に必要な基礎的な知識と技術を習得させることをねらいとしている。そして、栄養摂取・代謝障害によって起こる、日常生活習慣や精神的要因との関連性、長期にわたる療養生活、自己管理の必要性などについて理解させるとともに、主体的な療養態度を育てるための患者とその家族に対する生活指導や日常生活の自立に向けた援助を理解させる。

5 単元の目標

・栄養摂取・代謝障害を引き起こす主な疾患と看護の基礎的・基本的な知識・技能を習得させ患者の状態や治療の特質に応じた看護を理解させるとともに主体的により良い看護を実践する態度を育てる。

6 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 技能	エ 知識・理解
栄養摂取・代謝障害を引き起こす主な疾患の発生に影響を及ぼす因子や症状、検査または治療法の概要について看護との関連に関心をもち、患者の状態や治療の特質に応じた看護について主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	栄養摂取・代謝障害を引き起こす主な疾患の発生に影響を及ぼす因子や症状、検査または治療法の概要について看護との関連について思考を深め、患者の状態や治療の特質に応じた看護について適切に判断し、考えを表現している。	栄養摂取・代謝障害患者の状態や治療の特質に応じた看護を行うための技術を身に付けている。	栄養摂取・代謝障害を引き起こす主な疾患の発生に影響を及ぼす因子や症状、検査または治療法の概要について看護との関連について理解し、患者の状態や治療の特質に応じた看護について知識を身に付けている。

7 単元の指導と評価の計画 (11 時間)

次	学習内容	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	栄養摂取・代謝に関わる器官の構造と機能 (1 時間)	◎			○	栄養摂取・代謝に関わる器官の構造と機能について関心をもち理解している。	授業観察 ワークシート 定期試験
2	栄養摂取・代謝障害の特徴 (1 時間)	○			◎	栄養摂取・代謝障害の特徴に関心をもち、構造と機能と関連付けて理解している。	授業観察 ワークシート 定期試験
3	栄養摂取・代謝障害に対する検査・治療と看護 (2 時間)		○	◎	○	栄養摂取・代謝障害に対する検査・治療と看護について理解し、栄養摂取・代謝障害に対する看護を思考・判断し表現することができる。また、必要な看護を身に付けている。	授業観察 定期試験

4	肝機能障害患者の看護 (3時間)		◎	○	肝機能障害患者の状態や治療の特質に応じた看護について理解することができ、思考・判断し表現している。	授業観察 ワークシート 定期試験
6	栄養摂取障害のある人への看護 (1時間)	○		◎	栄養摂取障害のある患者の状態や治療の特質に関心を持ち、患者の状態に応じた看護について理解している。	
5	手術を受ける胃がん患者の看護 (3時間) 本時 3 / 3		◎	○	手術を受ける胃がん患者の状態や治療の特質に応じた看護について理解することができ、思考・判断し表現している。	

8 本時の展開

(1) 本時の学習目標

胃がんにより手術を受けた患者が、術後合併症について理解し、安心した日常生活を送るための看護介入について考え、述べるができる。

(2) 観点別評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	胃がんにより手術を受けた患者が、安心した日常生活を送るための看護介入について考え、述べるができる。		胃がんにより手術を受けた患者の術後合併症について理解している。

(3) 準備物

教科書「成人看護(文部科学省)」

副教材「成人看護学総論 呼吸器 循環器 消化器(医学書院)」

指導者用教材「がん教育推進のための教材(平成28年4月文部科学省)P13」

ワークシート, ホワイトボード, プロジェクター, パソコン(教員作成映像)

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価基準	評価方法
導入 5分	○ 前時を振り返る。 1 本時の授業内容の確認をする。 2 本時の目標を確認する。	・前時までの学習内容を振り返らせる。 ・本時の授業では、胃がんにより、胃切除術を受けた患者に対する看護について考えることを説明する。 ・本時の目標を確認させる。		
展開 40分	3 事例患者の状況を確認する。 4 教員が作成した映像を見て、事例患者の状況から気になりな事柄をワークシートに記入する。	事例：50歳代女性、胃癌(ステージⅢA)と診断され幽門側胃切除術、ビルロート(Billroth)Ⅰ法による再建術を受けている。 ・事例患者の状態を表現した映像を生徒に視聴させ、事例患者の状態で気になりなことを個人でワークシートに記入するよう促す。	胃がんにより手術を受けた患者の術後合併症について	授業観察 ワークシート

	<p>5 映像の患者の状態が生徒が気がかりと感じた患者の状態を発表する。</p> <p>6 5の内容を基に、患者の状態を全体で振り返る。</p> <p>7 事前学習を基に、気になる事柄から、事例患者に起こっている術後合併症は何か、理由と共に考える。</p> <p>8 7の内容を発表する</p> <p>9 7であげた術後合併症とがん患者が退院後も付き合っていくための援助としてできることには何があるか、グループで考えホワイトボードにまとめる。</p> <p>10 術後合併症と予防的介入について考えた内容を合わせて発表する。</p> <p>11 一般的な術後合併症に対する予防的介入について理解する。</p>	<p>・観察した内容を3人程度発表させ、全体で共有する。(発表後に追加事項は無いかな全体に問いかけをし、生徒が考えを発表できるよう促す。)</p> <p>・振り返る時に記入できていない内容があれば、青で追記するよう説明する。</p> <p>・事前学習を基に術後合併症やそのように考えた理由を記入させる。その際術後合併症と理由が考えられていることを確認する。 ◆机間巡視を行い術後合併症について考えられない生徒は、術後合併症はどのようなものがあるか、事前学習から見つけさせ、その状態に該当する患者の状態はないか考えるよう促す。</p> <p>・一人生徒に発表させ、他の考えはないか、理由の追加がないか、全体に確認する。</p> <p>・グループ内でお互いに意見交換ができていないか、考えをまとめるホワイトボードに書くことができているか机間巡視し確認する。記入できたグループから黒板に貼っていくよう促す。 ◆参加できていない生徒に関しては、声かけを行い、意見が出せるようにする。</p> <p>・考えた内容を、聞いている人にも考えが伝わるように発表するよう促す。実習の場面では、実習指導者や教員に自分の考えを正しく伝えることが必要となることを意識させる。</p> <p>・生徒が自分たちの考えが正しかったと感じることができるよう、また、違う考え方もあるなど、生徒の意見を机間巡視時に観察し、一般的な術後合併症に対する予防的介入について紹介する。</p>	<p>理解している。【知識・理解】</p> <p>胃がんにより手術を受けた患者が、安心した日常生活を送るための看護介入について考えることができる。 【思考・判断・表現】</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>定期試験</p>
まとめ	12 本時の振り返りをする。	・本時の目標を振り返る		
5分	13 次時の授業内容を確認する。	・次時の授業では、その他の栄養摂取・代謝障害の看護について学習することを説明する。		

手術を受ける胃がん患者の看護

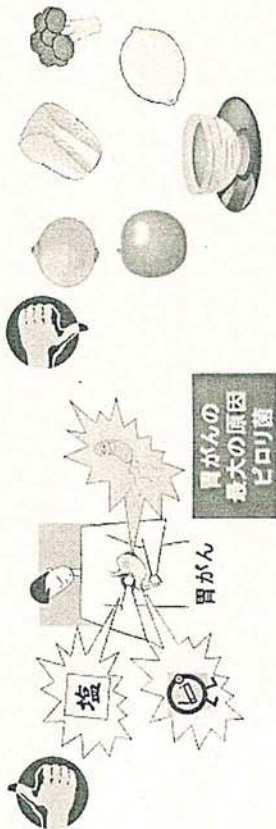
本時の目標：手術を受ける胃がん患者の病態、臨床症状、治療、看護の患者生活の変化について理解することができる。

(1) 病態および臨床症状と治療

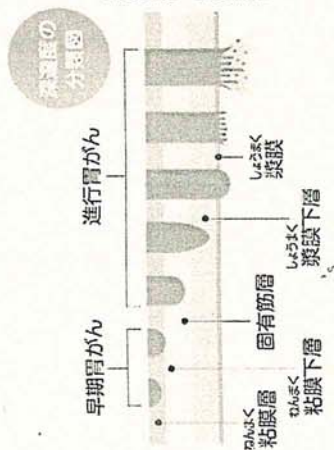
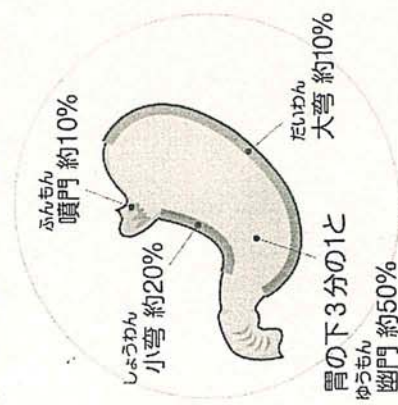
胃の働き
 ()
 ↓
 ()
 ↓
 ()



胃がんのリスクを上げるもの 下げるもの



胃がんのできやすい部位



再建術式を自分で書いて覚えてみましょう

術式	ビルロートI法	ビルロートII法
術式の図		
術式の説明		
利点		
欠点		

手術後の回復過程
 術後1日… ()
 術後2～3日… () () ()
 術後5日… () () ()

手術後の生活の変化
 術後の生活の影響の中で最も大きなものは… ()
 () () ()

食事開始に伴う問題
 腸の癒着による ()
 予防策
 () () () ()

まとめ

() …胃の下部・中部のがんに対して行われる。

手術を受ける胃がん患者の看護

本時の目標：胃がんにより手術を受けた患者の、術後合併症について理解し、その患者が安心して日常生活を送るための看護介入について考え、述べることができる。

事例

52歳の女性、Oさん。夫55歳(会社員)と長女23歳(会社員)、長男20歳(大学生)の4人暮らしであり、パン屋でパート勤務をしていた。

出血性胃潰瘍にて緊急入院となり、内視鏡検査とCT検査を実施し、結果、胃癌(Stage III A)と診断を受けた。

手術は幽門側胃切除術、ビルロート(Billroth) I法による再建を受けた。術後、離床も順調に進み、術後3日に排ガス・排便があり、腹部膨満症状もなく、腸蠕動も良好であった。術後6日に水分摂取を行い、術後7日から流動食を摂取した。流動食開始時にクレンジングニカルパスを使用し、食事の食べ方について説明を受けていた。



- 1 事例患者の映像の内容から気になる事柄を記入しましょう。



- 2 この患者に起こっていると考えられる術後合併症は？そう判断した理由を含め記入しなさい。

- 3 2であげた術後合併症とがん患者が退院後も付き合い合っていくための援助としてできることは何があると考えますか？理由と共に考えましょう。



今日の授業で大切だと感じたこと、今後の看護臨地実習でどのように生かしていこうと考えるか書きましょう。

実践内容

- がん教育推進委員会
- 事業計画
- 授業及び講演会実施
- 事前・事後アンケートより
- 成果と課題

がん教育 実践発表

広島県立黒瀬高等学校

がん教育推進委員会

- がんに係る教科の代表も含め構成員とした。
管理職・総務・保健体育科・家庭科・地歴公民科
・福祉科・養護教諭
- 委員会の開催回数4回
(事業内容の説明・事業計画の作成・取組のまとめ・
次年度に向けて)

講演会実施

- 独立行政法人国立病院機構東広島医療センター
診療部長 呼吸器内科部長 村上 功先生
演題「高校生で知っておいて欲しい がんの基礎知識」
- がんの種類と平均余命について
- 喫煙と肺がんの関係について
- 定期的な健康診断受診の重要性
- 治療の状況(放射線治療・チーム医療・医療費)



講演会で生徒からの事前の質問

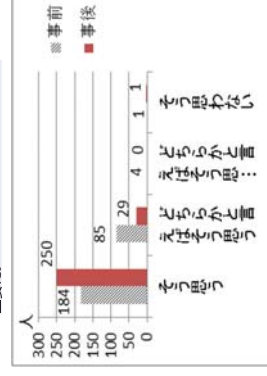
- 早期発見されやすいがんとされにくいがんの違いは何ですか。
- がん検診は何歳から受けたらよいのですか。
- がんになった時の最初の症状は何ですか。
- 抗がん剤治療はどのくらい大変なのですか。
- がんの治療にどのくらいお金がかかりますか。
- がん検診以外でがんを見つけたらどうしますか。
- なぜ年齢が若いほどがんは進行しやすいのですか。
- がんが再発する可能性はどのくらいありますか。
- 将来がんが治る薬は発明されますか。

講演会後の生徒の感想

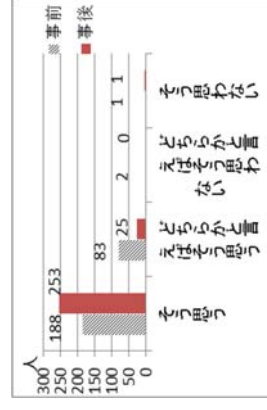
- 印象に残っていること
 - 毎日休む間もなく患者と向かい合っていること。
 - 胃がん・肺がんにかかる人が多く、肺がんは進行が速い。
 - 喫煙、副流煙を吸うことが原因で肺がんになる人が多い。
 - 写真やイラストがあり、がんのことが分かりやすかった。
- 健康的な生活を送るためにあなたは何に気を付けますか。
 - 家族にもタバコを止めることを勧め、自分も吸わない。
 - 規則正しい生活とバランスの良い食事、適度な運動を心掛ける。
 - 定期的な検診を受けて早期発見に繋げたい。
 - 正しい知識を身に付ける。
- 誰もが暮らしやすい社会の実現のために、あなたができることは何ですか。
 - タバコは吸わないことで周りの人にも迷惑を掛けないようにする。
 - 身近な人に習ったことを伝えていく。
 - 自分以外の人のことも考えるようにする。
 - ボランティア活動に参加する。
 - 差別をせず、誰もが助け合える社会になるといい。

事前・事後アンケートより

(1)がん学習は、健康な生活を送るために重要だ。



(1)がん学習は、健康な生活を送るために役に立つ。



成果

生徒のアンケート結果や講演後の感想からも読み取れるように、関連教科での授業で様々な切り口から、繰り返し学習を重ね、外部講師による講演会を行い正しい知識を身につけることは有効であった。

例を挙げると、がんに関する基礎知識を知り、生活習慣について気を付けるべき事柄やがん検診を受ける必要性が理解でき、身に付けた知識を身近な人に伝え、自らも健康に気を付けて行きたいと思った生徒が9割いた。

課題

生徒のアンケートからわかるように、おおむね理解ができているが、以下の点について引き続き学習を深めていく必要がある。

- ・定期的ながん検診を受けること
- ・がんの治療について

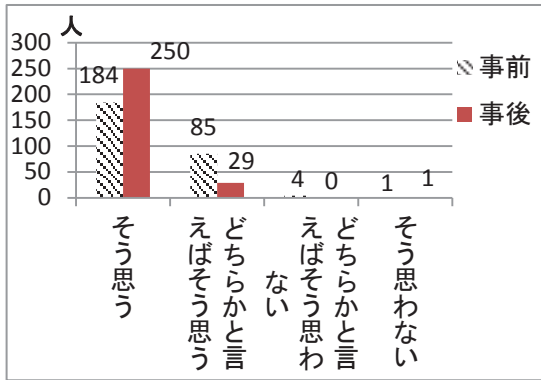
また、外部講師の話では、病気に直面すると現実にはかなり厳しい面があることを説明されたが、それをどのようになしでも希望を持てる内容にしていくかが課題である。

例えば、早期発見で回復が見込まれる事例があればなお良かった。

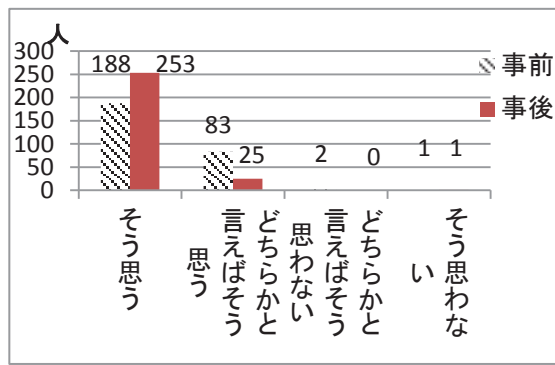
さらに、関連教科でも三年間を通じて扱う内容の把握と調整が必要だと分かり、今後は特別活動、総合的な学習の時間などで、がん教育をどう位置づけていくかを考える必要もある。

がん教育アンケート事前・事後比較

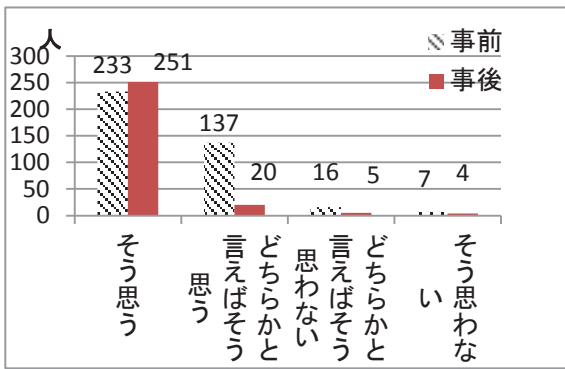
(1)aがん学習は、健康な生活を送るために重要だ。



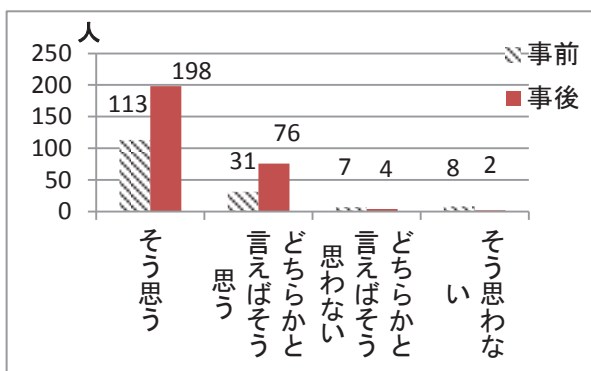
(1)bがん学習は、健康な生活を送るために役に立つ。



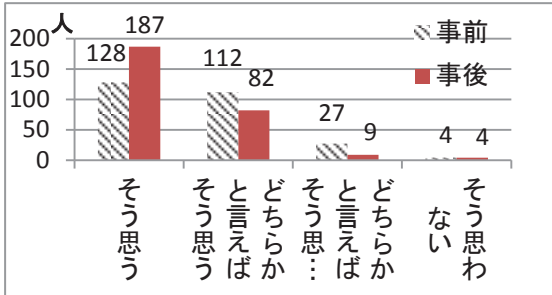
(3)b将来タバコは吸わないでいようと思う。



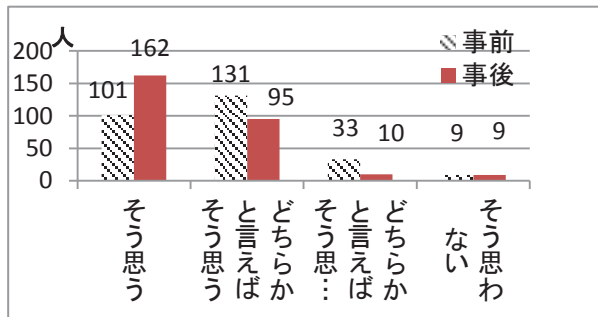
(3)c日頃からバランスの良い食事や適度な運動を行う など健康な体づくりに取り組もうと思う。



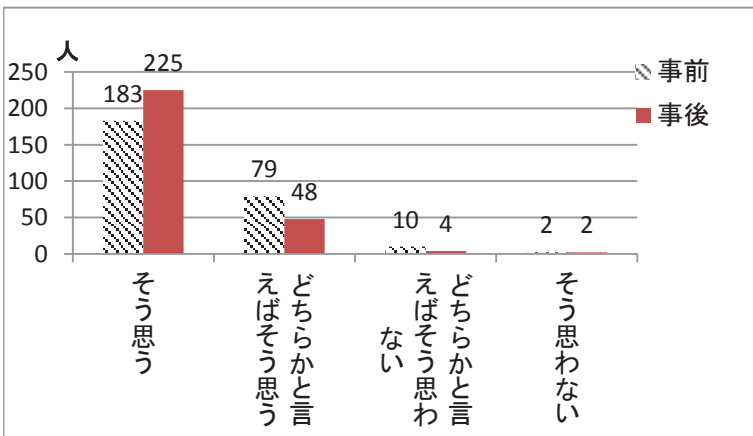
(3)dがん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。



(3)hがんと健康について、まずは身近な家庭から語ろうと思う。

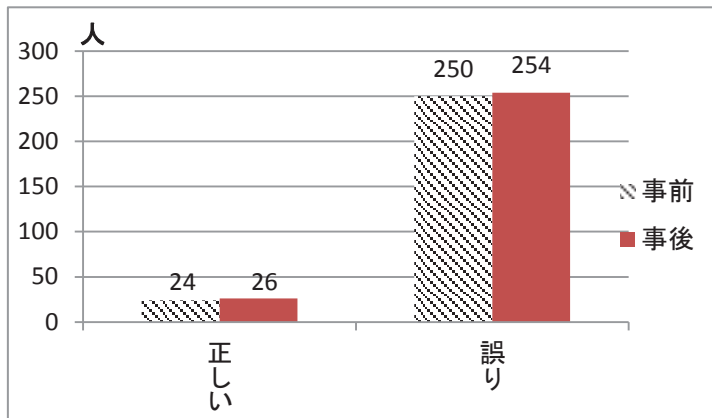


(3)j長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。

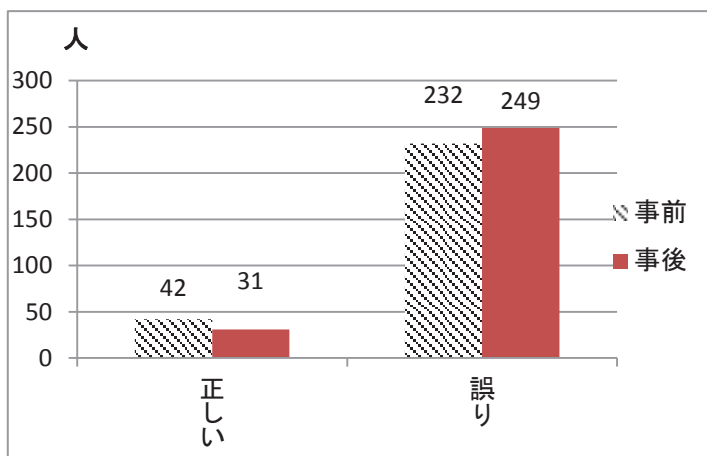


がん教育アンケート事前・事後比較

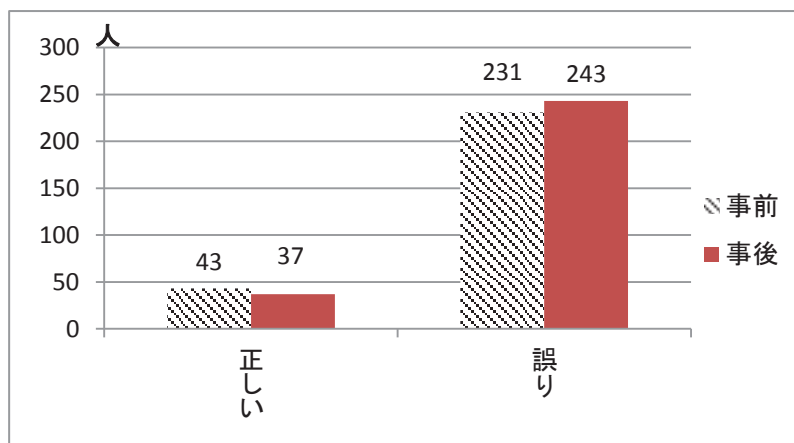
(2)f 体の調子が良い場合は、定期的に健診を受けなくてもよい。



(2)g がんの治療の治療法には手術治療しかない。



(2)h がんの痛みは我慢するしかない。



黒瀬高校がん教育推進事業実施要項

がん教育推進委員会

- 1 目的 がんについて正しい知識を持ち、健康の保持増進をはかる。
自他の命の大切さに気付き自己の生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

- 2 事業計画 (1) 第1回 がん教育推進委員会 7月12日(火)
(内容) 事業内容の説明と保健体育・公民・家庭科で授業を行うことを確認
11月2日(水)に講演会を行うことと、前後にアンケートを行うこと
(2) 教育委員会からの指示
①講演前後にアンケートを実施すること
②文科省作成の「がん教育推進のための教材」を使用すること
(3) 第2回 がん教育推進委員会 10月13日(木)
①授業・アンケート・事前学習等の日程の検討
(4) がん教育実施内容
①家庭科授業 2-3 家庭総合「食生活の科学と文化」5月(済)
②公民科授業 2-1・2 現代社会 10月25日(火) 2限
「科学技術の発達と私たちの生命」
③SHR 全学年全クラス
11月1日(火) 担任による講演前のオリエンテーションと事前アンケート
④がん教育講演会 11月2日(水) 生徒全員・教職員・保護者(体育館)
講 師 独立行政法人国立病院機構東広島医療センター
診療部長 呼吸器内科部長 村上 功先生
「高校生でも知っておいて欲しいがんの基礎知識」
*10月26日(水)講師 村上先生と打ち合わせ(黒瀬高校)
⑤ 終礼 11月2日 全学年全クラス 講演後の感想文と事後アンケート
⑥保健体育科 授業 1-2 保健 11月4日(金) 3限
1-1 保健 11月8日(火) 2限
「現代社会と健康」(講演会を聞いてのまとめの授業)
⑦授業等に関係した教職員へのアンケート
(5) 第3回 がん教育推進委員会 12月8日 取組のまとめと発表に向けて
(6) がん教育研修会 1月31日(火) 13:30 情報プラザ
(6) 第4回 がん教育推進委員会 2月9日今年度のまとめと次年度に向けて

現代社会 学習指導案

広島県立黒瀬高等学校

教科・科目	現代社会	授業者	浅藤 直幸
日時	平成28年 10月25日(火) 第2限 2年 1, 2組 視聴覚教室		
教材	高等学校 新現代社会		
単元名	科学技術の発達と私たちの生命		
単元目標	生命がかげがえのないものであり、現代社会においても最も大切な価値であって、個々人の生活や現代社会のあらゆる仕組みの中に生かされなければならないものであることについて考察させる。その際、生命に対する尊重及び畏敬の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが、人々が互いに協力をして社会生活を行っていく上での基本となっていることについて理解を深めさせる。		
生徒観	全体的に学習態度は良好であるが、科目最大の目標である「主体的に問題を考えることができる」というところまでは至っていない。		
指導観	自分たちを取り巻く状況に敏感であってほしいと思い、教室に届けられる新聞を利用して、毎時間一人ずつ関心のある記事について発表させている。その中には「生」と「死」に関するものも少なくない。そうした問題への関心を踏まえ、「生」の尊さを理解させたい。さらには「いかに生きるべきか」を自分に問うことができる生徒を育成したいと考える。		
本時の目標 (めあて)	臓器移植法(2009年制定)とは何か? なぜ以前のものが改正されたのか? そのことが提起している問題とは何か?		
本時の工夫	映像を用いて現在進行形の課題について問題提起する。		
本時の主となる 発問	なぜ臓器移植法の改正がおこなわれたのか? 「がん教育」とは何か?		
段階	学習活動	指導	指導上の留意点
導入 (10分)	○興味を持った新聞記事の発表をする。 (※あらかじめテーマを「生」「死」「がん」およびその関連のものという課題を与えておく)	○発表を促し、静聴させそのことについてコメントを書かせる。何人かに発表させる。	○多少の解説を行うが、細かなところまでせず、自ら調べるよう促す。
展開 (30分)	○免許証の裏面を紹介する。 ○「臓器移植」について学習する。 ○1997年に制定された「臓器移植法」について学習する。	○「臓器提供意思表示カード」となっていることを確認する。 ○知っていることを発表させる。 ○その内容について解説する。	○デリケートな問題だけに発言にはフォローを入れつつ進める。 ○法律の細かなところまで深入りせず、本人の意思表示の有無について触れる。
本時の主となる質問：1997年に制定された「臓器移植法」は2009年になぜ改正されたのか。			
	○2009年に改正された「臓器移植法」について学習する。 ○ビデオを視聴した振り返りを行う。	○「ある家族の決断」(ビデオ)を視聴する。 ○何人かに感想を言ってもらおう。	○メモを取りながら視聴させる。
まとめと問題提起 (10分)	○がん教育について	○「がん対策基本法」第1条、2条を読み、その意味を考える。 (問題提起)	○今年度本校が「がん教育」の指定校となったことについて触れる

保健学習指導案

広島県立黒瀬高等学校

教科・科目	保 健	授業者	石井 直仁
日 時	平成28年11月4日(金) 第3限 1年 2組 1年2組教室 平成28年11月8日(火) 第2限 1年 1組 1年1組教室		
教 材	最新高等保健体育(大修館書店) 最新高等保健体育ノート(大修館書店) がん教育推進のための教材(文部科学省; 抜粋)		
単 元 名	現代社会と健康		
単元目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。		
生徒観	両クラスとも質問に対する反応も良く、落ち着いた雰囲気です。授業を展開できる。		
指導観	常に自分の将来像をイメージしながら考えさせるように指導する。50分の展開案ではあるが、既に学習している分野なので、早く終われば次の項目に進む。		
本時の目標 (めあて)	既に学習した「生活習慣病とその予防」「喫煙と健康」「飲酒と健康」の内容を振り返るとともに、健康的な生活を送るために必要なことは何かを考える。		
段 階	学習活動	指 導	指導上の留意点
導 入 (10分)	○挨拶・出欠確認 ○本時のめあてを確認する。	○学習活動への見通しを持たせるため、板書する。	○元気よくおこなわせる。 服装・授業道具を確認する。 ○全員が注目するようにする。
展 開 (30分)	○「生活習慣病とその予防」「喫煙と健康」「飲酒と健康」各項目のがんに該当する部分を振り返る。 ○がんに関する異本的な知識等を確認する。 ○先日行われた後援会の内容を振り返る。	○改めて、がんのリスクを増大させる生活習慣や物質等を確認させる。 ○文部科学省作成の資料を引用し、現在の状況等を理解させる。 ○どのような感想を持ったか思い出し、ノートにメモさせる。	○ノートや教科書を見て考えているか。(行動観察・机間巡視) ○資料を見て考えているか。(行動観察・机間巡視) ○しっかりメモを取っているか。(行動観察・机間巡視)
ま と め (10分)	○がんのリスク軽減という観点から、今後どのような生活を心がけるべきか考え、ノートに記述する。 ○次回の予告・挨拶	○将来の自分をイメージして書かせる。	○他者との相談でなく、自分で考える。 ○元気よくおこなわせる。

豊栄中学校における 「がんの教育」の実践

平成29年1月31日(火)

広島県東広島市立豊栄中学校 教諭 岡島 亜里砂

はじめに

- 1 「がんの教育」のねらい
- 2 取組内容
- 3 成果と課題
- 4 今後に向けて

1 「がんの教育」のねらい

- ①がんについて関心を持ち、正しく理解し、身近な病気であることを知る。
- ②健康と命の大切さを改めて感じ取り、生涯にわたって健康の保持増進につとめていこうとする態度を養う。

<対象生徒>

東広島市立豊栄中学校

1年生 16名

2年生 13名

3年生 16名

<実施時期>

平成28年9月～11月

2 取組内容

- ①校内研修会
- ②保健体育の授業
- ③講演会
- ④道徳の授業

①「がんの教育」に関する校内研修会

日時：10月12日（水）

講師：東広島医療センター

統括診療部長 高橋 忠照先生

対象：本校職員

内容：

- がんとはどのようなものか、がんの原因や現在の状況、がんになりにくい食生活やがん検診の在り方などについて
- 授業の流れの打ち合わせ

＜研修を終えて＞

- 指導者である教職員が、がんについての専門的な知識を得ることができた。
- がん検診に行ってみようと考えた教職員が増えるなど、がんに対する意識が高くなった。
- 専門医より、中学生がどの程度の知識があり何に興味があるのか（知りたいと思っているのか）を知りたい。

②保健体育の授業

第1回 10月27日（木）

- 生活習慣とがんがどのような関係か、がんの現状を知る。
- がんに対する知識、イメージや原因について班で考え、発表する。
- がんを予防するために、どのようなことができるか考える。

生徒用ワークシート

2. がんについて、どのようなイメージをお持ちですか。

3. がんのことについて、がんのことを教えてください。

4. がんを予防するためには、どのようなことを実践されているのでしょうか。

Q：生活習慣のどのような乱れが、病気やがんにつながると思いますか。

<生徒の意見>

- 食事
- 運動不足
- 不規則な生活
- 偏った食生活
- バランスの悪い食事
- 睡眠不足
- エネルギー不足
- 夜更かし
- 休養不足

Q：がんについて、どのようなイメージをもっていますか。

<生徒の意見>

- 誰にでもなる病気
- 見つかるのが遅ければ、治らない。(早く見つかれば治る。治るときと治らないときがある。)
- たくさんの方が亡くなっている。
- 治りにくい・治らない
- 苦しい・つらい
- いろいろな種類がある
- 手術しないといけない
- 亡くなる確率が高い
- 末期でなければ治る
- 身近な病気
- なりたくない
- 気付きにくい
- 危険

Q：どのようなことが原因で、がんになると

思いますか。

<生徒の意見>

- 食事の乱れ
- 喫煙
- 飲酒
- 生活習慣の乱れ
- 栄養の偏り
- 塩分摂取
- 肥満
- ストレス
- 日にあたりすぎること
- 年齢
- 睡眠不足
- 清潔にしないこと
- かびが生えたものを食べる
- 遺伝
- 運動不足
- 老化
- 免疫力の低下
- ウイルス感染

Q：がんを予防するために、私たちはどのようなことに気を付けたいですか。

＜生徒の意見＞

- 良く寝ること
- 好き嫌いをせずに食すること
- 1日3食偏りなく食すること
- 塩分をとりすぎないこと
- 太りすぎないこと
- がん検診に行くこと
- 健康的な生活
- バランスよく食事をとること
- 適度な運動
- たばこを吸って吸わないこと



保健体育の授業の様子



＜授業後の協議から＞

成果と課題

- 生徒ががんに対する知識やイメージを
発表する、という形式にすることで、
多くの意見を引き出すことができた。
- 予め、学習資料を配布していたため、
率直に感じていたことではなく、資料を
読み取り、意見交換している班があった。

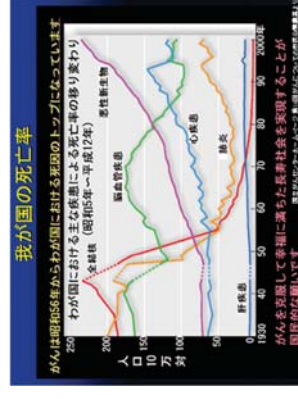
次時の授業に向けて

- 高橋先生から直接、がんについての専門的な知識を教えてもらい、生徒のがんに対する誤った認識を踏まえながら、正しい知識を得る。
- がん検診が身近な予防方法であることを知る。

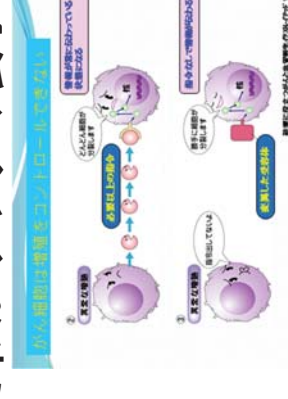
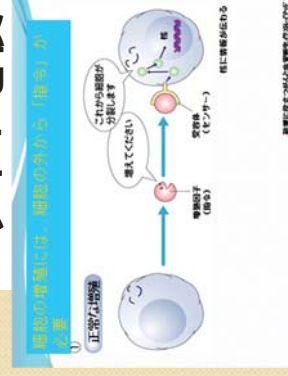
第2回 11月1日(火)

- がんの理解と共生
- がんとはどのような病気か、がんの治療法にはどのようなものがあるか理解する。
- がんの種類によつて、病気の進み具合や治りやすさも変わってくることを理解する。

高橋先生の授業用資料(抜粋)



- スライドを使ってわかりやすく表示



● がんに対する間違った知識を正確にする

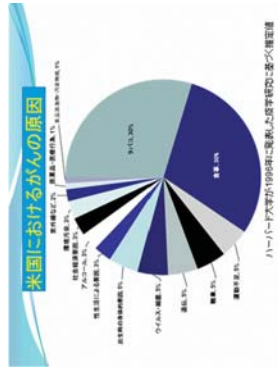
遺伝子に違わなければがんの原因

化学療法薬、放射線、ウイルス、細菌的感染、遺伝子変異、環境要因、生活習慣、年齢、性別、家族歴、がんの発生率、がんの種類、がんの発生率、がんの種類、がんの発生率、がんの種類

質問 1

■ がんとはどんな病気でしょうか？

1. がんは細胞やウイルスが原因となつて
2. がんは遺伝しやすい病気である
3. がんは遺伝子が傷ついた細胞の病気である



早期発見、早期診断、早期治療の重要性について

万一、不幸にしてがんになっても、早期に見つかれば、大きく切らなくても、治ることが多くなってきます

早く見つけるためには、
自己発見(乳癌、甲状腺癌、皮膚癌、舌癌など)
がん検診(中野村集団検診、人間ドック、職場検診など)
が重要です

また大事なポイントとしては、検診を過信しないことですが、自分で異常を感じたら、自己判断せず、受診してください

がん予防の要点

- 1: 環境中の発がん因子(タバコの煙や食品に含まれる発がん物質、放射線ウイルスなど)にさらされるのを避けることである
 - 2: 遺伝子への損傷を防ぐ作用があるといわれている成分(例えば抗酸化物質)を含む食品を摂取するようにすること
- がんの芽を出さない(遺伝子に傷をつけない)予防**

がん検診について

- 胃癌検診 胃癌による死亡の危険は 50~80%減少するといわれている
 - 子宮頸癌 検診を受けることによる死亡率の減少効果が証明されている
 - 大腸癌検診 便潜血検査による大腸癌検診 毎年受けていけば受けていない人比べて死亡の危険性が40%以下に減少する 便潜血2日法では、進行がんの約50%、早期がんの50%が見逃される
- 厚生省「がん検診の集団検診実施に関する研究報告書 平成10年

がん予防のためには何が大切か？

- 男性の場合
- ①禁煙
 - ②節酒
 - ③肥満の是正
 - ④野菜・果物の摂取
 - ⑤節塩
 - ⑥運動・身体活動
- 女性の場合
- ①禁煙
 - ②節酒
 - ③肥満の是正
 - ④野菜・果物の摂取
 - ⑤節塩
 - ⑥運動・身体活動

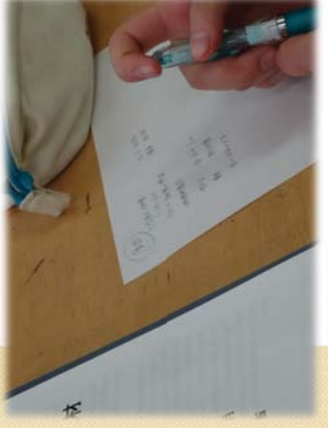
がんになる(死ぬ)ための10か条

- ① 毎日好きなものを食べる(ワッパはまえない)
 - ② 毎日肉を食べる
 - ③ おいしいものは買わないで済ませない
 - ④ お酒は飲めぬがたまには飲む
 - ⑤ たばこは毎日吸う以上1軒と家帰る
 - ⑥ 緑黄色野菜はかみかみに
 - ⑦ 塩辛いものは毎日口に
 - ⑧ 揚げものは毎日口に
 - ⑨ 出かける前髪が髪が抜け落ちて来ると
 - ⑩ 運動はかみかみに
- がん検診は一切受けなくて、健康なままに生きていくのが悪者へ行く (久道 茂)

授業の様子



メモを取りながら聞いている様子





班ごとに話し合っている様子



授業を終え、感想などをワークシートに記入している様子

<生徒の感想文より>

- 今回がんについて学んだことで、がんへの関心がさらに深まりました。
- 中学生もがんになる可能性があるのはこわいけれど、予防もできるので、しっかりと予防をしたいです。もしがんになっても早期発見・早期治療が大切だということも分かりました。

- 普段の生活に気を付ければがんを防げることが分かったので、野菜をしっかりと食べたり、運動したりするようにします。今回学んだことをこれから生かしていきたいです。
- 家族にも教えてあげて、がんの予防をしてもらおうと思います。

③講演会

日時：11月5日（土）

場所：豊栄中学校体育館

講演者：

がん体験者の会 とま〜れ

代表 佐々木 佐久子 様

参加者：中学1～3年生全員
教職員・保護者・地域の方

がん体験者の会 とま〜れ

代表 佐々木 佐久子 様

内容：

○がんとはどのような病気か

○私のがん体験

- ・ がんと向き合うことの大切さ
- ・ がん検診の重要性
- ・ 正しい情報をもつこと
- ・ どう生きるか

講演会の様子



生徒会長お礼の言葉



<生徒の感想文より>

○佐々木先生の講演をお聞きして、がんのことについても詳しく知ることができました。また、がんとはどういうものかだけでなく、がんになった時の精神的な部分も教えてくださり、とてもいい経験になりました。

○がんになった佐々木さんは不安に押しつぶされそうになった、と聞きました。しかしその不安は子供たちの笑顔のおかげでなくすことができました。そう、人の笑顔には他の人を笑顔にする力があることがわかりました。私はこれから病気の人や暗い気持ちの人を自分の笑顔で笑顔にすることができたと思います。

○今まで私は「明日は何しよう。」と考えることが当たり前だと思っていて、今日のお話を聞いて、そうではないのだ。 当たり前だと思えることはとも幸せなことなのだ、と感じました。これからは、生活習慣を見直し、毎日大切に生きていこうと思いました。

④道徳の授業

日時：11月10日（木）

対象：全学年

内容：いのちを輝かす授業

第1学年

「生命の誕生ってすばらしい」

第2学年

「いのちのバトン」「トイレの神様」

第3学年

「二人の子どもたちへ」

3年生 ワークシートより

○私が学んだことは、心を「強くもつ」、「感謝して生きる」ことです。この間学習したがんの教育でも、がんは誰にでもなると学んでいたので、今の時間を大切にして生きようと思いました。

3 成果と課題

アンケートより（n=16）

事前（%）

質問事項	正しい	誤り
① がんは進行すると、今までの通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある	93.8	6.3
② 早期発見すれば、がんは治りやすい	87.5	12.5
③ がんの治療法には手術治療しかない	12.5	87.5



事後（%）

正しい	誤り
100	0
100	0
0	100

○この話で出てくる井村さんはとても強い人だな、と感じました。身近な人が亡くなるのは悲しいことだと改めて思ったことで、自分の命、人の命を大切にしようと思いました。

○生きたくても生きられない人は世界にたくさんいます。自分が今生きていることを大切にしていかないといけないと思います。自分もこの筆者のように、強い心をもって生きていこうと思います。

事後 (%)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
93.8	6.3	0	0
93.8	6.3	0	0
56.3	43.8	0	0
56.3	43.8	0	0

事前 (%)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
62.5	37.5	0	0
81.3	18.8	0	0
31.3	56.3	12.5	0
37.5	56.3	6.3	0

事後 (%)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
31.3	62.5	6.3	0
87.5	12.5	0	0

事前 (%)

質問事項	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
⑧ がんとは健康 まず身近 な家族から 語ろうと思 う	25.0	56.3	18.8	0
⑨ 長生きをす るために、 健康な体づ くりに取り 組もうと思 う	56.3	43.8	0	0

事後 (%)

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
31.3	62.5	6.3	0
87.5	12.5	0	0

<成果>

- (1) がんに関する内容の理解が深まり、生活習慣を見直そう、健康に気を付けようと思う気持ちが高まった。
- (2) 外部講師の授業により、科学的根拠に基づき、専門的な知識を得ることができ、正しい情報、知識をもつことができた。
- (3) がん患者の講演を聞くことにより、命を大切にし、健康に生きようとする意識が高まった。

事前 (%)

質問事項	正しい	誤り
⑩ がんは日本人の死因の第2位である	18.8	81.3
⑪ がんの痛みは我慢するしかない	6.3	93.8

事後 (%)

正しい	誤り
31.3	68.8
12.5	87.5

＜課題＞

- (1) がんに対する正しい知識や情報の定着が不十分であった。
- (2) 学んだことを自分のものだけにせず、家族など、身近な人に伝えていこうとする意欲については、まだ十分であるといえない。学んだことを発信してみたいと思わせるような場や機会をつくっていくことについて、検討する必要がある。

4 今後に向けて

- (1) いつ、何を学ばせることが大切か
- ・ 伝えたいことが多岐にわたっており、発達段階に合わせて学習内容を精選する。
 - ・ どの学年で、どの時期に、どのような内容を身に付けさせるかを明確にする。
 - ・ 教材、資料を適切に活用する。

(2) 指導者（教職員）のがんに関する知識の習得

- ・ がんに対する知識や情報を教職員が正しく理解する。
- ・ 校内研修をさらに充実させる。
- ・ 医療機関と連携する。

(3) 生徒への配慮

- ・ 身近な人（家族や親戚、知人など）の疾病状況の把握をする。

ご清聴ありがとうございました

がん教育（対象：第 3 学年）

東広島市立豊栄中学校

1 題材名「がんと健康」（中学校・保健体育）

2 目標

- がんについて関心をもち、健康的な生活を自ら実践しようとする態度を身に付ける。
- がんという病気について、正しい知識、治療、予防に関する理解を深める。
- 生命がかけがえのないものであることを知り、今ある命を大切に精一杯生きようとする気持ちを身に付ける。

3 内容及び指導方針

(1) 内容（資料 4 の教材による）

1 がんとはどのような病気でしょうか？

- (1) がんとは
- (2) がんの主な要因

2 我が国におけるがんの現状

- (1) がんは最も大きな健康課題
- (2) がんの罹患の特徴

3 がんの経過と様々ながんの種類

- (1) がんの経過
- (2) がんの種類とその特徴

4 がんの予防

- (1) がんの原因は一つではない
- (2) 望ましい生活習慣
- (3) 感染対策

5 がんの早期発見とがん検診

- (1) がん検診による早期発見の重要性
- (2) 我が国におけるがん検診の課題

6 がんの治療法

- (1) がんの治療の三つの柱
- (2) 治療法の選択

(2) 指導方針

日本人の死因の 30% を占めるがんについて学ぶことは、中学校の内容である「個人生活における健康」を理解する上で重要である。第 3 学年の疾病の予防の内容において、がんを取り上げ、その要因、経過等の疾病概念、予防、検診、治療法に関する学習を通して、

生徒が、健康に関する事柄に関心を持ち、それらを科学的に理解し、適切な態度を身に付けて、行動をすることができるよう指導する。そして、生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・がんについて、学習内容に関心を持ち、課題の解決に向けた話合いや意見交換など意欲的に取り組もうとしている。	・がんについて、学習したことを整理したり、説明したりするなどしている。	・がんの疾病概念や予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。

(2) 指導と評価の計画

時	学習内容	学習活動	関	思	知	評価規準	評価方法
1	がんの原因とがんの予防	①がんの原因にはどのようなものがあるか考える。 ②がんを予防するために、今の自分にできることを考える。	○			がんについて、学習内容に関心を持ち、課題の解決に向けた話合いや意見交換など意欲的に取り組もうとしている。 がんの予防について、学習したことをノートに書いたり発表したりしている。	行動観察 ワークシート
2	がんの経過と治療法	①がんの経過と検診について考える。 ②がんについて学習したことを振り返り、身に付けた知識をまとめる。		○		がんについて、学習したことを整理したり、説明したりするなどしている。 がんの疾病概念や予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	行動観察 ワークシート

5 展開例（第1時）保健体育

時間	学習内容・学習活動	資料4 の教材	指導上の留意点 主体的な学び
導入	<p>1 本時の学習内容を確認する。 ・生活習慣がどのようにがんと関係しているか、思っていることを発表する。</p> <p>2 我が国におけるがんの現状を確認する。 ・がんは最も大きな健康課題，日本人の3人に1人ががんで亡くなっていることを確認する。</p> <p>3 「がん」について，知っていることを発表する。 「がん」が日本人の死因第1位であることを，データを示し確認する。</p>	2 - (1)	<p>○生活習慣ががんになるリスクとどのように関係しているのか，資料を用いて説明する。</p> <p>○がんが日本人の死因1位であること，がん死亡数は年々増加していることを補足する。</p> <p>○授業の始めに，身近な人をがんで亡くしたり身近にがんになったりしている人がいる生徒に対して配慮する。 その際，養護教諭等と連携をとり，スムーズに対応できるようにする。</p>
展開	<p>4 がんはどのような病気か確認する。 「がんについてどのようなイメージをもっていますか。」 (怖い，治らない，など)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">がんの原因には，どのようなものがあるかを考える。</div> <p>5 がんの原因について考える。 ・がんの原因について，自分たちが思っていることを発表する。グループごとに話し合う。 (たばこ，お酒，食事，など)</p>	1 - (1)	<p>○事前にアンケートを実施し，生徒の実態を把握しておく。</p>
まとめ	<p>6 がんを予防するために，どういったことをしたらいいか，ワークシートにまとめる。(生活習慣を見直す，食生活を考えるなど。)</p>	4 - (2)	<p>協働性 ○がんは細胞の病気であること，遺伝ではないことを確認する。95%遺伝ではないことを補足する。 次に学習する健康的な生活習慣を実践しようとする意欲をもたせる。</p> <p>○今の自分にできることとして，「どういったことをしたらいいか」をワークシートにまとめさせ，発表させる。</p>

(第2時) 外部講師による講話

時間	学習内容・学習活動	資料4 の教材	指導上の留意点 主体的な学び
導入	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・がんとはどのような病気か, 知識を深める。</p> </div> <p>2 がんとは, どのような病気か確認する。</p>		<p>○授業の始めに, 身近な人をがんで亡くしたり身近にがんになったりしている人がいる生徒に対して配慮する。 その際, 養護教諭等と連携をとり, スムーズに対応できるようにする。</p> <p>○がんは, 遺伝子の異常が重なった細胞の病気であることなどを確認する。</p>
展開	<p>3 がんの原因にはどのようなものがあるか確認する。</p> <p>4 がんの経過を理解する。 ・がんの種類によって, 病気の進み具合や治りやすさも変わってくる。</p> <p>5 がんの治療法について理解する。 ・がんの治療法にはどのようなものがあるか知識を深める。</p>	<p>1 - (2)</p> <p>3 - (1)</p> <p>6 - (1)</p>	<p>○たばこや食生活はがんと深く関係していることを補足する。</p> <p>○がんの進行について説明する。 進行がんとなると, 命を失うこともあるので, 早期に発見することが重要であることを理解させる。</p> <p>適応力</p> <p>○がんの治療法には, どのようなものがあるか説明する。がんの三つの治療法と緩和ケアについても触れ, 患者と家族の心を和らげる支援をしていることを説明する。</p>
まとめ	<p>6 がん予防の重要性について, 理解する。</p>	<p>5 - (1)</p>	<p>○がん対策基本法の中に, がん検診を受けることが記載されていることを補足する。</p> <p>○がんになったことが悪いことではないことを補足する。</p>

がん教育ワークシート【10月27日（木）】

3年（ ）組（ ）番 名前（ ）

1 生活習慣のどんな乱れが、病気やがんにつながると思いますか。

2 がんについて、どのようなイメージをもっていますか。

3 どんなことが原因で、がんになると思いますか。

4 がんを予防するために、私たちはどんなことに気をつけたらいいですか。

がん教育ワークシート【11月1日(火)】

3年()組()番 名前()

1 本時のめあて

がんとはどのような病気か、知識を深める

2 がんを予防するには、どんなことに気をつけたらいいですか。

3 がんについて、学んだことの感想を書いてください。

甘目市立阿品台中学校 平成28年度がんの教育について



平成28年1月31日(火)
甘目市立阿品台中学校
保健体育科 柳川 紀美江

1. 取組の主なねらい

がんについて正しく理解し、健康
と命の大切さについて主体的に考え
実践しようとする生徒の育成

2-1. 授業事前アンケート

質問項目	事前	
	肯定的	否定的
1 がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ	97.2%	3%
2 がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ	98%	2%
3 がんは誰がかかると可能性がある	94%	6%
4 がんは進行すると今までの生活ができなかったり、命を失ったりすることがある	99%	1%
5 がんは日本人の死因の第2位である	53%	47%
6 タバコを吸わないこと、バランスよく食事をすること等で予防できるがんもある	94%	6%
7 早期発見すれば、がんは治りやすい	91%	9%
8 体の調子が悪い場合は、定期的に検診を受けなくてよい	12%	88%
9 がんの治療法には手術療法しかない	23%	77%
10 がんの痛みは我慢するしかない	14%	86%

2-2. 授業事前アンケート

質問項目	事前	
	肯定的	否定的
11 自分はがんにならないと思う	47%	53%
12 将来、たばこは吸わないでいようと思う	96%	4%
13 日頃から、食事や運動など健康な身体づくりに取り組もうと思う	91%	9%
14 がん検診を受けられる年になったら、検診を受けようと思う	84%	16%
15 がんの治療法はいくつもあるが、医師が決めるものである	50%	50%
16 がんになっても生活の質を高めることができる	48%	52%
17 がんになっても過ごしやすい世の中にした	92%	8%
18 がんと健康について、まずは身近な家族から話ろうと思う	83%	17%
19 家族や友人が健康であって欲しいと思う	98%	2%
20 長生きするために、健康な身体づくりに取り組もうと思う	95%	5%

3. 保健体育授業（1時間目）

本時のねらい

がんの仕組みと特徴について理解する。

- ①がんはどんな病気なのか。
- ②がんの仕組みと主な原因
- ③我が国のがんの現状とがん細胞の体への広がり方
- ④がんの種類（特徴）



4. 保健体育授業（2時間目）

本時のねらい

がん検診と治療法を正しく理解し、がんの予防と健康に生活することの大切さを学ぶ。

- ①がんの早期発見と検診
- ②がんの治療について
- ③検診受診率が低いことへの問題点
- ④健康な人生を送るために



5. 学活授業 「がん患者への理解と共生」

本時のねらい

がん患者の悩みに気付き、がん患者やその家族との望ましい関わり方について理解し、行動しようとする意欲を高める。

- ①がん患者やその家族が望む接し方
- ②がん患者を支える家族が、友人の立場ならどのように関わるのが望ましいか。
- ③『患者手記』を読み、自分がこれから心がけることは何か。



6. 授業を通して、成果と課題

○保健体育の授業においては、がんについて生活習慣病の中の1つとして、広い範囲で扱っているため、今回『がん』という項目について深く知ることができ、がんに対する先入観もかなり改善できたように思われる。

○中学生でも親しみやすい表現と分かりやすい指導案・資料で、自己や家族に置き換えて考えられる内容だった。

●特別活動の指導案と【資料4】の教材について、導入部分の【親のがんがその子どもの生活に及ぼす影響】を問う内容と『患者必携』の内容は、『十分配慮しながら・・・』とあるが、該当生徒がいた場合、扱いにくい内容である。検討する必要がある。

7. 外部講師による講演

- (1) 講演内容 【がんと健康】
 (2) 講師 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
 化学療法室 室長 今村 祐司 先生
 専門は消化器外科 (特に食道・胃・大腸)
 消化器がんの抗がん剤治療 (化学療法)

がんはどんな病気？みなさんと一緒に考えてみよう

- ① どうして、がんになるの？
- ② がんにならない方法はないの？
- ③ 何に気をつけたらいいの？
- ④ がんについて、もう少し勉強しよう

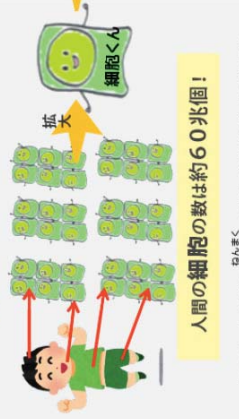


がんって何が知ってる？どうして、がんになるのでしょうか？

がんが発生するしくみについて勉強していきましょう。

がんは、細胞と遺伝子が関係している病気です。

細胞ってなに？



人間の細胞の数は約60兆個！

髪の毛、口の中の粘膜、皮膚、内臓など人の身体は全て細胞で構成されています。

遺伝子ってなに？



遺伝子はみんな違うんだ！

DNA

細胞の中には核というものがあって、その中に染色体があります。この染色体は細胞が増える時にあらわれ、そして、その染色体はたくさんのDNAが折りたたまれて入っています。このDNAには遺伝子というものが刻まれているので、この遺伝子が人の身体の遺伝子になります。



大人の遺伝子って大人のものとは...
大人のがかりリク

7-1. 外部講師による講演 (画像資料等)

早期胃がんの粘膜切除

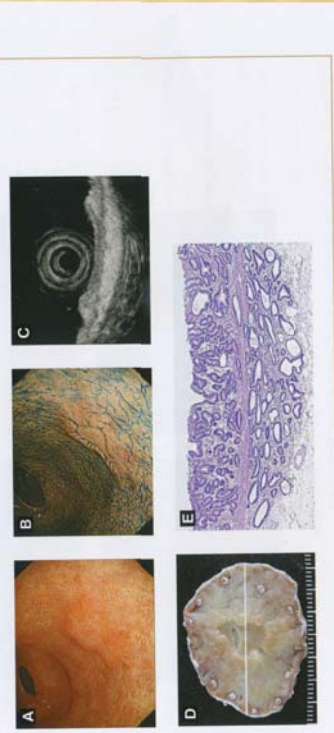
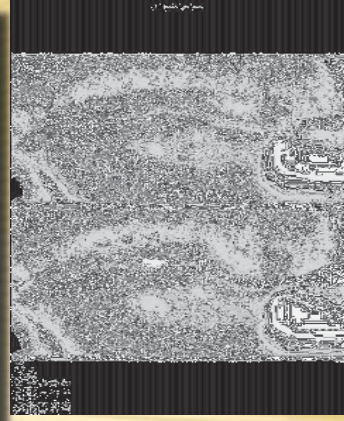


図6 0-IIa+Iic型早期胃癌の1例

A: 浅表型胃癌。粘膜部本質に癌島を伴う癌深を認める。
 B: センジカルトン切除による色素観察後、癌島の癌島が明瞭となる。
 C: 経筋層内浸透像。M/SMの境界がやや不明瞭である。本症例はESDを施行した。
 D: ESD後切除標本。
 E: 病理組織切片見 (E: 白棘の癌島部) の部拡大像 (H&E染色)。癌島部でSMに癌の浸潤を認めた。高分化腺癌 (tub1)。pSM1 (400 μm) x40, y4であった。

7-2. 外部講師による講演 (画像資料等)

症例 55歳 男性
 熱いものや冷たいものを口にするのと胸が痛むことがある。
 咳や痰の増加を自覚している。
 タバコ 喫煙歴 30年はくだらないよ。。。
 飲酒 酒には結構強いよ。。。



8. 外部講師による公演等、成果と課題

○VTRのイラストや資料・内容は中学1学年の生徒が見ても非常に分かりやすく、その後の講演の内容を補足する中身になっており、講師の今村先生から提示されたがんの写真や病院での資料・患者さんとのやりとりが容易に理解できました。また、最前線でがんに関わる先生のお話は生徒にとって切実なこととしてとらえることができました。

9-1. 授業事後アンケート

質問項目	事前		事後	
	肯定的	否定的	肯定的	否定的
1 がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ	97.2%	3%	97%	3%
2 がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ	98%	2%	98%	2%
3 がんは誰もがかかると考えられる	94%	6%	98%	2%
4 がんは進行すると今までの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある	99%	1%	96%	4%
5 がんは日本人の死因の第2位である	53%	47%	5%	95%
6 タバコを吸わないこと、バランスよく食事をすること等で予防できるがんもある	94%	6%	98%	2%
7 早期発見すれば、がんは治りやすい	91%	9%	98%	2%
8 体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくてよい	12%	88%	3%	97%
9 がんの治療法には手術療法しかない	23%	77%	3%	97%
10 がんの痛みは我慢するしかない	14%	86%	2%	98%

9-2. 授業事後アンケート

質問項目	事前		事後	
	肯定的	否定的	肯定的	否定的
11 自分はがんにならないと思う	47%	53%	22%	78%
12 将来、たばこは吸わないでいようと思う	96%	4%	97%	3%
13 日頃から、食事や運動など健康な身体づくりに取り組もうと思う	91%	9%	92%	8%
14 がん検診を受けられる年になったら、検診を受けようと思う	84%	16%	96%	4%
15 がんの治療法はいろいろあるが、医師が決めるものである	50%	50%	23%	76%
16 がんになっても生活の質を高めることができる	48%	52%	71%	29%
17 がんになっても過ごしやすい世の中になりたい	92%	8%	98%	2%
18 がんと健康について、まずは身近な家族から話ろうと思う	83%	17%	90%	10%
19 家族や友人が健康であって欲しいと思う	98%	2%	98%	2%
20 長生きするために、健康な身体づくりに取り組もうと思う	95%	5%	95%	5%

10. 事業を実施しての気づきや全県展開に向けての成果・課題等

- 保健体育科の授業2時間と特別活動(学級活動)1時間で扱ったので無理なくシラバス通りに授業を進めることができた。保健体育科の時間で扱ったので、3学年を中心に実施すると効果的である。
 - 学習のまとめとして最前線で活動されている医師を招きT Tで授業を行うとさらに効果的である。
 - がん教育の活動を通して、身近な家族や自分自身の生活を振り返ることができ、病気によって起こる様々な状況についても現実にあることとして受け止めることができた。また、共に支えあい、生きていくことの大切さについても考えさせることができた。
- 特別活動の指導案の導入を再検討し、内容を工夫・改善する。

ご静聴、ありがとうございます。

おじいちゃん、おばあちゃん、
お父さん、お母さん、
きょうだい、
ともだち、
先生……..



みなさん、ひとりひとりが、がんについて知ること、
がんに負けないで幸せにくらしていただける！

平成28年度「がんの教育」研修会 行政説明

平成29年1月31日(火)

広島県教育委員会

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆「健康と命の大切さを育む」という視点での取組

◆ 「がん教育」は、がんをほかの疾病等と区別して特別に扱うことが目的ではなく、**がんを扱うことを通じて、ほかの様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図るものでなければならぬ。**

◆がんの教育の定義

◆ **がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。**

1 国の動向

○「がん教育」に関する政府と文部科学省のスケジュール

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<p>がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】</p> <p>○がんの教育・普及啓発 5年以内に、学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん教育」をどのようにすべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする</p>				
<p>政府</p> <p>政府成長戦略での「がん教育」の位置付け</p>				
<p>文部科学省</p> <p>「がん」に関する検討委員会 【日本学術振興会主催(文部科学省補助費)】 ○有識者からなる検討委を設け、学校における「がん教育」の在り方について検討</p>				
<p>①「がん教育」の在り方に関する検討会 文部科学省主催</p> <p>○1年目 「がん」に関する基本方針について検討 ※フレームワークの検討・報告書の作成</p> <p>○2年目 「がん教育」に必要な教材等の開発、外部人材の活用方法等について検討</p> <p>○3年目 「がん教育」に必要な教材等の検証、外部人材の活用方法等について検討</p> <p>※「がん教育」推進のための準備期間</p>				
<p>②モデル事業の実施 期待される成果 ・教育委員会等によるがんの教育用教材の作成 ・専門医等の連携推進、教員研修会の開催 など</p> <p>○1年目 希望地域において、事業を実施。</p> <p>○2年目 基本方針を基に1年目の実施地域を中心に、地域を絞って実施。</p> <p>○3年目 事業の進捗の改善、教材等を活用して実施。</p> <p>学習指導要領改訂の必要性について検討</p>				

平成29年度から全国展開

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆がん教育の目標

① **がんについて正しく理解することができるようにする。**

➢ がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

② **健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。**

➢ がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆ がん教育の具体的な内容

ア がんとは(がんの要因等)

カ がんの治療法

イ がんの種類とその経過

キ がん治療における緩和ケア

ウ 我が国のがんの状況

ク がん患者の生活の質

エ がんの予防

ケ がん患者への理解と共生

オ がんの早期発見・がん検診

学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月)

5

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆ 留意点

① 学校教育活動全体での推進

- がん教育の実施に当たっては、がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則1の3を踏まえ、保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。

② 発達の段階を踏まえた指導

- がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、中学校・高等学校において取り扱おうことが望ましいと考えられる。その際、保健体育で疾病の予防が位置付けられている中学校3年生や高等学校1年生を対象にまともな時間を配置したり、全ての学年で時間を確保したりするなどの工夫を行うよう配慮する。また、健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容での指導が考えられる。

学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月)

7

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆ 【内容の取扱い】

- ア～ケの内容を適宜関連付けて、理解できるようにする。また、それぞれの内容を関連付けて、一次予防(生活習慣の改善等)、二次予防(がん検診等)について理解できるようにする。

- 現在及び将来に直面するがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにする。

- がん教育の二つの目標を達成するために、がんを通して健康や命のかけがえのなさに気付き、がん患者や家族などのがんと向き合う人々の取組に関心をもつとともに、健康な社会の実現に努めることができるように留意する。

学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月)

6

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆ 留意点

③ 外部講師の参加・協力など関係諸機関との連携

- がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、地域や学校の実情に応じて、学校医やがんの専門医等の外部講師の参加・協力を推進するなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。また、がんを通して健康と命の大切さを考える教育を進めるに当たっては、がん経験者等の外部講師の参加・協力を推進する。

その際、例えば、各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事等を関連させて指導する。

学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月)

8

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

◆ 留意点

④ がん教育で配慮が必要な事項について

- がん教育の実施に当たっては、授業の実施前までに以下のような事例に該当する児童生徒等の存在が把握できない場合についても授業を展開する上で配慮が求められる。
 - ・ 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒等がいる場合。
 - ・ 家族にがん患者がいる児童生徒等や、家族をがんで亡くした児童生徒等がいる場合。
 - ・ 生活習慣が主な原因とならないがんもあることから、特に、これらのがん患者が身近にいる場合。
 - ・ がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒等や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒等がいる場合。

学校におけるがん教育の在り方について報告(平成27年3月)

2 学校におけるがん教育の基本的な考え方

外部講師を活用したがん教育の進め方

基本的な方針

- ① **講師の専門性が十分に生かされるよう工夫する**
地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医、がん患者、がん経験者など、それぞれの専門性が十分生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施する。
- ② **学校教育活動全体で健康教育の一環として行う**
保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行う。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画し、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。
- ③ **発達段階を踏まえた指導を行う**
小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとし、保健体育等での指導後に外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。また、学校保健計画に位置付けるなど計画的に実施することが望ましい。

※ 授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意する。

3 がんの教育総合支援事業(広島県)

平成28年度がんの教育総合支援事業

背景

- 平成24年度から平成28年度までの5年間を対象とした新たな「がん対策推進基本計画」が閣議決定され、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに関することのない社会」を目指している。
- 平成26年度に文部科学省に設置した「がん教育」の在り方に関する検討会が取りまとめた報告書(H27.3月)においても、今後、モデル校等における取組を中心に教材の作成や外部指導者の活用等について検討し、その成果を踏まえたがん教育を29年度以降全国に展開することを目指すとしている。

(前年度予算額：15,868千円)
28年度予算額：31,980千円

事業概要

画による取組

◆ **検討会の開催**
有識者からなる「がん教育」の在り方に関する検討会を設置し、各都道府県で行っている先進事例の分析・調査等を行い、全国に展開させるための検討等を行う。

◆ スライド資料等の作成

児童生徒の発達の段階を踏まえ、科学的根拠に基づいた内容に沿って指導を進める必要があるため、映像を含めた分かりやすい教材の開発とその活用方法を示した指導参考資料を作成する。

相互に
連携

都道府県等への委託事業

◆ 実践推進事業の実施

(26箇所、138校)
平成29年度からの全国展開に向け、各都道府県等においてパイロット事業を行う。

◆ 検討会報告書(H27.3月)を踏まえた事業の実施

・ 画において作成する教材の活用
・ 外部指導者の活用
・ 衛生主管部局との連携
・ 研修会の実施 等

学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん教育」を推進する必要性

成果

- 学校教育全体の中で、がん教育を推進することにより、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解の深化
- 自らの職責を適切に管理するとともに、がん予防や早期発見につながる行動変容を促す。

3 がんの教育総合支援事業(広島県)

◆ がんの教育推進協議会の設置

1 構成員

医師会	県医師会(1名)、地区医師会(2名)
大学教授	広島大学病院 がん治療センター長
モデル校校長	広島皆実高等学校、黒瀬高等学校、東広島市立豊栄中学校、廿日市市立阿品台中学校
市教育委員会	東広島市、廿日市市
広島県	豊かな心育成課長、スポーツ振興課長、がん対策課長

2 検討内容

- 学校におけるがんの教育推進に関する課題と今後の展開等について検討を行う。

- 3 開催予定
年3回開催

3 がんの教育総合支援事業(広島県)

◆ モデル校における取組

- 1 「がん教育推進のための教材」を活用した授業
 - モデル校の状況に応じて、保健体育・現代社会・道徳・特活等で授業を実施
- 2 外部講師による研修会・講演会等の実施(「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」を活用)
 - 医師・がん経験者等を講師として講演会を実施
- 3 生徒、教職員に事業実施前後にアンケートを実施し、効果を検証

◆ がんの教育に係る研修会(教職員対象)の開催

- 日時:平成29年1月31日(火)
- 場所:広島県情報プラザ(広島市中区千田町3-7-47)
- 内容:モデル校の実践発表, 学識経験者の講演

13

4 平成29年度以降の学校におけるがん教育の推進

[参考]関連する教科等

- 小学校〔第5学年及び第6学年〕
 - ① 体育(保健領域)
病気の予防について理解できるようにする。
 - ② 道徳の時間
生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。
- 中学校
 - ① 保健体育(保健分野)〔第3学年〕
健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。
 - ② 道徳の時間
生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
 - ③ 総合的な学習の時間
「かけがえのない自分、かけがえのない健康(中学生用)」の活用
 - ④ 特別活動(学級活動)
適応と成長及び健康安全(心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成)

15

4 平成29年度以降の学校におけるがん教育の推進

(1) 目標

がんの教育で学んだ知識を活用して、児童・生徒一人一人が、自ら生活習慣上の課題や問題点を認識し、自分でそれを解決していく力を身に付けさせる。

(2) 教科等におけるがん教育の推進

文部科学省作成の「がん教育のための教材」等を活用し、学習指導要領に基づき、体育科・保健体育科などにおいて基礎的知識を身に付け、関連する教科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動などにおいて自他の生命を尊重するとともに、相手を思いやりや心の育成や望ましい人間関係の構築など、相互に関連付けながら、学校保健計画に位置付けるなど、学校の教育活動全体を通じて指導を行う。

14

4 平成29年度以降の学校におけるがん教育の推進

[参考]関連する教科等

- 高等学校
 - ① 保健体育(科目保健)
 - ・ 現代社会と健康(健康の保持増進と疾病の予防)
 - ・ 生涯を通じる健康(保健・医療制度及び地域の保健・医療機関)
 - ② 総合的な学習の時間
「健康な生活を送るために(高校生用)」の活用
 - ③ 特別活動(ホームルーム活動)
適応と成長及び健康安全(心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立)

(3) 外部講師の活用

地域や学校の実情に応じて授業と関連させ、学校医と連携を図りながら、学校医をはじめとする医師や保健師、がん経験者などの外部講師の活用に努める。

16